

令和3年度 第2回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和3年7月1日（木）午後2時～

場所：加西市役所 5階大会議室

開 会

1 委員等出席者の紹介

2 議 事

第5次加西市総合計画における令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

(1) 外部評価（2次評価）実施要領 … 【資料1】 【参考】

(2) 第1回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

3 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和3年度 第3回加西市総合政策審議会

日時：令和3年8月2日（月）14:00～

場所：加西市役所 5階大会議室

令和3年度 第2回加西市総合政策審議会（部会） 出席者名簿

氏名	団体名等	役職	備考
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
大野 聖佳	NPO 法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）	ジェネラルリーダー	
久米澤 稔	加西市労働者福祉協議会	事務局長	
後藤 直樹	加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西）	代表	
後藤 政博	加西市区長会	在田地区代表区長	
菅原 知美	加西市立北条ならの実こども園 PTA	会長	（欠席）
鈴木 忠樹	加西市連合 PTA	副会長	（欠席）
高木 雄太	北条金融協会	会長	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	前隊員	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
山下 光昭	加西市老人クラブ連合会	会長	

（計 14 名 五十音順）

■市担当者（説明員）

氏名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
奥隅 一博	総務部長
高井 勝仁	健康福祉部長
深江 克尚	地域振興部長
末廣 泰久	都市整備部長
大西 守人	生活環境部長
植田 正吾	教育部長

■事務局

氏名	所属・役職名
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課 課長補佐
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課 係長
千種 健史	ふるさと創造部人口増政策課 主任
垣谷 直宏	ふるさと創造部人口増政策課 主任
牛尾 充宏	ふるさと創造部人口増政策課 主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課 まちづくり推進員

外部評価（２次評価）実施要領

1 外部評価（２次評価）の進め方

部会での検討（90 分）

- ① 市民の視点から各施策について別紙「第 5 次加西市総合計画 施策評価一覧」及び「第 5 次加西市総合計画 評価シート」を使い、行政内部による評価検証（１次評価）の総合評価（５段階評価）と同様の基準で評価する。
- 評価方法は、施策毎の 1 次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄に S から D を書き込んでいく。

総合評価基準	説明	目標数値の達成度 最終(R2)の数値目安
S 目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A 目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B 目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C 目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D 目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

2 部会の編成

部会	対象政策	担当委員	説明員	事務局
部会①	政策 01 明日を担い未来へつなげる人づくり 政策 02 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり 政策 07 自然環境の保全と特色ある景観づくり 政策 08 循環型社会をめざす生活環境づくり 政策 09 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西	大野委員 鈴木委員 ★谷勝委員 辻田委員 中野委員	生活環境部 大西部長 教育委員会 植田部長	岩野係長 牛尾主事
部会②	政策 03 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり 政策 04 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	久米澤委員 後藤委員 高見委員 高木委員 ★濱本委員	ふるさと創造部 千石部長 地域振興部 深江部長 都市整備部 末廣部長	後藤課長補佐 小山推進員
部会③	政策 05 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり 政策 06 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり 政策 10 健全な行財政運営の確立	上田尾委員 菅原委員 後藤委員 ★山下委員	総務部 奥隅部長 健康福祉部 高井部長	藤後課長 千種主任 垣谷主任

※★は部会長

第5次加西市総合計画

施策評価一覧

(令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括)

総合計画施策評価一覧

(サンプル)

対象項目

別冊【評価シート】
の対象ページ

基本政策	施策	基本計画	個票ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度	今後の方針	第6次総合計画			総合評価	R2取組状況	総合評価	意見・提案等		
					区分	最終(R2)			政策	施策	具体的な取組						
1	1	1	5	②	B	74	C	②	3	⑦	ア	C	●公民館出前講座について、感染防止対策を取りながら、できるだけ学習成果を地域に還元するよう努めました。 ●こども園への巡回図書貸出を開始するとともに、図書資料にICタグを貼付、自動貸出・返却機を導入し、運用を開始しました。 ●初の試みとして文芸祭を美術展との合同開催とし、市外在住の受賞者の皆さんへのPRを行いました。 ●市民会館の耐震改修工事は、9月に無事完了し、同時に老朽化備品を更新。新しい環境で10月より供用を再開しました。	4	各個票を確認しながら 1 施策ごとの 2 次評価をお願いします		
		2	6	②	B	18	C	②	3	⑦	ア						
		3	7	②	B	18	C	②	3	⑦	ア						
		4	8	②	B	18	C	②	3	⑦	ア						
		5	9	②	B	60	A	②	2	⑥	ウ						
1	2	1	10	②	B	0	C	②	2	⑥	ウ	3	1 施策ごとの 1 次評価 ●新卒のつどいをWeb開催し、100人以上が閲覧しています。				
		2	11	②	B	60	C	②	2	⑥	ウ						
1	3	1	12	【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了 【目標数値の達成度】・・・S：予定より早く進行、A：予定通り進行、B：予定より遅延 ※網掛けは、減少指標 【事業の到達度】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止 【総合評価】・・・S：目標を大きく上回って達成、A：目標を上回って達成、B：目標を達成、C：目標を下回っている、D：目標を大きく下回っている										B	●登録者同士のマッチングを行い、63件のお見合いの機会を設けました。 ●加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。		
		2	13														
		3	14														
1	4	1	15	②	B	40	C	②	1	①	ア	B					
		2	16	②	S	200	A	②	1	①	ア						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
1	1	1	5	②	B	74	C	②	3	⑦	ア	C	●公民館出前講座について、感染防止対策を取りながら、できるだけ学習成果を地域に還元するよう努めました。 ●こども園への巡回図書貸出を開始するとともに、図書資料に I C タグを貼付、自動貸出・返却機を導入し、運用を開始しました。 ●初の試みとして文芸祭を美術展との合同開催とし、市外在住の受賞者の皆さんへのPRを行いました。 ●市民会館の耐震改修工事は、9月に無事完了し、同時に老朽化備品を更新。新しい環境で10月より供用を再開しました。		
		2	6	②	B	18	D	②	3	⑦	ア				
		3	7	②	B	60	D	②	3	⑦	イ				
		4	8	②	B	58	B	②	3	⑧	ア				
		5	9	②	B	60	A	②	2	⑥	ウ				
1	2	1	10	②	B	0	C	②	2	⑥	ウ	C	●青年活動の推進と活性化を目指して活動する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は活動を休止しました。 ●新春のつどいをWeb開催し、100人以上が閲覧しています。		
		2	11	②	B	60	C	②	2	⑥	ウ				
1	3	1	12	②	B	75	B	②	3	⑧	イ	B	●加西南多目的広場のグラウンド改修及びアラジnstadium不陸整正を実施し、利用者の利便性を向上させました。ヴィクトリーナ姫路応援バスツアーを実施し、プロバレーボールチームとの交流を図りました。 ●ソフト卓球教室、ニュースポーツ教室、バドミントン教室、チェントクオーレサッカースクール、ヴィッセル神戸応援バスツアーを実施しました。		
		2	13	②	B	85	B	②	3	⑧	ウ				
		3	14	②	S	115	B	②	3	⑧	ア				
1	4	1	15	②	B	40	C	②	1	①	ア	B	●登録者同士のマッチングを行い、63件のお見合いの機会を設けました。 ●加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。		
		2	16	②	S	200	A	②	1	①	ア				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
2	5	1	17	②	A	100	B	②	2	④	イ	B	●全中学校区において、合同研修会や相互授業参観、さらには小・小・小中合同交流会、体験入学が実施されるなど、小中連携教育が推進されました。また、小中連携推進プランを見直し、令和３年度からの運用を整えました。 ●８名のALTを確保し、小中学校における英語科や外国語活動のさらなる充実を図りました。また、小学校において、英語が堪能な地域住民を活用したチームティーチング授業を行いました。 ●すべての小・中・特別支援学校で一人一台パソコンの整備しました。 ●あびき湿原を訪れ、地域に生息する希少水生動植物を観察し、また、あびき湿原保存会の方との交流をととして、自然を大切にしようとする心情を育むことができました。 ●教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修、新学習指導要領全面实施に対応した研修内容を検討・精選し、実施しました。また、新たにオンライン形式による研修講座を確立することができました。 ●大塚製薬株式会社との包括連携協定による「熱中症対策アドバイザー養成講座」をオンラインで開催しました。 ●新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部のゼミしか実施することができましたが、今後は講義のオンライン化も検討していきます。		
		2	18	②	S	114	B	②	2	④	ア				
		3	19	③	B	67	B	②	2	④	エ				
		4	20	②	B	40	D	②	9	⑥	ウ				
		5	21	②	A	100	B	②	2	④	ア				
		6	22	②	B	53	C	②	2	④	イ				
				②	A	100									
		7	23	②	B	33	C	③	2	④	ア				
8	24	③	B	6	B	②	2	④	ウ						
2	6	1	25	③	－	100	B	③	2	⑤	ア	B	●全中学校の普通教室照明器具更新工事を行いました。また、善防中学校では屋外トイレ改修工事を行いました。 ●富田小学校の体育館改修工事は次年度以降へ繰り越しとしています。 ●旧南部学校給食センターの解体工事、泉小学校の給食保管室整備工事、北条小学校・北条東小学校の給食保管室整備工事を行いました。		
				③	－	100									
				③	－	100									
		2	26	②	B	15	C	②	2	⑤	ア				
		3	27	③	A	100	B	①	－	－	－				
2	7	1	28	②	S	126	B	②	2	⑥	イ	B	●「新しい生活様式」に基づく教育課程の再編制に伴い、学校づくり応援事業及び環境体験事業について必要な見直しを行いました。また、オープンスクールについても規模を縮小・削減し実施しました。 ●ワッショイスクール協力員の部屋を設置し、児童生徒と協力員の交流の場としての機能を果たしています。		
		2	29	③	－	100	B	②	2	⑥	ウ				
		3	30	②	B	40	C	③	2	⑥	イ				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）									審議会による外部評価（２次評価）		
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
3	8	1	31	②	B	33	B	②	13	③⑧	イ	B	●小学生の柿収穫体験、播磨農高ダークホース栽培・ハボタンPRイベントへの参加に取り組みました。「農業塾」については、獣害対策研修会を開催しました。 ●新たにアスパラガスの栽培を目指す農家のハウス補助をＪＡ兵庫みらいと連携し、実施しました。 ●加西市新規就農促進協議会として、県内外の新規就農相談会等に積極的に参加し、加西市の農業を広くPRするとともに、関係機関と連携しながら就農支援を実施しました。 ●新たにぶどう農家が就農し、就農認定を行いました。 ●市内の農家に市外在住の就農希望者２名がインターンシップ事業に取り組みました。 ●基盤法に基づく農地利用権設定による集積に加え、農地中間管理事業を通じた担い手への集積を推進しました。また、認定農業者や集落営農組織への支援として、担い手育成施設整備支援事業を拡充しました。 ●多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みを行いました。 ●IT技術を活用した施設園芸を目指す生産者への設備補助を行いました。 ●神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センターが地元小学校に収穫体験を行ったり、学校給食として柿を提供しています。		
				②	S	150									
		2	32	③	A	100	B	②	5	⑬	ア				
				3	33	②									
		②	B			50									
		4	34	②	S	110	A	②	5	⑭	ア				
				②	S	250									
				②	B	0									
		5	35	②	S	112	S	②	5	⑭	ア				
6	36	②	B	99	B	③	5	⑮	ウ						
7	37	②	B	50	C	③	5	⑮	ア						
8	38	②	B	0	C	③	5	⑭	ウ						
3	9	1	39	②	B	60	C	②	5	⑭	ウ	B	●市外への販売を進めていくために、ふるさと納税の返礼品に登録しました。 ●学校給食にJA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物を提供しました。また、食育授業について、神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進しました。 ●商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。 ●市内企業と協働して紫電改・気球クリアファイル、かさいのかさいさん付箋、観光地を描いた特大せんべい、播州織加西てぬぐいの４品目を開発しました。 ●ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めました。 ●中小企業制度融資、創業融資にかかる信用保証料について、保証料の1/2を補助しました。また、コロナ関連の融資に対して、保証料を全額補助する制度を新設し、中小企業の資金繰りについて緊急支援を実施しました。 ●鷦野飛行場跡地東部産業拠点地区、加西工業団地及び加西東産業団地の市街化区域編入手続を進め、工業地域として区域区分変更を決定しました。 ●事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。		
		2	40	②	B	40	A	②	5	⑭	ウ				
		3	41	②	S	125	B	②	6	⑯	ア				
		4	42	②	S	131	A	②	11	⑳	ウ				
				②	B	6									
		5	43	②	S	103	B	③	6	⑯	イ				
		6	44	②	S	125	A	②	6	⑯	ア				
		7	45	②	未発表	未発表	B	②	6	⑰	ウ				
		8	47	②	A	100	B	②	6	⑯	ウ				
9	48	③	S	103	B	③	6	⑯	ウ						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
3	10	1	49	②	B	99	B	③	6	⑮	イ	B	●加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載するとともに、合同就職面接会を開催しました。 ●兵庫労働局との雇用対策協定のもと、ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談、定例就職支援セミナーの開催など求職者の就職支援に取り組みました。 ●市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行いました。また、各種団体と連携を図り、市内雇用を高めるため、企業に対して積極的な住民採用を働きかけました。 ●高校を訪問し、加西市企業ガイドブックFIT INの配布を行いました。 ●兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、就職支援セミナー等を開催するなど女性の再就職支援に取り組みました。また、出産や子育てのために就業していない女性を対象に講座の受講経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。 ●感染症対策を実施したうえで、アステアかさいや市庁舎でコンサートを開催しました。また、12月のハッピーバレンタインイベントにゲスト出演するなど市民に芸術文化に触れる機会を提供しました。 ●若者企業調査助成金について、ホームページで周知しました。 ●産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口等の創業希望者に対する支援を実施した。また、新たに起業・創業スタートアップ支援事業補助制度を創設し、創業希望者の掘り起こし、スタートアップ支援に取り組みました。		
				②	B	88									
		2	50	②	B	52	C	②	6	⑮	ア				
				3	51	②	S	110	B	②	6				
		②	B			88									
		4	52	②	B	0	D	③	12	③④	イ				
		5	53	②	B	68	B	②	6	⑮	イ				
		6	54	②	B	94	B	②	12	③④	イ				
		7	55	③	B	45	C	②	7	⑳	ア				
		8	56	②	B	80	B	②	7	⑳	ウ				
②	S			195											
9	57	②	B	0	C	②	6	⑰	イ						
10	58	②	S	186	A	②	6	⑰	ア						
3	11	1	59	②	S	233	S	②	7	⑰	ア	B	●市指定文化財として1物件を新たに指定、県指定文化財として1件が指定されました。 ●「加西市文化財保存活用地域計画」が国の認定を受け、歴史文化遺産を活かしたまちづくり活動への補助制度を制定しました。 ●従来からの取組みに加え、新たに鶴野飛行場跡防空壕シアター、修学旅行等の平和学習においてボランティアガイドが多くの観光客を案内しました。大手旅行会社との共同研究により旅行業関係者向けモニターツアーや大都市圏の旅行事業者への営業活動を行いました。 ●市内の宿泊施設や飲食店を利用するバスツアーへの補助の拡充、戦跡巡りツアーには北条高校生にもガイドとして参画してもらいました。また、若手アーティストによる機銃座跡や爆弾庫跡を活用したアートイベントを行いました。 ●かさいまちあそび2021は、47の体験型プログラムを実施しました。 ●未来型児童館建設にかかる庁内ワーキンググループを形成し、協議・検討を行いました。		
		2	60	②	S	220	A	②	7	⑰	ア				
		3	61	②	S	187	S	②	11	③①	ウ				
				②	S	194									
		4	62	②	B	91	B	②	7	⑰	イ				
		5	63	②	B	68	C	②	7	⑰	イ				
		6	64	③	A	100	B	③	7	⑰	イ				
7	65	①	B	0	D	④	－	－	－						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
4	12	1	66	②	B	67	C	②	9	㉔	ア	B	●朝妻町・鵜野町普通財産は、売却が完了し、一般競争入札で応募者がなかった市有財産については、先着順の随時募集で公募を進めています。 ●保留地がすべて完売し、換地された土地の利用が促進され、新しい住宅の建築が増えています。 ●北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRや県景観条例に基づく指導を行いました。 ●産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口等の創業希望者に対する支援を実施した。また、新たに起業・創業スタートアップ支援事業補助制度を創設し、創業希望者の掘り起こし、スタートアップ支援に取り組んでいる。 ●空き家の片付け費用補助制度の新設や、建物アンケートを通じて空き家バンク制度の周知を行い、空き家物件登録数を大きく増やすことができました。 ●中野・下宮木地区において、利便性の高い魅力あふれるまちづくりを目指し、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働して食品スーパーの誘致を行った。 ●当初目標としていた賃貸戸数をおおむね確保することが出来ました。 ●北条旧市街地のモデル拠点メンバーで構成する定例会議に参加し、情報提供や相談対応など継続的な支援を実施しました。 ●危険空き家の除去や狭あい道路の拡幅工事を行うことにより、北条市街地の安全・安心のまちづくりの推進に努めました。		
		2	67	③	S	152	A	②	9	㉔	ア				
		3	68	②	B	25	C	②	9	㉔	オ				
				②	B	0									
		4	69	②	B	87	B	②	6	㉒	ア				
				②	B	0									
				②	B	60									
				②	S	113									
		5	71	②	S	420	S	②	7	㉒	ア				
		6	72	②	B	1	S	②	9	㉔	ア				
		7・8	73	③	S	151	A	④	－	－	－				
9	74	③	B	98	C	④	－	－	－						
10	75	②	B	0	C	②	7	㉒	イ						
11	76	②	S	113	S	②	9	㉔	ア						
4	13	1	77	②	B	0	C	②	7	㉒	ウ	B	●お試し滞在施設について、モデル地区を決め、設置に向けた検討を行いました。コロナ禍で多くの移住相談会が中止になる中、ZOOM等によるオンライン相談も整備しました。 ●自家生産ブドウを使用したワイン工場の建築可能区域を指定しました。 ●新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。また、若者世帯持家補助については、申請手続きの簡略化を図りました。 ●加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づき、造成した1－2工区を進出企業に売却するとともに、1－1・2・4工区の進出希望事業者を募集し、優先交渉事業者を決定しました。 ●鵜野飛行場跡地及び周辺の歴史遺産を一体としたフィールドミュージアム整備のため、散策用歩道整備工事や法華口駅前広場整備工事、情報板整備工事等を行いました。また、地域活性化拠点施設建設工事、地域活性化拠点施設展示コンテンツ制作、戦争体験者証言映像記録、鵜野飛行場関連資料収集等を行いました。 ●地域勤労者住宅区域や空き家を事務所・社宅等への用途変更を可能とする住宅系特別指定区域加西市独自基準の策定について、県と協議を進めました。 ●地域活力維持定住促進補助制度に基づく、補助金交付を行いました。 ●コロナの影響により、多くの出張相談会は中止となりましたが、ZOOM等を使用したオンラインによる合同説明会に参加しました。		
				②	S	300									
				②	B	20									
				②	B	80									
		2	79	②	B	50	C	②	9	㉔	イ				
		3	80	②	S	174	B	②	7	㉒	イ				
				②	B	53									
		4	81	③	A	100	B	③	6	㉒	エ				
		5	82	②	S	189	B	②	12	㉔	ウ				
		6	83	②	B	68	B	②	9	㉔	ア				
		7	84	②	B	82	C	②	9	㉔	ア				
8	85	廃止	廃止	廃止	廃止	④	－	－	－						
9	86	②	B	33	B	②	11	㉒	イ						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
4	14	1・2 6・9	87	②	B	88	C	②	10	㊟	ア	C	●高速泉バス停南側駐車場27台分を整備しました。 ●宇仁郷まちづくり協議会による地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」の運行を開始しました。 ●公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。 ●コミバスねっぴ〜号にバスロケーションシステムを導入、また、市内5ヵ所のバス停、待合室にデジタルサイネージを設置し、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。 ●北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンを実施しました。 ●鉄道安全輸送設備（枕木交換、車両整備など）の整備に対する支援を行いました。また、北条町駅、法華口駅、3車両内のWi-Fi通信の支援を行いました。		
				②	B	73									
		3	88	②	B	88	C	②	10	㊟	ウ				
		4	89	②	B	88	C	②	10	㊟	ア				
				②	B	73									
		5	90	②	B	73	C	②	10	㊟	イ				
		7・8	91	②	B	88	C	②	10	㊟	ウ				
				②	B	73									
4	15	1	92	②	S	159	A	②	10	㊟	ウ	B	●指定管理者と協働し、修繕を適時実施するなど適切な公園管理に努めました。 ●丸山総合公園のウッドデッキの修繕や遊具設置等工事の設計に着手しました。 ●笹塚公園を地域の夏休みラジオ体操の場として開放しました。 ●基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。 ●橋梁利用者の安全確保のため、定期点検を実施するとともに補修設計に取り組みました。 ●河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。 ●泉バス停南駐車場に、案内看板を設置しました。		
		2	93	②	B	50	C	②	7	㊟	ア				
		3	94	②	B	40	C	②	10	㊟	ア				
				②	B	36									
		4	95	②	B	99	B	②	10	㊟	ア				
		5	96	②	B	72	C	②	10	㊟	ア				
		6	97	②	S	157	A	②	10	㊟	イ				
		7	98	③	B	40	C	③	10	㊟	ア				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
5	16	1	99	②	S	117	A	②	3	⑦	ア	B	●新型コロナウイルスの影響がある中、受講者の減少もほとんどなく多くの方が受講されました。 ●地域に質の高いサービスを提供し、また働く意欲のある高齢者に対し、生涯現役で活躍し続けるよう支援しました。 ●それぞれの団体において、交流事業、ワークショップ等の工夫した取組を実施しています。 ●基幹相談支援センターや障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と協同し就労支援や移行支援を行いました。		
		2	100	②	B	65	C	②	4	⑩	イ				
		3	101	②	B	57	C	②	4	⑩	ア				
		4	102	②	B	26	C	②	4	⑪	ア				
		5	103	②	S	102	B	②	4	⑪	ア				
		6	104	②	B	0	C	④	－	－	－				
5	17	1	105	②	B	63	C	②	3	⑨	ウ	B	●町ぐるみ健診、女性のがん検診では若い世代にも受診しやすい体制を整えました。また、町ぐるみ健診の一部日程に乳がん検診を導入し、特定健診と同時に複数のがん検診が受診できるようにしました。 ●乳がん検診については好発年齢層に個別勧奨を行いました。また、無料クーポンの使用期限を延長しました。 ●老人会と連携し、戸別訪問による受診勧奨を実施しました。 ●子どものインフルエンザ予防接種費用の助成として、年少から中学校3年生までを対象に実施しました。 ●歩行姿勢測定器を導入し、イベント等で活用していました。 ●感染症予防のため料理教室や集団教育を控え、資料配布を中心に活動を縮小して実施しました。 ●加西市自殺対策計画に基づき、庁内会議やネットワーク会議を開催し、自殺状況の共有や意見交換を行いました。また、市民が普及啓発資料をより多くの場所で入手できるように、市立図書館と地域交流センターを加えました。 ●子育て世帯に対して、出前講座や健康相談で正しい食生活の普及、食育月間に合わせた展示を行うなど食育の啓発を行いました。 ●兵庫県特定不妊治療費、男性不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成しました。また、不育症の治療費助成を行いました。 ●専用アプリを使用した運動ポイント事業において、多可町と連携協定を締結するなど市町の交流の活性化を図った。また、新たにG P S 機能を使用した「名所にチェックインポイント」を設定した。		
				②	B	78									
				②	B	59									
		2	107	②	A	100	B	②	3	⑨	ア				
		3	108	②	B	88	C	②	3	⑨	ア				
				②	B	44									
		4	109	②	B	46	C	③	3	⑨	ウ				
		5	110	②	B	62	C	②	3	⑨	イ				
		6	111	②	S	105	A	②	3	⑨	ア				
		7	112	②	－	－	B	③	3	⑨	ア				
				②	S	115									
				②	S	126									
8	114	②	B	62	C	②	1	①	イ						
9	115	②	S	334	S	②	3	⑨	イ						
5	18	1	116	②	B	0	B	②	4	⑫	ア	C	●近隣の3拠点病院と基本協定を交わし、専攻医の相互受入れを行いました。 ●新病院改革プランを見直し、次期5か年の目標を設定しました。 ●新型コロナウイルス感染症対応に係る連携を関係機関と取り組みました。 ●「新しい加西病院を考える市民ワークショップ」を開催し、地域における加西病院の在り方や地域医療との連携などについて意見交換をしました。 ●医療介護連携相談窓口ワーキングを開催し、ワーキングの在り方等を検討しました。 ●加西市医師会による休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。		
		2	117	②	B	72	C	②	4	⑫	ア				
		3	118	②	B	91	C	②	4	⑫	イ				
		4	119	②	B	0	C	②	4	⑫	イ				
		5	120	②	A	100	B	②	4	⑫	イ				
		6	121	②	B	0	C	②	1	①	ウ				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）										審議会による外部評価（２次評価）	
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
6	19	1	122	②	S	112	C	②	4	⑩	ア	C	●各地域の一時相談窓口を地域包括支援センターに一本化し、フレイル予防、介護予防、認知症相談、複雑化した家族の複合課題等に総合相談窓口として対応しました。 ●民間事業者を活用し、土曜日や日曜日等の休日の配食が可能となった。 ●加西市社会福祉協議会に委託し、おおむね65歳以上の車イスを利用している高齢者や障がい者の方に対して、リフト付ワゴン車で通院や買い物等の送迎を行いました。 ●コロナ禍では活動が難しい事業でしたが、新規開設カフェの立ち上げを支援することができました。 ●全ての地区で講座を実施することができました。		
				②	B	88									
		2	123	②	B	67	C	②	4	⑩	ア				
		3	124	②	B	34	C	②	4	⑩	ア				
		4	125	②	B	69	C	②	4	⑩	ア				
		5	126	②	B	13	D	②	4	⑩	イ				
6	127	②	A	100	B	②	4	⑩	ア						
6	20	1	128	②	B	84	C	②	8	㉒	ア	B	●社会福祉協議会に事務の一部を委託し、共同で事業を実施した。 ●新入団訓練を重点的に実施し、新型コロナウイルスの状況を考慮して中断訓練を実施した。 ●自治会申請、通学路設置を含めて防犯灯326灯を設置しました。また、既設置防犯灯において24灯を取替えています。 ●通学路等を中心に毎日計画的にパトロールを実施しました。 ●加西警察による高齢者に対する交通安全教室を実施し高齢者の人身事故の防止に努めた。 ●延べ21件の指導を行いました。 ●市設置防犯カメラ11基、自治会設置防犯カメラ9基を設置しました。		
		2	129	②	B	7	C	②	8	㉒	イ				
				②	S	215									
		3	130	②	S	102	B	②	8	㉓	ア				
		4	131	②	A	100	B	②	8	㉓	ア				
		5	132	②	A	100	B	②	8	㉓	イ				
		6	133	②	S	420	S	②	8	㉒	ア				
7	134	②	S	202	A	②	8	㉓	ア						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
6	21	1	135	②	B	80	C	②	1	③	ア	B	●公私立の子育てひろばについては、未就園児親子からの高いニーズが確認できました。 ●産婦健診、新生児聴覚検査の費用について助成券を発行し、必要な健診や検査を受けるよう勧奨しました。また3歳児健診では視覚検査スクリーニング機器の導入により早期治療につながりました。 ●就園指導会議において加配配置、受入体制の整備を協議し、就園後のより適切な支援を提供することができました。ベアトレ事業においては、保護者の子育てに対する意欲向上を目指しました。 ●相談窓口啓発カードの内容を改訂し、家庭訪問時や民生委員研修等で配布し、普及啓発を図りました。 ●児童虐待について、学校園や関係機関の研修会やケース会議で協力連携を依頼し、意識啓発を図りました。 ●九会学童保育園専用棟の整備は工期の遅れにより令和3年6月末完成予定となりました。下里学童の分園により、下里学童の待機児童が解消されました。 ●幼保連携型認定こども園北条こども園の整備完了 ●3～5歳児の保育料が無償化に伴い給食費の無償化を実施しました。 ●病児・病後児保育事業に関する保護者への周知について、利用案内の配布する等継続的に実施した。 ●普及啓発活動や会員同士の交流の場を設けた。 ●子育て世帯の経済的負担を軽減するため、支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大しました。 ●産後ケアについては、アウトリーチ（訪問）型を新たに導入し、産後の心身のケアによって安心して子育てができるよう支援を行いました。 ●児童扶養手当受給世帯への緊急支援金等を給付しました。 ●母子父子自立支援員を採用し、相談体制の整備を行いました。 ●ひとり親世帯高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の令和３年度からの事業化を検討しました。 ●社会保険労務士による多様な働き方と処遇改善セミナーや個別相談会を開催しました。 ●市内の公共施設、民間施設の3施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。 ●アスティアかさいの２階空き店舗を活用して、屋内型遊戯施設＆テレワークセンター整備のための実施設計を行いました。 ●イーナカサイアプを活用し、コロナ禍でのイベント変更のお知らせや警報による休園のお知らせ等を行いました。 ●就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第３子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。 ●児童扶養手当受給世帯に対する指定ごみ袋の支給を廃止しました。		
		2	136	②	B	56	D	③	1	①	イ				
		3	137	②	B	80	B	②	1	③	イ				
		4	138	②	S	217	A	②	12	③	イ				
		5	139	②	B	94	B	②	1	②	ア				
		6	140	③	S	143	B	③	1	③	イ				
		7	141	③	A	100	B	③	1	②	ア				
				①	－	－									
		8	142	②	B	40	B	②	1	③	イ				
		9	143	②	B	95	C	③	1	②	ア				
		10	144	②	B	72	C	②	1	②	イ				
		11	145	②	S	343	S	③	1	①	イ				
		12	146	②	B	0	B	②	1	②	ウ				
		13	147	②	A	100	B	②	1	②	エ				
		14	148	②	B	93	C	②	1	③	イ				
		15	149	②	B	0	B	②	1	③	ウ				
		16	150	①	－	－	D	③	1	③	イ				
		17	151	②	S	608	A	②	1	②	ア				
		18	152	②	B	89	C	②	1	②	ウ				
19	153	②	B	48	C	②	1	②	ウ						

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
7	22	1	154	②	S	150	B	③	5	⑮	ウ	B	●山林整備による美しい里山の再生を図るため、15団体にに対し補助金を交付しました。 ●動植物の生態調査は、計51地点の概要調査と1地点の詳細調査を実施しました。 ●新たに金網柵を12地区6,371m設置しました。また、有害鳥獣の駆除等事業を実施しました。 ●放棄地の未然防止のため、集落営農組織、認定農業者等への農地の集積を図りました。また、中山間直接支払制度を新たに10地区が取組み、耕作放棄地の発生防止等を行いました。		
		2	155	②	A	100	B	①	－	－	－				
		3	156	②	B	0	B	②	9	⑯	イ				
		4	157	②	B	87	C	②	5	⑮	ウ				
		5	158	②	S	153	S	②	5	⑮	ウ				
		6	159	②	A	100	B	②	5	⑮	ウ				
7	23	1	160	②	S	160	S	②	7	⑰	イ	B	●カサブランカ（かさいブランド力）等を最新の情報に更新し増刷しました。また、新たに加西市観光MAPを製作しました。 ●ふるさと加西フォトコンテストを実施しました。入賞作品を掲載した「ふさと加西フォトカレンダー」を製作して800部を配布、販売しました。 ●加西市こども狂言塾では、野村萬斎氏率いる万作の会の指導により新作狂言「根日女」を習得し、7月19日に加西市役所前特設舞台で熱演しました。 ●開発事業の事前調整を図ることにより、周辺住民とのトラブル防止に努めました。 ●フラワーセンター・播磨農高と協働し、花苗育苗・公共施設や老人会花壇に植栽を行いました。		
		2	161	②	S	693	B	②	7	⑰	イ				
		3	162	②	B	80	B	②	9	⑯	オ				
		4	163	②	B	73	B	②	9	⑯	イ				
		5	164	②	A	100	B	②	9	⑯	イ				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
8	24	1	165	②	B	94	B	②	9	㊤	ア	B	●デマンド監視システムを使用し、夏場、冬場の空調の際に、電力負荷が上がらないように努めました。また、ヒートポンプチャラーの温度を適宜設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。 ●電気自動車、蓄電池に補助金を交付しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、事業者に適切な指導、助言を行いました。		
		2	166	③	－	96	C	①	－	－	－				
		3	167	②	S	160	S	②	9	㊤	ア				
8	25	1	168	②	B	97	C	②	10	㊤	イ	B	●新設管（L=1,030m）を施工しました。また、既設管布設替（L=8m）を施工しました。 ●未水洗化家屋のうち新たに17戸について水洗化を実施しました。 ●坂本地区の公共下水道統合を行いました。また、在田南部地区の工事の実施・発注を行いました。 ●配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。 ●歩道設置に伴い透水性舗装整備に取り組みました。		
		2	169	②	S	101	A	②	10	㊤	ア				
		3	170	③	A	100	B	②	10	㊤	イ				
		4	171	②	S	105	A	②	10	㊤	ア				
		5	172	②	B	51	C	②	10	㊤	ア				
8	26	1	173	②	S	110	B	③	9	㊤	ア	C	●播磨風土記をデザインしたマイバックを3歳未満の子のある世帯転入者等に対して無料で配布しました。また、新規出店の小売り店に対し、レジ袋削減に係る協力依頼を行いました。 ●ターミナル回収とクリーンセンターへ直接持込のあった小型家電等の分別を行い、リサイクル事業を実施しました。あわせて、リサイクル率の向上にも取り組みました。 ●家庭用廃食油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。 ●資源物の集団回収奨励金を登録団体に交付し、資源回収事業の促進並びに資源の有効利用を図りました。		
		2	174	②	B	99	C	②	9	㊤	ア				
				②	B	82									
		3	175	②	B	71	C	②	9	㊤	ア				
		4	176	②	B	48	D	②	9	㊤	ア				
8	27	1	177	②	B	35	D	③	9	㊤	ウ	C	●公民館、オークタウンで子供向け環境学習講座を実施しました。 ●公民館の高齢者学級を開催しました。また、公民館主催講座「ネイチャー倶楽部」を開催しました。 ●市内全11小学校で環境体験学習として、校区の特徴を生かした里山保全活動や希少生物調査活動、綿や大豆、野菜を素材とした食品に関する体験活動等に取り組みました。 ●新たな環境経営システムを構築し、継続的に取り組んでいます。		
		2	178	②	S	106	A	③	9	㊤	ウ				
		3	179	②	B	73	B	②	9	㊤	ウ				
		4	180	②	B	77	C	②	9	㊤	ア				
		5	181	②	B	0	C	②	9	㊤	ウ				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）									審議会による外部評価（２次評価）		
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
9	28	1	182	③	B	25	C	③	11	③⑩	イ	B	●会計年度職員制度への移行に伴い、協力隊事業を委託しました。 ●H30年5月に採用した隊員は、R3年3月に3年間の協力隊活動が終了しました。 ●若者ターミナルスポットCOCOKARAは、チャレンジの場、やってみる場、試してみる場として利用しています。 ●地域交流センターにて市民や地域からの問合せに対して登録団体等とのマッチングをしました。 ●創造会議の組織基盤強化のため、県の地域再生アドバイザー派遣事業を活用した支援を実施しました。 ●島根大学まちづくり共同研究事業として全自治会実態調査・アンケート等を実施しました。 ●学識経験者やアドバイザーらによる「地域づくりアドバイザー会議」を実施しました。 ●予算編成に向けた各地区の要望事項の聞き取りとして、市内10地区を巡回し、事前に集約した地域要望、課題について、市民との意見交換を行いました。 ●「集落支援員制度」導入に向けて、制度を構築しました。		
				③	B	17									
		2	183	②	B	63	C	②	11	③⑩	イ				
				②	B	27									
		3	184	②	S	191	S	③	11	③⑩	イ				
		4	185	③	A	100	B	②	11	③⑩	ア				
		5	186	②	B	50	C	②	11	③②	ウ				
6	187	②	B	0	D	②	11	③⑩	イ						
9	29	1	188	②	B	40	C	②	12	③④	ア	B	●映画上映会やセミナー等を通して男女共同参画意識啓発に取り組みました。 ●ねひめカレッジ日本語教室の拡充、長期休暇中の学習サポートに取り組みました。 ●国際理解講座やニュースレターの発行などを通して、多文化共生を推進しました。 ●加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室、人権問題を扱った映画上映会などを開催しました。 ●自治会等各種団体が開催する研修会への講師派遣、資機材の貸出等の援助を行いました。 ●公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施しました。		
		2	189	②	B	77	C	②	12	③④	ア				
		3	190	②	B	80	C	②	12	③⑤	ア				
		4	191	②	S	366	S	②	12	③⑤	ア				
		5	192	②	B	57	A	②	12	③③	ア				

総合計画施策評価一覧

基本 政策	施 策	基本 計画	個票 ページ	行政内部による評価検証（１次評価）								審議会による外部評価（２次評価）			
				進捗 状況	目標数値の達成度		事業の 到達度	今後の 方針	第6次総合計画			総合 評価	R2取組状況	総合 評価	意見・提案等
					区分	最終 (R2)			政策	施策	具体的な 取組				
10	30	1	193	②	B	97	C	②	13	㊸	ア	B	●R2年度の採用について、将来的なバランスを考慮した上で就職氷河期世代を対象とした採用試験を追加で実施しました。 ●加西市行政の取組状況報告会を開催し、市民に向けて部長級及び課長級の成果発表を行いました。また、行政のデジタル化を進めるため、若手職員による行政手続のデジタル化報告会を実施しました。 ●北播磨広域定住自立圏におけるコロナ禍での取組として、新型コロナウイルス感染症対策の情報共有、クラウドファンディングによるマスク購入、消費拡大事業（北播磨あつり券事業）を実施しました。また、圏域市町の職員を対象にSDGs講演会・ワークショップを開催しました。 ●総合計画等の策定に向け、加西市総合政策審議会を条例設置し、「第６次加西市総合計画」を策定しました。 ●日本郵便株式会社と包括協定を締結し、市内郵便局の配達車に「気球の飛ぶまち 加西」のオリジナルステッカーを掲示していただきました。 ●新型コロナウイルスウィルスの影響により、収入が減少した納税者については、徴収猶予や分割納付等を行いました。 ●２月に電子入札システムによる入札を実施しました。また、公契約条例に基づく調査を行い適正価格での応札と、公共事業従事者の労働環境の両立に努めました。		
		2	194	②	B	67	C	②	13	㊸	ア				
		3・8	195	②	B	80	A	②	13	㊸	ア				
		4	196	②	A	100	B	②	13	㊸	エ				
		5	197	②	S	104	B	②	13	㊸	イ				
				②	S	103									
				②	未確定	未確定									
				②	未確定	未確定									
		6	199	②	S	164	S	②	13	㊸	ウ				
7	200	②	S	110	B	②	13	㊸	エ						

第5次加西市総合計画

評価シート

(令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括)

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括シートの見方

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

（サンプル）

1
対象項目

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	R2 (決算額)		2 基本計画を推進するためのR2取組内容 ・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供 3 R2決算（見込）額 2,413						
	取組内容								
	経費（千円）								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	5
		実績	—	40	39	37	39	44	37
(指標及びR2目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。 現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	88%	
			最終年度	80%	78%	74%	78%	88%	74%
R2取組の具体的な状況		5 R2の実績値							
R2取組状況		コロナの影響により、講座開催数、参加延人数ともに昨年度より減少しましたが、検温や手指消毒、会場の変更、内容の変更等の感染防止対策を徹底し、できる限り講座を開催するよう努めました。公民館主催講座として、健康づくり、伝統文化、歴史、料理、趣味など公民館ごとに趣向を凝らした様々な分野の講座を企画し連続講座37、単発講座1の計38講座を開催し、延べ5,779人が受講しました。また、市民教養講座として初心者向けスマホ講座やコロナ禍を想定した防災講座など、時代に即した講座を開催しました。生涯学習に関する情報発信については、市広報誌や講座ごとのチラシ、ホームページやSNSなど様々な媒体を活用して情報提供を行いました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	74%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定		6 ①未着手 ②実行中 ③完了		7 S：予定より早く進行 A：予定通り進行 B：予定より遅延 評価の目安 ※最終(R2)参照 ・101%以上 → S ・100% → A ・99%以下 → B		8 基本計画の推進に対する自己評価 S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている ※指標（KPI）ではなく、		計画の方向性	
子どもから高齢者まで、学びたい人が学べるテーマの講座を開催しています。特に高ジ「かしの木学園」の受講者が増えているので、体操や健康の講座も充実させています。				社会問題や課題をテーマにした講座を開催します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑦	具体的な取組	ア
備考									
9 ①完了 ②継続 ③見直し				10 「第6次加西市総合計画」への展開					

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり									
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり									
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。									
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供								
	経費（千円）	2,413								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50	
		実績	—	40	39	37	39	44	37	
（指標及びR2目標値の設定理由） 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。		目標数値 の達成度	単年度	100%	93%	84%	85%	88%		
			最終年度	80%	78%	74%	78%	88%	74%	
R2取組状況	コロナの影響により、講座開催数、参加延人数ともに昨年度より減少しましたが、検温や手指消毒、会場の変更、内容の変更等の感染防止対策を徹底し、できる限り講座を開催するよう努めました。 公民館主催講座として、健康づくり、伝統文化、歴史、料理、趣味など公民館ごとに趣向を凝らした様々な分野の講座を企画し連続講座37、単発講座1の計38講座を開催し、延べ5,779人が受講しました。また、市民教養講座として初心者向けスマホ講座やコロナ禍を想定した防災講座など、時代に即した講座を開催しました。 生涯学習に関する情報発信については、市広報誌や講座ごとのチラシ、ホームページやSNSなど様々な媒体を活用して情報提供を行いました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	74%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
子どもから高齢者まで、学びたい人が学べるよう各世代を対象としたさまざまなテーマの講座を開催しています。特に高齢者の学習意欲が高く、年々シニアカレッジ「かしの木学園」の受講者が増えています。また、健康に意識が高い方が多いので、体操や健康の講座も充実させています。					社会問題や地域の課題を拾い上げ、地域の団体や関係機関等と連携し、それをテーマに講座を開催する必要があります。 引き続き、教養や趣味の講座と、社会や地域の課題をテーマにした講座を開催します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	3	施策	⑦	具体的な取組	ア
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	生涯学習課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度（公民館出前講座）参加グループ数		目標		30	35	40	45	50	60
		実績	—	25	29	21	26	33	11
（指標及びR2目標値の設定理由） 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。		目標数値の達成度	単年度	83%	83%	53%	58%	66%	
			最終年度	42%	48%	35%	43%	55%	18%
R2取組状況	公民館出前講座を要望される学童保育園、介護施設、各町の小規模サロンや加西市老人クラブ連合会のふるさと芸能大会やサイサイまつりなどの大規模なイベントが中止になるなど、新型コロナウイルスの影響を受け、出前講座の要望数が減少しました。 そのため、公民館出前講座の実施グループ数は11グループ、受講者数も1,103人と昨年度よりも減少となりましたが、感染防止対策を取りながら、できるだけ学習成果を地域に還元するよう努めました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	18%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
公民館主催講座から自主活動となる登録グループを立ち上げるよう支援していますが、一方で既存の登録グループの高齢化が進み、解散する団体が年々増加しています。 出前講座を行ったグループは、地域を越えて全市を対象に積極的に活動をしています。				登録グループの高齢化と、社会情勢により、年々登録グループが減少しています。 公民館主催講座への参加者が登録グループを立ち上げ活動できるよう支援し、学んだことを地域住民に還元できるよう取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑦	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	図書館			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実							
	経費（千円）	257,349							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間図書館来館者数（万人）	目標			23	23	23	24	24	25
	実績		26	23	22	23	22	21	15
（指標及びR2目標値の設定理由） 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	100%	92%	88%	
			最終年度	92%	88%	92%	88%	84%	60%
R2取組状況	新型コロナウイルスの影響により、学校に出向いてのブックトークや図書館見学はほとんどできませんでした。しかし、市内中学校への巡回図書貸出は従来どおり実施でき、令和2年度からはこども園への巡回図書貸出も開始しました。また、市内小学校からの依頼による託送サービスは例年よりも回数・冊数ともに増加しました。 館内では、コロナ感染予防対策を講じて、としょかん映画会、作家トークライブのインターネット配信、少人数によるイベントを開催しました。来館者数は減少しましたが、コロナ禍でも、休館することなくサービス提供に努めました。また、空調設備改修工事を実施、コロナ禍でも安心して図書館を利用してもらえるよう図書資料にI Cタグを貼付、自動貸出機・自動返却機を導入し、運用を開始しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	60%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
学校に出向いてのおはなし会や学校図書館の整理等、学校との連携は順調に進んでいます。館内でも、季節ごとや時期にあった展示や特集、イベントを開催しています。しかしながら、来館者数は漸減しています。				少子高齢化や情報通信手段（パソコン・スマートフォン等）の普及による読書離れにより来館者数が減少しています。館内でのイベントも実施していますが、参加者は固定されているようです。新規の来館者を呼び込むため、各種資料の充実やイベントの開催、電子図書館の推進に取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑦	具体的な取組	イ
備考									
経費については、空調設備改修工事に係る増額決算額です。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業（改修工事） ・播磨国風土記関連事業（こども狂言塾・加西能）							
	経費（千円）	335,032							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市文化祭参加者人数		目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		実績	—	2,440	2,791	2,875	2,505	2,505	1,394
（指標及びR2目標値の設定理由） 加西市文化祭参加者人数（出演者・出品者）について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。		目標数値の達成度	単年度	102%	116%	120%	104%	104%	
			最終年度	102%	116%	120%	104%	104%	58%
R2取組状況		R2年度はコロナ禍の影響により、文化祭のうち半分を開催中止とした（茶席・音楽祭・芸能祭・囲碁大会）が、実施事業については、感染症対策等を徹底し、目標値の半数を超える参加がありました。また、初の試みとして文芸祭を美術展との合同開催とし、表彰式では活動の場が減少した加西市こども狂言塾の発表の場を設けるなど、市外在住の受賞者の皆さんへのPRを行いました。播磨国風土記関連事業は、コロナの影響により第5回加西能が1年後に延期となったため、こども狂言塾による新作狂言「根日女」発表の場として、「希望と祈りを込めて」を開催しました。 加西市民会館の耐震改修工事は、9月に無事完了し、同時に老朽化備品を更新。新しい環境で10月より供用を再開しました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	58%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西市文化祭は秋の芸術文化事業として定着しており、多数の来場者が芸術の秋を満喫されるなど、一定の評価を得ています。				加西市文化祭は秋の恒例行事となっていることから、前例踏襲になりがちですが、このままでは関係団体の高齢化が懸念されます。そのため、芸術の裾野を広げるべく、時代の変化を反映しつつ、他団体と連携した事業開催や、これまでとは異なる世代を対象とした試みなどについて、関係団体と協力しながら少しずつでも進めたいと考えています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				基本方針	3	政策	⑧	施策	ア
備考									
H30取組内容追加（ふれあいの祭典兵庫短歌祭） R元経費修正、取組内容追加（東はりまみんよう大会） R2経費修正、取組内容追加（加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業（改修工事））									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★地域での子どもの共育活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	総合教育センター					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・子どものニーズに合わせた内容の充実							
	経費（千円）	919							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★土曜チャレンジ学習事業（校区）【5-83】		目標		3	5	5	5	5	5
		実績	—	3	5	7	7	6	3
（指標及びR2目標値の設定理由） 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校校区の約半数と設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%	140%	120%	
			最終年度	60%	100%	140%	140%	120%	60%
R2取組状況		北条小、北条東小、下里小、九会小、富合小、泉小校区にて、学校や地域団体と連携し、土曜日等学校休業日に様々な教育活動を延べ４９教室の計画しました。コロナ禍の制限を受けながらも感染拡大対策を徹底して３校区１６教室を開催し、延べ４００名の小学生が参加する事業となっています。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	60%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
実施校数の増減はありますが、目標値を達成するとともに、子どもたちのニーズに合わせながら、多様な活動が展開されています。多くの子ども達が参加し、好評を得ています。				多様な活動が展開される反面、それまでの打ち合わせや準備などに時間を要することがあります。特に学校担当者の負担軽減につながるよう、地域コーディネーターを活用しながら推進していきたいと考えています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	⑥	具体的な取組	ウ
備考									
・内容の充実及び会計年度職員制度による報償費設定のため増額します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地域事業に参画 ・クリスマス大作戦 ・交流会（年間7回）							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
若者広場年間事業数（回）	目標			6	7	7	8	9	10
	実績	3	6	5	6	7	7	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 参画する地域事業の回数を示すもので、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	71%	86%	88%	78%	
			最終年度	60%	50%	60%	70%	70%	0%
R2取組状況	各青年団体と協調・交流を密に行い、青年活動の推進と活性化を目指して活動する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は活動を休止しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
「お化け屋敷大作戦」は加西サイサイ祭りの恒例行事となり、多くの来場者にも喜ばれています。				「お化け屋敷大作戦」以外の事業が他団体との交流会であったり、スタッフであったりと単独の事業がありません。会員数の増加と事業の活性化を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	⑥	具体的な取組	ウ
備考									
会員数の減少に伴い、参画する行事を見直します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き							
	経費（千円）	224							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
青少年団体連絡協議会登録者数（人）		目標		30	30	30	40	40	50
		実績	－	30	30	30	30	30	30
（指標及びR2目標値の設定理由） 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計 人数を示し、事業内容をもとに50名を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	75%	75%	
			最終年度	60%	60%	60%	60%	60%	60%
R2取組状況	青少年の健全育成を目指す団体の指導者が、長年にわたり熱心に活動しています。コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、新春のつどいをWeb開催し、100人以上が閲覧しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	60%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
毎年恒例の「新春のつどい」には多くのスタッフが運営にあたり、多くの来場者を迎えています。来場者の多くは、毎年参加しており、楽しみにしています。				新規会員の獲得が大きな課題です。会員の獲得につながるような広報活動が必要です。また、「デイキャンプ」「新春のつどい」ともに、コロナウィルス感染の状況によっては、開催が危ぶまれます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	⑥	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施							
	経費（千円）	2,000							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数（人）		目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
		実績	78,000	88,890	83,896	86,293	86,848	79,887	67,797
（指標及びR2目標値の設定理由） 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	94%	97%	97%	89%	
			最終年度	99%	93%	96%	96%	89%	75%
R2取組状況	加西南多目的広場のグラウンド改修及びアラジスタジアム不陸整正を実施し、利用者の利便性を向上させました。また、ランドマーク展望台の光ファイバー及びアラジスタジアム西側トイレの排水修繕を行いました。 ヴィクトリーナ姫路応援バスツアーを実施し、プロバレーボールチームとの交流を図りました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	75%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
施設の修繕については、指定管理者と調整しながら進めることができました。また、指定管理者においても利用しやすい施設を目指して対応いただき、利用者数も毎年増加しています。H31年度は新型コロナウイルス感染症の関係で施設を閉鎖したため減少しましたが、閉鎖前までは前年比を上回っていました。				施設の経年劣化が進んでいるため修繕費の増加が見込まれます。また、勤労者体育センターの耐震診断並びに耐震化が必要です。 目標値について、近年増加傾向でしたが設定が高すぎて達成できません。目標値を現実的な数字に見直す必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑧	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・指導者養成講座開催							
	経費（千円）	57							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
指導者養成講座の参加人数		目標		100	105	110	115	120	125
		実績	－	110	93	40	102	84	106
（指標及びR2目標値の設定理由） 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。		目標数値の達成度	単年度	110%	89%	36%	89%	70%	
			最終年度	88%	74%	32%	82%	67%	85%
R2取組状況	北播磨広域定住自立圏において、シオノギ製薬より現役選手、コーチを招いての指導者養成講座（スポーツ教室）を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	85%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
当初は講演会を開催しましたが、実技希望の指導者が多かったため教室形式としました。実施競技によって参加者の増減はありますが、概ね好評を得ています。今後も指導者のニーズに合わせた講座を開催していきます。				指導者の高齢化やスポーツ人口の減少などにより指導者の数が減ってきています。北播磨広域定住自立圏域を巻き込んだ広域的な指導者講座の開催が必要です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑧	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催							
	経費（千円）	700							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
スポーツ教室の年間参加人数		目標		300	320	340	360	380	400
		実績	－	353	391	384	326	564	459
（指標及びR2目標値の設定理由） 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。		目標数値の達成度	単年度	118%	122%	113%	91%	148%	
			最終年度	88%	98%	96%	82%	141%	115%
R2取組状況	ソフト卓球(スーパードライブ)教室を勤労者体育センターにおいて8回実施。また、公民館と連携したニュースポーツ教室を実施しました。バドミントン教室(全8回)、チントクオーレサッカースクール(全10回)、ヴィッセル神戸応援バスツアーを実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	115%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
サッカースクールやバドミントン教室など市民のニーズに合わせた教室を複数回開催することにより、競技人口の拡大を図るとともにスポーツを楽しむ環境を創出できました。				体育協会加盟団体と連携した教室の実施を検討し、競技人口の増加を目指すとともに、スポーツ実施率の向上を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑧	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出会いを求める若者の応援								
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西市出逢いサポートセンター事業							
	経費（千円）	5,479							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★カップル成立年間組数【1-17】		目標		19	20	20	20	20	20
		実績	－	22	3	16	7	16	8
（指標及びR2目標値の設定理由） 婚活実施事業数を3～4回 1回あたりのカップル数を5として算定		目標数値の達成度	単年度	116%	15%	80%	35%	80%	
			最終年度	110%	15%	80%	35%	80%	40%
R2取組状況	平成29年度10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ民間業者に委託しています。 登録者同士のマッチングを行い、63件のお見合いの機会を設けました。また、セミナーを3回、イベントを4回実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	40%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成29年度10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者に事業を委託しています。 平成30年5月から登録者同士のマッチングを行い、234回のお見合いの機会を設け、令和元年に4組が成婚されました。				県内の中で未婚率が高く、結婚の世話をする人が少なくなっている現状では、出逢いサポートセンターの役割は重要となるので、さらに成婚に結びつけられるよう婚活サポーターの養成、育成を行い事業を展開していきます。一方、SNS、マッチングアプリ等出会う手段が多様化しており、サポートセンターへの登録者数が伸びていないのが課題です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	①	具体的な取組	ア
備考									
平成29年度より加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、イベントだけではなく、ひとりひとり丁寧に婚活をサポートするサポーターを養成して、支援にあたる体制を構築中です。その取り組みを通して、カップル成立組数を増やしていきます。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出会いを求める若者の応援								
到達目標	出会いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に会えるイベントや交流機会の創出を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催							
	経費（千円）	委託費に含む							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職域交流年間事業数（回）		目標		1	1	1	1	1	2
		実績	0	5	1	4	4	3	4
（指標及びR2目標値の設定理由） 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。		目標数値 の達成度	単年度	500%	100%	400%	400%	300%	
			最終年度	250%	50%	200%	200%	150%	200%
R2取組状況	加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを加西市商工会議所メンバーやふるさと創造会議と連携して開催しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	200%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業に取り組みました。				平成29年10月から加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、民間業者が商工会議所メンバーとともにイベント、セミナーなどを実施しています。今後も連携イベントを行っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	①	具体的な取組	ア
備考									
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業に取り組みます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	５ 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 義務教育９年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携推進プランの見直し ・教育課題別に系統性のある指導の連携 ・保幼小中連携教育研修講座の実施							
	経費（千円）	453							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】		目標		1	1	1	2	3	3
		実績	—	1	1	1	2	3	3
（指標及びR2目標値の設定理由） 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から３倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	33%	33%	33%	67%	100%	100%
R2取組状況	全中学校区において、小中連絡会や部会での協議を基軸とした合同研修会や相互授業参観、さらには小・小・小中合同交流会、体験入学が実施されるなど、小中連携教育が推進されました。また、小中教員が目標達成に向けて熟議できるよう小中連携推進プランを見直し、令和３年度からの運用を整えました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
小中連携推進プランに則り、教師力の向上、中１ギャップの解消、学力向上に向けて確実に前進しています。中学校区ごとに特徴的な取組も見られ、児童生徒の不安軽減にもつながっています。				小中連携推進プランに沿って取組を進め、すべての領域において指導系統表を作成し、教員の交流ならびに共通理解を図ることができるよう推進します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	５ 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ 小中教員の連携、外国人語学指導助手（ＡＬＴ）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・外国人英語指導助手配置事業 ・小学校６年間ににおける外国語活動実施事業 ・幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 ・地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業							
	経費（千円）	31,820							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
外国語指導助手の配置人数		目標		6	6	6	6	7	7
		実績	6	6	6	6	6	7	8
（指標及びR2目標値の設定理由） H32年度から全面实施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を１名増やし充実にあて		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	86%	86%	86%	86%	100%	114%
R2取組状況		・派遣契約及び直接雇用で、令和元年度から１名追加し８名のALTを確保し、小中学校における英語科や外国語活動のさらなる充実を図りました。 ・小学校においては、令和２年度も英語が堪能な地域住民を活用し、学級担任とのチームティーチング授業を行いました。 ・小学校外国語活動及び中学校英語科におけるALTの授業補助を実施し、異文化理解や主体的に外国語を用いたコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図りました。 ・夏期休業中の「kasai英語村サマーキャンプ」へのALT派遣については、学校の夏期休業が短縮されたため、実施することができませんでした。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
	区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	114%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・ＡＬＴ派遣講師の増員により、小学校においては学級担任による新たな教科への対応や授業準備など、多忙である教師の時間的・精神的負担の軽減が図ることができました。 ・幼稚園、こども園、特別支援学校および社会教育施設への派遣により生涯学習社会における外国語教育の充実を図ることができました。				・小学校においては、新学習指導要領の全面实施に伴う外国語活動及び外国語科の全ての授業において、学級担任、英語専科教員とＡＬＴ、地域人材によるチームティーチング授業を実施します。 ・中学校においては、ＡＬＴとともにスピーチコンテストやコミュニケーションを重視した授業を実施するなど４技能５領域を重視したソフト面での対応の充実を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	５ 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ 情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	※リース							
	経費（千円）	90,177							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
教育用PC更新済校数		目標		2	8	12	13	16	18
		実績	－	2	8	12	12	12	12
（指標及びR2目標値の設定理由） リース更新年により決定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	92%	75%	
			最終年度	11%	44%	67%	67%	67%	67%
R2取組状況	文部科学省のGIGAスクール構想を受けて、すべての小・中・特別支援学校で一人一台パソコンの整備しました。 （教育用ＰＣの更新については未実施です）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	B：予定より遅延	67%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
計画途中であるH29年度に、利用状況等を考慮して更新期間を従来の５年から８年に変更したため、H30年度とR元年度には更新を行いませんでした。R元年度には、文部科学省のGIGAスクール構想を受けて整備方針を変更し、R2年度中にすべての小・中・特別支援学校で一人一台パソコンの整備を実施することになりました。				一人一台パソコンが実現することで、情報端末の整備としては充足することとなります。今後の課題としては、整備したパソコンの教育への有効活用と、パソコンの更新計画について検討する必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	工
備考									
H29年度より教育用ICT機器の更新を「８年」に変更していましたが、国の教育情報化施策が急激に加速していることから、再度更新期間を「５年」に見直します。文部科学省のGIGAスクール構想にあわせ、整備台数の目標を完全一人一台に変更し、令和2年度には小4～小6に端末を整備します。 ※R5年度までにはすべての小・中学校で一人一台端末の整備を完了する予定。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	５ 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	４ 加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施							
	経費（千円）	1,942							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
小中学校での体験型環境教育の年間時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	8	8	10	10	10	10	4
（指標及びR2目標値の設定理由） １校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。		目標数値の達成度	単年度	80%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	80%	100%	100%	100%	100%	40%
R2取組状況	各校の年度当初の計画では、６月初旬から中旬にかけて「あびき湿原環境学習」を実施予定でしたが、４月・５月の臨時休校により、実施を延期または中止し、年間実施時間数が減少しました。 実施校の児童は９月下旬から１０月上旬にかけて湿原を訪れ、地域に生息する希少水生動植物を観察し、あびき湿原保存会の方から生態や保存の経緯を学ぶことを通して、地域の人々の自然や地域に対する思いにふれて、自然を大切にしようとする心情を育むことができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	40%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めました。 ・環境体験学習を小学校11校すべてで実施し、各校区の特色や人材を生かした環境体験学習や「あびき湿原環境学習」を実施し、貴重な市内の自然環境とふれあいながら、学びを深めました。				・環境体験学習を継続するための人材バンクや組織作りが必要です。 ・環境体験学習を実施するための交通費等の負担が増大しています。 ・あびき湿原から広がる加西の環境学習の素材の開発が必要です。 あびき湿原を中心としながら、継続して未来の加西の児童生徒までが学べる加西の環境学習の構築へとつなげます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊸	具体的な取組	ウ
備考									
「あびき湿原環境学習」の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。 学級数の変動により経費を見直しました。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議							
	経費（千円）	90							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数		目標		3	4	4	5	5	5
		実績	—	3	4	4	5	5	5
(指標及びR2目標値の設定理由) 指標：専門研修の開催数 目標値設定理由：校内支援体制の充実		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	60%	80%	80%	100%	100%	100%
R2取組状況	市内学校園の特別支援教育コーディネーターが参加する「特別支援教育コーディネーター部会」を3回開催しました。県の施策と加西市の取組計画を推進するための伝達研修や校種をまたいだ情報交換等を行いました。また、コーディネーターの役割について共通理解を図り、「通級による指導」、「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」の作成や活用・引継ぎ等の扱いについても全体で確認しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、第2回目は会場を分けて行い、第3回はオンラインでの研修としました。また、「特別支援教育ネットワーク会議」は、関係機関との情報交換は中止としましたが、進学先への引継ぎを丁寧に行いました。コーディネーターを中心に、すべての教職員の資質向上を目指し、縦と横の連携を深め、切れ目のない一貫した支援・教育を進めています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
各校園の特別支援コーディネーターと関係機関が参加し、情報交換や研修を行うことによって教職員の専門性が向上し、各校園内の支援体制や、障がいの状態や教育的ニーズに応じた配慮や支援が提供できるような教育環境整備が進んできました。				同じ場でともに学ぶインクルーシブ教育システムの構築を目指します。個々の能力や個別の教育的ニーズに応じた指導を提供できるよう、特別支援学校のセンター的機能やエリアコーディネーターを活用し、縦と横の連携をさらに深め、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校の「多様な学びの場」の充実を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	５ 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	６ 総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 ・特別研修講座の開催							
	経費（千円）	140							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①総合教育センターにおける年間研究講座数		目標		15	39	40	40	40	40
		実績	10	36	43	45	45	43	21
（指標及びR2目標値の設定理由） 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定		目標数値の達成度	単年度	240%	110%	113%	113%	108%	
			最終年度	90%	108%	113%	113%	108%	53%
②★校内研修の実施回数（月あたり回数）【5-86】		目標		3	3	3	3	3	3
		実績	－	3	3	3	3	3	3
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数（月あたり）を示し、各月週１回開催をもとに設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	・コロナ禍による臨時休校が続きましたが、教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修、新学習指導要領全面実施に対応した研修内容を検討、精選し、２０コース２１講座を計画しました。しかし、夏季休業日短縮および感染拡大防止の観点から１０講座に減らして実施しました。 ・開催が難しい状況でしたが、教職員のニーズに応えるため新たにオンライン形式による研修講座を確立することができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	53%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	A：予定通り進行	100%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
教員のニーズや教育界の課題に沿った研修内容を設定し、受講者から好評を得ています。また、小中教員が同じ研修内容、時間を共有し、交流することで、それぞれの指導理念に触れ、教師力向上や授業改善につながるとともに、児童生徒の学力向上にもつながっています。				日々変化する教育の課題に対応できるよう、教員の教師力向上に向けて研修内容を深めるとともに、オンラインによる研修講座など、新しい形の研修形態を模索しながら教員の負担軽減にも努めたいと考えます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策	
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり
施策	５ 特色ある教育
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の９年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり									
施策	5 特色ある教育									
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	7 ★特色のある部活や教室を設置します。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・部活動指導者研修会の実施 ・部活動外部指導者及び部活動指導員の活用 ・部活動ガイドラインの点検評価 ・学校外の活動主体や運営方法の在り方についての検討								
	経費（千円）	1,487								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】		目標		-	1	1	3	3	3	
		実績	-	-	1	1	1	0	1	
（指標及びR2目標値の設定理由） 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開設する		目標数値の達成度	単年度	-	100%	100%	33%	0%		
			最終年度	-	33%	33%	33%	0%	33%	
R2取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大により、夏期休業が中止となり、部活動指導者研修会の開催ができなかったが、大塚製薬株式会社との包括連携協定による「熱中症対策アドバイザー養成講座」をオンラインで開催しました。 講座の受講により、教職員が「熱中症対策アドバイザー」の資格を取得した。また令和5年度以降の地域部活動への移行に向けた関係部署との調整を開始しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	33%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・部活動ガイドラインを毎年度見直すことで、熱中症対策の具体的な取組やノ部活デーの確実な設定を図ることができました。 ・単独で引率可能な部活動指導員の要綱を市で定めることで、教職員の負担の軽減とともに、部活動の指導の充実を図ることができました。					・部活動指導員の人材確保とともに、社会教育団体等とも協力し、持続可能な形で地域主体の部活動運営に向けた方向性を関係部署、関係機関とともにつくります。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	2	施策	④	具体的な取組	ア
備考										
・従来の部活動外部指導者の配置に加えて、国・県費を補助金として活用した部活動指導員を配置し活用します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★地元高校の活性化を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援（アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動）							
	経費（千円）	3,327							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】		目標		400	420	440	460	500	500
		実績	－	416	406	631	514	508	31
（指標及びR2目標値の設定理由） 北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えると想定。		目標数値の達成度	単年度	104%	97%	143%	112%	102%	
			最終年度	83%	81%	126%	103%	102%	6%
R2取組状況		新型コロナウイルス感染拡大の影響により、兵庫教育大学大学院生・大学生を講師としたゼミ「基礎コース」は、年間を通して実施できませんでしたが、河合塾の講師によるゼミ「受験コース」は、感染状況が一時収まった2学期については、実施することができました。今後は、講義方法のオンライン化も検討していきます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	B：予定より遅延	6%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
北条高校活性化協議会の事業では、学力の向上を目的としたアフタースクールゼミだけでなく、国際交流事業や市内小学校への出前講座支援など、生徒が様々な体験を通して成長できるよう支援をしています。 また、関関同立・産近甲龍の有名私大の合格者数についても、平成28年度から年々増加傾向にあります。				加西市内の中学3年生数の減少に伴い1学級減となりましたが、今後も中学3年生数が増える見込みがない中で、どのように生徒確保を図るかが課題です。 市内外の多くの中学生が進学したいと思うような魅力ある高校を目指して引き続き支援し、進学希望者の確保を図り、1学年4学級の回復に向けて取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	④	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校１年生から中学校３年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	※耐震化完了							
	経費（千円）	—							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造） (指標及びR2目標値の設定理由)	目標		100	—	—	—	—	—	—
	実績	58	100	—	—	—	—	—	—
	目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—	—
		最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②学校耐震化率（木造） (指標及びR2目標値の設定理由)	目標		100	—	—	—	—	—	—
	実績	0	100	—	—	—	—	—	—
	目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—	—
		最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
③★学校施設における太陽光発電容量（kw） 【5-84】 (指標及びR2目標値の設定理由)	目標		197	—	—	—	—	—	—
	実績	10	197	—	—	—	—	—	—
	目標数値の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—	—
		最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	なし								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	—	100%	B：目標を達成					
	③完了	—	100%						
	③完了	—	100%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
昭和５６年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成２７年度までに改修を完了しました。				昭和５６年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでいます。令和２年度策定予定の学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に改修工事を実施していく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	2	施策	⑤	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	６ 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校１年生から中学校３年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	中学校照明器具更新工事 善防中屋外トイレ改修工事 善防中屋外トイレ２改修工事							
	経費（千円）	19,368							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
改修工事の完了棟数		目標		—	—	6	10	11	13
		実績	—	—	—	1	1	2	2
(指標及びR2目標値の設定理由) 建築年度により計画棟数を設定		目標数値 の達成度	単年度	-	-	17%	10%	18%	
			最終年度	-	-	8%	8%	15%	15%
R2取組状況	中学校 普通教室照明器具更新工事、善防中学校 屋外トイレ改修工事、 善防中学校 屋外トイレ２改修工事 富田小学校 体育館改修（繰越）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	15%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
昭和５６年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成２７年度までに改修を完了しました。しかし、昭和５６年以降に建設された建物については老朽化が進んでおり、事業実施計画に基づき改修を行っていますが、十分な改修を行うことができませんでした。				昭和５６年以降に建設された建物は改修を行っていない為、老朽化が進んでいます。令和２年度策定予定の学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に改修工事を実施していく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	２	施策	⑤	具体的な取組	ア
備考									
事業実施計画により、取組内容を変更します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	(旧) 南部学校給食センター 解体工事							
	経費(千円)	12,675							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
単独調理場数【減少指標】	目標			3	3	3	3	0	0
	実績	-	-	-	3	3	3	0	0
(指標及びR2目標値の設定理由) 南部給食センターH29設計、H30建設工事、R元 解体工事 R元に単独調理場統合		目標数値 の達成度	単年度	-	-	100%	100%	0%	
			最終年度	-	-	0%	0%	0%	100%
R2取組状況	(旧) 南部学校給食センター 解体工事 泉小学校 給食保管室整備工事 北条・北条東小学校 給食保管室整備工事								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
南部学校給食センターの稼働により、現在、北部学校給食センター管内においてのみ実施しているアレルギー対応食をすべての小・中・特別支援学校に提供できることになり、安全安心な給食を実施することができるようになります。				継続して、安全安心な給食を提供し、さらに、新たな給食センターの活用方法として食育の拠点、災害時における非常食の提供などの手段、方法を模索していきます。					
今後の方針				対応箇所					
①完了				政策		施策		具体的な取組	
備考									
補助事業の採択に伴い、令和元年度より南部学校給食センター改築工事に着手する。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	７ 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業							
	経費（千円）	1,160							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】		目標		380	385	390	395	400	410
		実績	380	380	385	390	400	570	515
（指標及びR2目標値の設定理由） 指標：ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由：地域に開かれた学校づくり		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%	143%	
			最終年度	93%	94%	95%	98%	139%	126%
R2取組状況	新型コロナウイルス感染症の拡大により、「新しい生活様式」に基づいた教育課程への再編制が余儀なくされました。それに伴い、学校づくり応援事業および環境体験事業におけるゲストティーチャー招聘による教育活動についても、必要最低限のみでの実施しました。 ゲストティーチャー内訳：学校づくり(382人)+環境体験(75人)+自然学校（58人）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	126%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・「加西学校づくり応援事業」による各校の特色づくりとともに、各校の児童生徒の実情に合わせたゲストティーチャー等の活用により、地域一丸となって学校教育を推進する原動力をつくることができました。 ・環境体験事業…11校すべてでゲストティーチャーを活用し、各学校で工夫した取組により、活用人数が増加しました。				・目指す児童生徒像の実現に向け、資質・能力を身につけさせる手段としての教育課程の編成を通して、ゲストティーチャー等の活用を図ります。 ・地域の実情により活用人数に差があるため、内容を吟味しながら、今後も継続して地域と連携し、目指す資質・能力ベースで教育活動の充実を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	2	施策	⑥	具体的な取組	イ
備考									
事業実績に基づき、加西学校づくり応援事業の経費を見直しました。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり									
施策	７ 地域に開かれた学校づくり									
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	２ 小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	総合教育センター			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・地域と学校の連携・協働体制構築事業								
	経費（千円）	2,808								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
校内交流広場設置数		目標		16	—	—	—	—	—	
		実績	11	16	—	—	—	—	—	
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を 示し、全校設置を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	—	—	—	—	—	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
R2取組状況	ワッショイスクール事業を展開する全小学校において、ワッショイスクール協力員の部屋が設置されています。また、市内全学校において地域住民が学校教育を支援できる環境が整うとともに、児童生徒や協力員の交流の場としての機能を果たしています。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	—	100%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
ワッショイスクール事業立ち上げより、協力員の皆様には教育支援や校内における見守り活動において多大な協力をいただいています。児童生徒が地域の方々など多様な他者と関わることは、社会に開かれた教育課程の推進の上でも効果を上げています。					今後も事業を継続するために、新規協力員の確保が必要となります。環境を整備し、持続可能な事業となるよう努めます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	2	施策	⑥	具体的な取組	ウ
備考										
昨年度、国・県の補助金が大幅に削減されたため、経費を事業内容に合った金額に変更します。 令和２年度から事業名が変更になりました。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	２ 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	７ 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ 学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催							
	経費（千円）	315							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
オープンスクール年間開催数（１校あたり）		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	－	10	10	10	12	12	6
（指標及びR2目標値の設定理由） １校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	91%	83%	92%	86%	
			最終年度	67%	67%	67%	80%	80%	40%
R2取組状況	新型コロナウイルス感染症の拡大により、「新しい生活様式」に基づいた教育課程への再編制が余儀なくされました。その状況下においても、最大限実施できる感染症対策を行った上で、オープンスクールの規模を縮小・削減しながら実施しました。 学校評議員会についても、感染症対策を行った上で実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	40%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・オープンスクールは、兵庫の教育推進月間を中心に、市内16校すべてで実施し、各校の特色ある取組を公開し、地域に信頼される学校づくりを推進しました。 ・学校評議員会を市内16校すべてで実施し、学校評議員会での意見を参考に、開かれた学校づくりの推進を図っていきます。				・地域に開かれた学校づくりをめざし、学校評議員会等を活用し、地域とともに歩んでいく学校づくりが必要です。 ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入に向け、総合教育センターとも、さらなる連携を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	2	施策	⑥	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	８ 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】	目標			1	1	1	2	2	3
	実績	0	1	1	1	2	0	1	
（指標及びR2目標値の設定理由） 主要作物毎に塾の開催を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	0%	
			最終年度	33%	33%	33%	67%	0%	33%
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】	目標		1	1	2	2	2	2	
	実績	－	1	2	3	3	3	3	
（指標及びR2目標値の設定理由） 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。		目標数値の達成度	単年度	100%	200%	150%	150%	150%	
			最終年度	50%	100%	150%	150%	150%	150%
R2取組状況	コロナ禍の中、規模を縮小し、小学生の柿収穫体験、播磨農高ダークホース栽培・ハボタンPRイベントへの参加に取り組みました。 「農業塾」については、農閑期に開催計画していたが、コロナ対策をし獣害対策研修会を開催しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	33%	B：目標を達成					
②	②実行中	S：予定より早く進行	150%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地元高校や大学との連携を進めることができました。農家との交流については、おおむね実施できています。				引き続き、学校との連携や農家同士の交流の機会を作っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	38	具体的な取組	イ
備考									
農家団体が主催できるように移行するように取り組んでいる。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	８ 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ 生産、加工、販売の一体的な６次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業家への支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・アスパラガスの生産及び加工推進							
	経費（千円）	2,230							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★高付加価値品種育成数【2-46】		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	－	1	3	3	3	3	3
（指標及びR2目標値の設定理由） 加西ブランド協議会の取り組みに加え、ＪＡによる 産地形成の取り組みに協力する。		目標数値 の達成度	単年度	50%	150%	150%	150%	100%	
			最終年度	33%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	加西市でアスパラガスを新たに栽培を目指す農家のハウス補助をＪＡ兵庫みらいと連携し、上乗せ補助を実施し、ＪＡ兵庫みらい管内の中で、加西市が産地になるように取り組みました。集荷作業軽減の為に機械補助を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
アスパラガスの生産に取り組む農家が増え、JA兵庫みらい管内では、加西市が最も生産者が多くなっています。				アスパラガスへのハウス補助については、令和2年度をもって終了とします。今後は、産地をPRしていく取り組むが必要と考えています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	5	施策	⑬	具体的な取組	ア
備考									
アスパラガスの特産品化をJAと連携して進めるため、ハ°イ°ハウスの整備補助を行う。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	８ 裾野の広い農業の育成									
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	３ 新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なＰＲに努めます。									
主管部課	部名	地域振興部				課名	農政課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会								
	経費（千円）	200								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①★市民農園年間利用区画数【3-62】	目標		40	50	60	60	70	70		
	実績	－	43	46	43	47	50	53		
	目標数値の達成度	単年度	108%	92%	72%	78%	71%			
		最終年度	61%	66%	61%	67%	71%	76%		
(指標及びR2目標値の設定理由) H28～30は西笠原による増。R元以降は新たな園による増を想定。										
②★新規年間就農者数【2-47】	目標		1	2	2	2	2	2		
	実績	－	3	5	0	1	2	1		
	目標数値の達成度	単年度	300%	250%	0%	50%	100%			
		最終年度	150%	250%	0%	50%	100%	50%		
(指標及びR2目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。										
R2取組状況	・市民農園については、H28に開設された西笠原市民農園を就農相談会等でPRしました。 ・加西市新規就農促進協議会として、県内外の新規就農相談会等に積極的に参加し、市外の新規就農希望者に加西市の農業を広くPRするとともに、就農相談を適宜実施し、関係機関と連携しながら就農支援を実施しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	76%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	B：予定より遅延	50%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・市民農園については、引き続きPRを進めています。 ・新規就農については、加西市独自の支援策や積極的に相談会に参加したことにより、相談者は増え、これから地域を担っていく意欲の高い就農者も増えました。					・市民農園については、開設者による新たな取り組みと提案し、利用者を増やしていくように支援してきます。 ・農地や住居、出荷、栽培指導等について、各部署と連携を図りながら、有望な人材確保を進め、引き続き、相談会へ積極的に参加していきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	5	施策	⑬	具体的な取組	イ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策											
基本政策		3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策		8 裾野の広い農業の育成									
到達目標		様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。									
基本計画・主管部課											
基本計画		4 法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。									
主管部課		部名			地域振興部			課名		農政課	
評価検証											
実施スケジュール		区分	R2 (決算額)								
		取組内容	・法人化を検討する組織との協議 ・就農プランに応じた研修誘導 ・新規就農者への各種補助								
			経費（千円）	10,493							
指標名			区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
				当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①農業法人数 (指標及びR2目標値の設定理由) 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。			目標		9	9	9	10	10	10	
			実績	1	9	9	10	10	11	11	
目標数値の達成度			単年度	100%	100%	111%	100%	110%			
			最終年度	90%	90%	100%	100%	110%	110%		
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】 (指標及びR2目標値の設定理由) 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。			目標		2	2	2	2	2	2	
			実績	－	3	11	6	5	5	5	
目標数値の達成度			単年度	150%	550%	300%	250%	250%			
			最終年度	150%	550%	300%	250%	250%	250%		
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】 (指標及びR2目標値の設定理由) 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。			目標		1	2	2	2	2	2	
			実績	－	5	3	3	2	2	0	
目標数値の達成度			単年度	500%	150%	150%	100%	100%			
			最終年度	250%	150%	150%	100%	100%	0%		
R2取組状況		新たにぶどう農家が就農し、岡山県から移住後、就農認定を行いました。新規者支援事業は令和3年度から行うこととなりました。市内の農家に市外在住の就農希望者2名がインターンシップ事業に取り組みました。集落営農組織以外で4つの法人が立ち上がりました。									
自己評価		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
			区分	最終(R2)							
①	②実行中	S：予定より早く進行	110%		A：目標を上回って達成						
②	②実行中	S：予定より早く進行	250%								
③	②実行中	B：予定より遅延	0%								
次期総合計画策定に向けた総括											
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性						
加西市独自の就農支援策によって、新規就農者の経営を支えてこれています。支援期間終了後も離農者は出ていません。営農組合の法人化も増加して、法人化を検討している集落営農組織も存在し、引き続き支援していきます。					新規就農者の確保と法人化支援は継続していきます。農の雇用事業やインターンシップ事業を活用して、そこから独立する農家を作っていきます。						
今後の方針					対応箇所						
②継続					政策	5	施策	⑭	具体的な取組	ア	
備考											

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策	
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	８ 裾野の広い農業の育成
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	８ 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充							
	経費（千円）	11,436							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
農用地利用権設定面積（ha）		目標		570	300	350	400	450	600
		実績	241	286	290	621	638	668	673
（指標及びR2目標値の設定理由） 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。		目標数値の達成度	単年度	50%	97%	177%	160%	148%	
			最終年度	48%	48%	104%	106%	111%	112%
R2取組状況	基盤法に基づく農地利用権設定による集積に加え、農地中間管理事業を通じた担い手への集積を推進しました。 （基盤法による集積 308ha、農地中間管理事業による集積 365ha） また、認定農業者や集落営農組織への支援として、担い手育成施設整備支援事業を拡充しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	112%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
順調に集落単位で中間事業を活用した権利の設定が行われています。これにより営農組合への集積が進んでいます。				中間管理事業を通じた集積については、補助金の減額もあり、今後大きな権利設定が行われる可能性は少ないが、耕作が困難な事例については、中間管理事業を活用するとともに、市が行う集積も積極的に活用するようにしていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	5	施策	⑭	具体的な取組	ア
備考									
高齢化による離農者の増に伴い、地域農地を守る担い手への負担も急激に増加しており、機械化による負担軽減と効率化が急務となっています。 また、集落営農組織や認定農業者数も毎年増加していることから、施設整備支援事業の拡充を図るものです。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	８ 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	６ 多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農林整備課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・農地維持活動 109組織 ・共同活動 108組織 ・長寿命化活動 107組織							
	経費（千円）	264,856							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
多面的機能支払交付金事業への参加団体数		目標		110	110	110	110	110	110
		実績	－	110	110	110	110	109	109
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内全域の農地を地域住民が管理していく仕組み 作りのため。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	99%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	99%	99%
R2取組状況	多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みとして、農地維持活動109組織、資源向上（共同）活動108組織、資源向上（長寿命化）活動107組織が事業を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	99%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
交付金を活用することによって、農業基盤の長寿命化が図られており、地域コミュニティの維持においても大きな成果がありました。				交付金は地域活動の大きな助けとなっています。今後も推進して行きますが次期計画の個別計画としての位置付けは行いません。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	5	施策	⑮	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	８ 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	７ ★ＩＣＴを活用した施設園芸の普及に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・大規模農業施設支援事業							
	経費（千円）	14,211							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★施設園芸新設数【2-48】		目標		1	1	1	1	2	2
		実績	－	1	1	1	1	1	1
（指標及びR2目標値の設定理由） 大規模施設園芸の開設数 投資規模（１億円以上の投資）により設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	50%	
			最終年度	50%	50%	50%	50%	50%	50%
R2取組状況	IT技術を活用した施設園芸を目指す生産者への設備補助を行いました。（ただし、投資予定は1億円未満。）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	50%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
同規模施設の設定については、事業費等の関係で増加は難しいと考えます。現在の施設から独立して加西市で農業を始める人材が誕生することを期待しています。 市内事業者が加工品を開発し、ひょうご五つ星ブランドの認証をとりました。				同規模の施設の設置は困難であるため、市の支援終了後の運営を注視していきます。 代わりに小規模施設園芸農家が、ICTを活用して規模拡大できる環境を整えていきたい。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	5	施策	⑮	具体的な取組	ア
備考									
兵庫ネクストファームへの施設支援事業の減少によるものです。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	８ 裾野の広い農業の育成									
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	８ ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・誘致協議								
	経費（千円）	０								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★サテライト機能の具体化（大学数）【3-59】		目標		—	—	—	—	1	1	
		実績	—	—	—	—	—	0	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） サテライトキャンパス機能を加西市に有する大学数が 指標として最適である。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%		
			最終年度	—	—	—	—	0%	0%	
R2取組状況	神戸大学大学院農学研究科付属食資源教育研究センターが地元小学校に収穫体験を行ったり、学校給食として柿を提供しています。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
	区分	最終(R2)								
	②実行中	B：予定より遅延	0%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
少子化社会のなか、新たに大学等がサテライトキャンパスを持つことは非常に困難であるため、既にある神戸大学等と連携して何ができるかを考え、実施しました。					現実的に大学等のサテライトキャンパスを誘致するのは難しいため、次期計画では指標を変更し、大学等との連携協定をきっかけとした連携について設定していくべきであると考えます。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	5	施策	⑭	具体的な 取組	ウ
備考										
神戸大や県立大との連携のうえ引き続き検討していきます。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	９ 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 地元農産物を食材利用する事業者を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。							
	経費（千円）	10,000							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西産農産物提供店舗数【4-66】		目標		4	15	15	15	20	20
		実績	－	12	12	12	12	12	12
（指標及びR2目標値の設定理由） 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	300%	80%	80%	80%	60%	
			最終年度	60%	60%	60%	60%	60%	60%
R2取組状況	市外への販売を進めていくために、ふるさと納税の返礼品に登録。順調に販売されている。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	60%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
観光まちづくり協会との連携は継続しています。市内販売に加え、ふるさと納税の返礼品としても出荷が増えています。				鶏野関係の補助を活用し、新たな特産品の開発を支援していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	5	施策	⑭	具体的な取組	ウ
備考									
令和元年度からは、空がつなぐまち・ひとづくり事業（地方創生推進交付金）を活用し、地元ブランドづくり事業を行う。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	９ 地域資源を活用した産業振興									
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	２ 地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。									
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進								
	経費（千円）	907								
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
市内小・中学校における食育授業の時間数		目標		10	10	10	10	10	10	
		実績	－	10	10	10	16	10	4	
（指標及びR2目標値の設定理由） 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	160%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	160%	100%	40%	
R2取組状況	学校給食にJA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物（玉ねぎ、白菜、キャベツ、根日女みどり、アスパラガス等）を12種計9.5tを提供しました。また、食育授業については、コロナ禍の影響により実施できない作物がありましたが、引き続き神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	40%	A：目標を上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地元農産物の学校給食への使用を推進し、令和元年度においては、平成27年と比較して農産物提供量が約２倍となりました。 食育授業については、地域の農業者、大学との連携により、平成27年度から継続して実施できています。特に、加西とまとの収穫体験においては、実施校が3校から4校へ、協力農家数も4軒から5軒に増加しました。					地元農産物の学校給食の使用を引き続き支援していきます。 食育授業については、希望する小学校で実施できるよう、農家への協力依頼等を行っていきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	5	施策	⑭	具体的な取組	ウ
備考										
食育に関する関係部局と予算を調整										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 地域ビジネス講座を拡充します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾							
	経費（千円）	1,150							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
製造品出荷額等（億円）【2-52】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,586	2,948	3,321
（指標及びR2目標値の設定理由） 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%	98%	99%	111%	
			最終年度	94%	95%	93%	97%	111%	125%
R2取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。新規開拓営業事業セミナー、キャッシュレス決済対応セミナー、業務効率アップセミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等の専門家派遣を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	125%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
商工会議所と連携を図り、新規開拓営業事業セミナー、キャッシュレス決済対応セミナー、業務効率アップセミナー、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等、社会情勢に対応した施策を実施できている。				産業として成立する事業へまで支援できていない。ウィズコロナの時代に向け、リモートワークやキャッシュレス決済等に対応した事業展開ができるよう、新たなセミナーや相談対応、支援施策を検討する必要がある。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・通年通して販売するおみやげの充実 ・市内企業と協働した取り組みの推進							
	経費（千円）	2,550							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①加西産品の販売店舗数		目標		35	37	39	41	43	45
		実績	27	30	30	36	43	59	59
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西産品を商品・食材として販売し、P Rしている 小売店舗数をH32に10店舗増とする。		目標数値 の達成度	単年度	86%	81%	92%	105%	137%	
		最終年度	67%	67%	80%	96%	131%	131%	
②★P Rブース年間開設数【3-57】		目標		12	13	14	15	17	17
		実績	—	12	13	13	16	19	1
(指標及びR2目標値の設定理由) 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32 に5回増とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	93%	107%	112%	
		最終年度	71%	76%	76%	94%	112%	6%	
R2取組状況	市内企業と協働して紫電改・気球クリアファイル、かさいのかさいさん付箋、観光地を描いた特大せんべい、播州織加西てぬぐいの4品目を開発しました。クリアファイルと付箋は急増した修学旅行生へのお土産として進呈し、せんべいと手ぬぐいは加西SA、フラワーセンター等にて販売しています。R2はコロナの影響によってイベント数が激減したため、物産展への出店は1回のみでした。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	S：予定より早く進行	131%	A：目標を上回って達成					
②	②実行中	B：予定より遅延	6%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
喝采みやげの選定や発表により、加西土産のP Rを開始しました。 ふるさと納税が好調で加西産の商品、取扱店舗が増えました。 市内外の物産展に積極的に参加し加西をP Rしました。 鵜野飛行場跡を拠点とした観光P Rが始まり、物販を開始しました。				かさい喝采みやげの品数を増やします。 ふるさと納税返礼品と喝采みやげの関連づけます。 人が集まるイベントの変化に対応したP Rを実施します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	11	施策	㊴	具体的な 取組	ウ
備考									
R2取組内容・経費修正（市外へ行くだけでなく紫電改一般公開やuzura-noなど市外の方も参加する市内で行うイベントへ来る人に効果的なP R）									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	９ 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業							
	経費（千円）	57,560							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
卸売業・小売業年間販売額（億円）		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	707	737	756	774
（指標及びR2目標値の設定理由） 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	98%	100%	101%	
			最終年度	89%	94%	94%	98%	101%	103%
R2取組状況	ポイントカードや住宅リフォーム助成事業、市内共通商品券を発行し市内消費の喚起に努めました。 コロナ対策として、市内共通商品券に関してプレミアム率を通常10%を20%にし、発行額も大幅に増やして実施しました。また、県の商店街お買い物券・ポイントシール事業を活用した消費喚起の取組も実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	103%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
ポイント事業、共通商品券事業を定期的に実施し、市内商業の活性化を図りつつ、商工事業者支援を実施している。ネットモールはハードルが高い。個店ごとの温度差がある。				商品券事業は、おおむね好評であるが、利用者の年齢層は比較的高い傾向にある。 従来の商品券事業に加え、キャッシュレス決済や携帯アプリを活用したポイント還元事業等を検討し、新しい生活様式に対応した経済活性化施策を検討する必要がある。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	6	施策	⑮	具体的な取組	イ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給							
	経費（千円）	270,448							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★製造品出荷額等（億円）【4-67】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487	2,586	2,948	3,321
（指標及びR2目標値の設定理由） 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%	98%	99%	111%	
			最終年度	94%	95%	93%	97%	111%	125%
R2取組状況	中小企業制度融資、創業融資にかかる信用保証料について、保証料の1/2を補助しました。 コロナウイルス感染症対策として、コロナ関連の融資に対して、保証料を全額補助する制度を新設し、中小企業の資金繰りについて緊急支援を実施しました（補助実績：52件、70,821千円）。 また、中小企業信用保険法に規定する認定を行いました。（SN5号：65件、SN4号：311件、危機関連：282件）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	125%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
令和元年度に制度改正をし一定の成果を得た。 コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中小企業の運転資金などの融資に対し、融資保証料全額補助を緊急的に実施し、中小企業の急激な経営状況悪化に対する支援を行った。				コロナウイルス感染症による企業の業績落ち込みを融資により支援する。終息後に企業活動が正常化するまでの対策が必要 サービス業、小売業等については、消費喚起等による経済対策を合わせて実施することが必要と考える。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									
平成29年度の融資実績からH30年度当初予算要求額を試算するため減額しました。 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します。 平成30年度の融資実績からR元年度当初予算要求額を試算しました。 令和元年度の融資実績から令和2年度の当初予算要求を試算しました。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課、開発推進課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	(新産業団地関係) ・1－2工区の造成工事 ・工事監理 ・1－1・2・4工区の事業協力者の公募、決定及び協定締結 ・ " 優先交渉進出事業者の公募及び決定 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用 ・令和2年度末を目標として産業施設が集積している「鶺野飛行場跡地東部産業拠点地区」、既存事業所を拡張する「加西工業団地」、「加西東産業団地」の区域区分の変更（市街化区域の編入）							
	経費（千円）	871,007							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内総生産（名目）【2-39、4-68】		目標		1,931	1,940	1,950	1,960	1,980	1,980
		実績	1,816	1,770	1,922	2,117	2,182	2121	未発表
(指標及びR2目標値の設定理由) H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定		目標数値の達成度	単年度	92%	99%	109%	111%	107%	
			最終年度	89%	97%	107%	110%	107%	
R2取組状況	(産業団地関係) ・1－2工区の造成工事を完了させ、用地売買契約を締結していた進出企業へ引き渡しを行いました。 ・1－1・2・4工区の事業加速化に向け官民連携で整備を行うため、協力事業者を募集し、協定を締結しました。 ・1－1・2・4工区の進出企業を募集し、1－1工区で3社、4工区で2社を優先交渉進出事業者として決定しました。 ・1－1工区の一部の用地取得を行いました。 (市内企業の拡張の支援) ・鶺野飛行場跡地東部産業拠点地区、加西工業団地及び加西東産業団地の区域区分の変更（市街化区域編入）の手続きを進め、令和3年3月31日付けで合計約39.4haを工業地域として区域区分変更を決定しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	未発表		B：目標を達成					

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
（新産業団地関係） ・全体48.8haのうち、第1期事業として加西インター北側35.7haに4つの工区で整備を進めており、そのうち1-2工区は令和3年3月に造成工事を完了し、進出企業に用地を引き渡しました。 残る1-1・2・4工区については、事業の加速化を図るため、官民連携で事業を行う事業協力者と協定を締結するとともに、優先交渉進出事業者を決定しました。 （市内企業の拡張の支援） ・市街化調整区域である「東高室地区」外7地区において、地区計画を定め、地域の実情に沿った規制緩和を実現させることができました。 ・市街化区域である「中野・下宮木地区」、「横尾南部地区」において、用途地域の変更を行い、商業施設の進出内定が実現しました。 ・平成28年度より、地元の合意形成及び関係機関との協議を開始しました。 ・平成30年度に設計に着手し、農振法・都市計画法等の法令手続きを経て、令和元年度より用地取得・優先交渉事業者と用地売買契約を行い、造成工事着手と第1期事業分のスタートをきることができました。				（新産業団地関係） ・残りの第1期事業については、事業協力者と連携を図り、土地所有者の合意形成、地元企業も含めた企業誘致活動を展開することにより事業の早期完了を目指します。 また、続く第2期事業については、早期に第1期事業の目途をつけて、土地利用の規制緩和を図るための関係機関協議や法手続きに取り組みます。 （市内企業の拡張の支援） ・既に産業施設が立地し宅地化が進んでいる地区や、具体的な事業実施を計画している区域について、市街化区域への編入を検討します。 ・特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った都市計画制度を選択し、市内企業の拡張等の規制緩和を推進します。 ・残りの第1期事業対象地内の土地所有者の合意形成を図るとともに、引き続き企業誘致活動を行うことにより、第1期事業の早期完了を目指します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑰	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	９ 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	８ 宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	宿泊施設誘致に係る調査研究							
	経費（千円）	０							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ホテル設置数	目標		—	—	１	１	１	１	
	実績	—	—	—	０	１	１	１	
（指標及びR2目標値の設定理由） 宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。１カ所を目標に設定。		目標数値の達成度	単年度	—	—	0%	100%	100%	
			最終年度	—	—	0%	100%	100%	100%
R2取組状況	さらなる地域活性化のため、魅力的な商業施設も含めた宿泊施設の誘致に関する調査研究を行った。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市が誘致したビジネスホテル「ルートイン加西 北条の宿」がH30年12月オープン以来、宿泊稼働率８０％を超えており、ほぼ満室状態で大変好調である。				ビジネス目的、観光目的の来訪者が増加し、さらなる街の賑わいの創出が図られると考えている。これを機会として、地域経済の循環と持続性を高めるため、商業における事業環境の整備や地域課題の解決に向けたさらなる取り組みの支援を図る。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑮	具体的な取組	ウ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★卸売業・小売業年間販売額（億円）【3-56】		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	707	737	756	774
（指標及びR2目標値の設定理由） 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	98%	100%	101%	
			最終年度	89%	94%	94%	98%	101%	103%
R2取組状況	事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。 中野地区の開発造成に伴い、複合商業施設が令和2年度春にオープンしました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	S：予定より早く進行	103%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
都市計画課との連携により中野町への商業施設誘致に成功。 引き続き西高室地区への商業施設誘致を進めていく。				複合商業施設の整備に伴い、近隣の住宅用地の供給が促進されるよう取り組む。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	6	施策	⑬	具体的な取組	ウ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in							
	経費（千円）	1,800							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①若者の加西市残存定住率	目標			73	75	76	77	80	80
	実績		73	74	74	75	78	78	79
（指標及びR2目標値の設定理由） 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	101%	99%	99%	101%	98%	
		最終年度	93%	93%	94%	98%	98%	99%	
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員 市内居住率（%）【2-37】	目標			42	43	44	46	50	50
	実績		—	41	42	42	38	37	44
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。 年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%	74%	
		最終年度	82%	84%	84%	76%	74%	88%	
R2取組状況	加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載するとともに、合同就職面接会を開催しました。3月にはコロナウイルス感染症対策のためオンラインによる合同就職説明会を実施しました。インターンシップ事業は、コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	99%	B：目標を達成					
②	②実行中	B：予定より遅延	88%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
商工会議所と連携して、大学訪問を定期的実施し、令和元年度は、鳥取大学と連携して、インターンシップ雇用促進モデル事業を実施し、UJIターンの促進に取り組んだ。 また、高校生向けに職業講和を実施し、職業意識を醸成するとともに、地元企業の認知度の向上を図った。				雇用環境や若年者の生活様式や人生観の変化により就職活動の形態も変化している。ウィズコロナの時代に向けて、WEBサイトやICTを活用した採用活動を支援していく必要がある。リモート面接などの実施に伴う機材や技術の支援を行うなど、時代に合った就業支援を進めていかなければならない。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	6	施策	⑱	具体的な取組	イ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 ・地域若者サポートステーション事業							
	経費（千円）	11,876							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ふるさとハローワークにおける就職者数		目標		568	620	640	660	680	700
		実績	—	600	506	565	479	463	361
（指標及びR2目標値の設定理由） ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	82%	88%	73%	68%	
			最終年度	86%	72%	81%	68%	66%	52%
R2取組状況	兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組みました。 小学生の親子を対象にした夏休み産業観光ツアーはコロナウイルス感染症拡大の影響を受けて中止しました。 ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。 利用者との就職件数の増加を目指して、就職支援セミナーを月1回開催しました。（緊急事態宣言中等は実施できず、令和2年度は計9回開催）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	52%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
ふるさとハローワーク業務の拡充を図った。 若者サポートステーション事業を拡充し、就職氷河期世代への対応を含めた支援を行い、より広範囲に支援できる体制を整えた。 加西商工会議所と連携事業を進めることができた。				都市部から地方への流れをつかむ施策に取り組む。 UJIターンの流れをつかみ、若年者の地方回帰を進めていく。 遠方に在住の加西市出身の学生や若者が加西市内の就職情報を得る手段を拡充し、就業機会を増やすための情報発信を検討する。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑱	具体的な取組	ア
備考									
会計年度任用職員への移行に伴う人件費の増のため 地域若者サポートステーション事業の拡充による増額のため									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	１０ 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ 若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・新規採用等雇用現況調査 ・各産業（工業）団地連絡協議会への参加 ・商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討							
	経費（千円）	34							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市内企業における住民就労率（％）	目標			35	36	37	38	39	40
	実績		30	36	37	39	30	30	44
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1％の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	103%	103%	105%	79%	77%	
		最終年度		90%	93%	98%	75%	75%	110%
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員 市内居住率（％）【2-34】	目標			42	43	44	46	50	50
	実績		－	41	42	42	38	37	44
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2％の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%	83%	74%	
		最終年度		82%	84%	84%	76%	74%	88%
R2取組状況	産業（工業）団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行いました。また、県土地開発公社や商工会議所、各産業（工業）団地連絡協議会と連携を図りました。市内雇用を高めるため、各産業（工業）団地や市内企業に対して積極的に住民採用を働きかけました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	S：予定より早く進行	110%	B：目標を達成					
②	②実行中	B：予定より遅延	88%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
アンケート調査を実施し、若年就労者へ市内事業所への就労意欲の増進に努めた。				事業所のICT化はもとより若年就業者へアピールできるIT関連事業所の誘致を進める必要がある。また、情報環境の整備を行い、リモートワークや在宅ワークに対応した仕事環境づくりを促進する。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑱	具体的な取組	イ
備考									
郵便料金改定による増のため									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	10 加西に住んで働ける就労支援									
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	4 ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。									
主管部課	部名	地域振興部				課名	産業振興課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者の活用 ・子育てママ就職支援補助制度								
	経費（千円）	240								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★就職支援助成年間件数【2-38】		目標		1	2	4	6	10	10	
		実績	－	1	0	0	0	0	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%	0%	0%		
			最終年度	10%	0%	0%	0%	0%	0%	
R2取組状況		兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。 求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、テレワークや面接対策に関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。 出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%	D：目標を大きく下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
就職支援セミナーの定期開催や子育て女性向けセミナーの開催、雇用対策協定運営協議会等の取組について、計画通り進めることができた。					女性就業に向けたニーズが取り込めておらず、雇用不足を補うための女性の社会進出に向けた取り組みが不足している。 子育てママ就職支援補助制度については、使いやすい制度にするなど制度の見直しが必要と考える。 国全体にもそうであるが庁内にも推進役が必要と考える。（女性地位の向上全般について）					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	12	施策	④	具体的な取組	イ
備考										
就職支援セミナー講師料および子育てママ就職支援事業の減額のため										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★市内企業への高校生の就職を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】		目標		71	75	80	85	100	100
		実績	-	-	72	70	91	73	68
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、 年間5名の増加を目標設定。		目標数値 の達成度	単年度	-	96%	88%	107%	73%	
			最終年度	-	72%	70%	91%	73%	68%
R2取組状況	高校と協議の上、コロナウイルス感染症対策のため、職業講話を中止しました。 高校を訪問し、加西市企業ガイドブックFIT INの配布のみ行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	68%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市内高校生への職業講話を初めて実施し、職業意識の醸成を図るとともに、地元企業の紹介と魅力の発信を行った。				就職支援は市の魅力そのものによるところが大きい。 市の魅力発信を継続的に進めるべき。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑱	具体的な取組	イ
備考									
雇用対策協定に伴う事業追加									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★働く女性の雇用を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討							
	経費（千円）	240							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★市内事業所女性従業員正社員率（％）【2-33】		目標		43	43	45	47	50	50
		実績	－	41	46	46	45	46	47
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2％の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	107%	102%	96%	92%	
			最終年度	82%	92%	92%	90%	92%	94%
R2取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。 求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、テレワークや面接対策に関するセミナー等の女性を対象としたセミナーを2回開催しました。 出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	94%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
就職支援セミナーの定期開催や子育て女性向けセミナーの開催、雇用対策協定運営協議会等の取組について、計画通り進めることができた。 補助制度については拡充が必要です。				女性就業に向けたニーズが取り込めていない。 国全体の取り組みとして、企業に働きかけることが必要 雇用不足を補うための女性の社会進出に向けた取り組みは不足している。 子育てママ就職支援補助制度については、使いやすい制度にするなど制度の見直しが必要と考える。 国全体にもそうであるが庁内にも推進役が必要と考える。（女性地位の向上全般について）					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	④	具体的な取組	イ
備考									
就職支援セミナー講師料および子育てママ就職支援事業の減額のため									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	１０ 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	７ ★返還している奨学金への助成により、ＵＪＩターンによる定住を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・Ｕターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の１／３を補助							
	経費（千円）	10,290							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ＵＪＩターン者数【2-36】		目標		123	170	228	288	350	410
		実績	－	123	158	198	231	185	185
（指標及びR2目標値の設定理由） 「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	87%	80%	53%	
			最終年度	30%	39%	48%	56%	45%	45%
R2取組状況	U J I ターン者は、185名となり目標に到達することはできませんでしたが、今後は、申請方法のオンライン化等を検討することで、申請方法を更に手軽で便利にするとともに、本制度も含め、加西市自体を更に市街・県外にPRすることで、人口の増加に繋げていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	B：予定より遅延	45%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西市では子育て支援等、他の若者支援施策の充実が図られていることや、近年の加西市の財政状況等を踏まえ、令和元年度より所得制限を設けました。 所得制限を設けることにより、所得の低い若者世代に対してより長く支援できる制度となりました。				毎年50人程度の新規申請者が増えており、加西市のUJIターン者への支援策として一定の効果がみられるため、今後も継続して実施します。また、市内出身者だけでなく、市外や県外の方に向けた情報発信を強化し、新規申請者を増やすための取り組みも検討する必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	⑳	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	10 加西に住んで働ける就労支援									
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	8 ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課、文化・観光・スポーツ課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・①若者チャレンジ事業 314千円 ・②街角コンサート事業 120千円								
	経費（千円）	434								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】		目標		5	5	5	5	5	5	
		実績	－	5	5	7	2	1	4	
(指標及びR2目標値の設定理由) 若者事業予算に即して5とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	140%	40%	20%		
			最終年度	100%	100%	140%	40%	20%	80%	
②コンサート等の入場者数		目標		－	500	900	1,110	1,110	1,110	
		実績	－	－	508	692	730	500	2170	
(指標及びR2目標値の設定理由) はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出のため、はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数を3年間で1000人増を目指す。		目標数値 の達成度	単年度	－	102%	77%	66%	45%		
			最終年度	－	46%	62%	66%	45%	195%	
R2取組状況		①若者チャレンジ事業助成金について、ホームページに周知しました。 ②コロナ禍の影響により開催回数が制限される中、感染症対策を実施したうえで、アスティアかさいに加えて、市庁舎でもコンサートを開催しました。また、12月のハッピーバレークリスマスイベントにゲスト出演という形で、播磨ゆかりの若手メンバー6人による生演奏を披露し、市民等に芸術文化に触れる機会を提供しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	80%	B：目標を達成						
②	②実行中	S：予定より早く進行	195%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
①若者チャレンジ助成金により、これまで20団体による地域活動が行われています。若者自らが地域の課題解決に取り組むことにより、地域活性化が図られるとともに、今後の当市を引っ張っていくリーダーの育成にも繋がっていると考えています。 ②播磨縁の若手音楽家に観客と触れ合える演奏の場を提供すると同時に、市民にも気軽に生の音楽を聴くことができ、双方にとって貴重な経験の場となっている。					①今後も助成をすることにより若者がチャレンジでき、地域活性化が図られているので、支援件数を増やしていけるような機会でも広報し、今後も継続していきます。 ②出演者の意欲向上にも貢献できるよう、新たな来場者勧誘に向けて、様々な媒体での周知に努める。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	7	施策	②①	具体的な取組	ウ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策	
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり
施策	10 加西に住んで働ける就労支援
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。
若手音楽家によるコンサートの開催については、文化観光スポーツ課で芸術の振興を支援する。 R2取組内容追加、経費修正	

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	１０ 加西に住んで働ける就労支援									
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	９ ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・若者起業調査助成事業								
	経費（千円）	０								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★若者起業支援年間件数【2-42】 (指標及びR2目標値の設定理由) 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。		目標		4	5	5	5	5	5	
		実績	－	4	1	1	1	0	0	
		目標数値の達成度	単年度	100%	20%	20%	20%	0%		
		最終年度	80%	20%	20%	20%	0%	0%		
R2取組状況	若者企業調査助成金について、ホームページで周知しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
若者起業調査助成金を活用し、市場調査を行うことにより、起業に結びついている。若者の起業を促進することで、市内の経済の活性化及び雇用の確保につながっています。					産業振興課で創業支援を行っており、起業前から起業にあたる窓口をひとつにする必要があると考えます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	6	施策	⑰	具体的な取組	イ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★創業希望者に対する支援体制を構築します。								
主管部課	部名	地域振興部	課名	産業振興課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ワンストップ相談窓口 ・かさい創業塾 ・創業支援相談窓口 ・創業支援施策の調査研究 ・産業活性化センター事業							
	経費（千円）	4,099							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★年間創業者数【2-45】		目標		3	5	5	7	7	7
		実績	－	5	5	6	12	7	13
（指標及びR2目標値の設定理由） 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名（倍増）の創業を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	167%	100%	120%	171%	100%	
			最終年度	71%	71%	86%	171%	100%	186%
R2取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口（産業振興課）、かさい創業塾（加西商工会議所）、創業支援相談窓口（加西商工会議所）等の創業希望者に対する支援を実施した。 令和2年10月に起業・創業スタートアップ支援事業補助制度を創設し、創業希望者の掘り起こし、スタートアップ支援に積極的に取り組んでいる。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	186%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
産業振興課が窓口となってワンストップで支援を行っている。また、商工会議所と連携し、互いに情報共有できている。かさい創業塾や専門的な個別相談を行うなどし、継続的な支援をしている。				需要をつかみきれない。専門性が必要であり知識が不足している。 空き店舗活用による創業支援があるが、空き店舗でない場合は補助対象とされない。空き家活用や在宅、リモートワークによる開業創業も視野に入れ、有効な支援策を再度検討する必要がある。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	6	施策	⑰	具体的な取組	ア
備考									
令和２年度当初予算において、ワンストップ相談窓口の専門相談員の報償費を要求したため増額しました。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・文化財等看板設置							
	経費（千円）	217							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
文化財の新規指定・登録件数		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	5	8	17	17	28	33	35
（指標及びR2目標値の設定理由） H32までに３倍増の累計15件を指定する。		目標数値 の達成度	単年度	80%	155%	142%	215%	236%	
			最終年度	53%	113%	113%	187%	220%	233%
R2取組状況	市指定文化財として1物件を新指定しました。 県指定文化財として1件が指定されました。 文化財説明看板3基を新設し、1基を修繕しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	233%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
継続的に市指定文化財を増やし、重要な文化財は県指定に格上げされました。併せて、新指定物件等には適宜説明看板を設置するなど、目に見える形で「地域の宝」を周知しました。 また、地域の保存活動が認められ、青野原俘虜収容所将校用風呂棟が兵庫県初の近代戦争遺産として県登録文化財に登録されました。				令和元年度に作成した「加西市文化財保存活用地域計画」（令和２年度文化庁認定予定）に基づき、令和３年度より包括的な文化財保存と活用、継承支援を進めています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	⑱	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・「文化財保存活用地域計画」の国認定申請 ・歴史文化遺産の調査							
	経費（千円）	7							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★歴史文化遺産の調査	目標			0	10	15	18	20	20
	実績	－	－	27	32	34	36	44	
（指標及びR2目標値の設定理由） 歴史文化遺産20件の調査を実施する		目標数値 の達成度	単年度	-	270%	213%	189%	180%	
			最終年度	-	135%	160%	170%	180%	220%
R2取組状況	令和元年度に作成した「加西市文化財保存活用地域計画」の国への認定し申請を行い12月に認定を受けました。 歴史文化遺産を活かしたまちづくり活動への補助制度を制定しました（令和3年度から実施） 文書調査6件、近代戦争遺産の調査、行政文書の整理調査を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	220%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成29年度に「加西市歴史文化基本構想」の策定、令和元年度に「加西市文化財保存活用地域計画」の作成と協議会の設置、令和2年度には法定計画に向けた国への認定申請と、歴史文化遺産を活かしたまちづくりの枠組みが出来上がっています。				計画開始年度となる令和3年度から、地域計画に基づき事業を実施していきますが、行政・市民・団体の三者がいかに協働して進めていけるかが課題です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	⑱	具体的な取組	ア
備考									
平成30年度の文化財保護法の改正に伴い、平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」を、文化庁の推奨に従い「文化財保存活用地域計画」へグレードアップします。R2年度に国に計画の認定申請を行います。計画が認定を受けることで、文化庁国庫補助金等の優遇を受けることができます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	１１ 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ハイキングなどの企画・開催（加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催） ・SNSで加西の旬な情報を発信 ・鵜野飛行場跡周辺の情報発信 ・宿泊に導く観光コンテンツの開発 ・市内での宿泊や飲食を伴うバスツアーへの助成							
	経費（千円）	5,881							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数	目標			2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000
	実績		1,450	1,990	2,146	2,008	2,666	1529	5,610
（指標及びR2目標値の設定理由） H32の参加者数を1000人増の3000人を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	84%	103%	55%	
		最終年度	66%	72%	67%	89%	51%	187%	
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】	目標		736	1,100	1,200	1,800 (1,300)	1,900 (1,400)	2,000 (1,500)	
	実績	－	1,011	1,434	1,588	1,761	1,969	3,884	
（指標及びR2目標値の設定理由） H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	137%	130%	132%	98%	104%	
		最終年度	51%	72%	79%	88%	98%	194%	
R2取組状況	従来からの取組に加え、新たに鵜野飛行場跡防空壕シアター、修学旅行等の平和学習においてボランティアガイドが多くの観光客を案内しました。 宿泊を伴う観光客誘致に向け大手旅行会社との共同研究により旅行業関係者向けモニターツアーや大都市圏の旅行事業者への営業活動を行いました。 Facebookは観光関係 6 アカウントでの発信を積極的に行い、フォローを増やすことができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	S：予定より早く進行	187%	S：目標を大きく上回って達成					
②	②実行中	S：予定より早く進行	194%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
SNSを使った加西ファンの獲得に成功しました。 ハイキングやバスツアーを実施することで加西のいいところに触れてもらえる機会をつくりました。 鵜野飛行場跡を観光拠点としていく基礎を作り始めました。				宿泊を伴うツアーを実施します。 加西での飲食を伴うツアーを構築します。 鵜野飛行場跡の情報発信を行い、見学旅行の誘致を行います。 利用しやすい助成制度を構築します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	11	施策	㊴	具体的な取組	ウ
備考									
R2取組内容追加、経費修正									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	１１ 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	４ 特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・市内で宿泊、飲食するバスツアーへの助成 ・市民が企画する鶉野飛行場跡地を活用したツアーの実施 ・戦争遺跡を活用したアートを観覧するツアーの実施 ・鶉野飛行場跡や加西の自然を活かしたイベントへの助成							
	経費（千円）	4,985							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西喝采ブランド品数		目標		30	30	30	35	35	35
		実績	－	30	30	30	30	30	32
（指標及びR2目標値の設定理由） 加西喝采みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	86%	86%	
			最終年度	86%	86%	86%	86%	86%	91%
R2取組状況	市内の宿泊施設や飲食店を利用するバスツアーへの補助を拡充しました。 鶉野遺産ツーリズム協議会の委員が企画する戦跡巡りツアーは北条高校生にもガイドとして参画してもらいました。 若手アーティストによる機銃座跡や爆弾庫跡を活用したアートイベントを行いました。 ハッピーバレンタインと連携したイベントに助成し相乗効果を生み出しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	91%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西喝采みやげのPRしました。 鶉野飛行場跡地のPRしました。 鶉野飛行場跡地を使ったイベントを開催しました。 市民団体が鶉野飛行場跡地を活用したイベントへの補助金を交付し、活性化を図りました。				周遊・滞在ができる観光地への進化を継続してすすめます。 鶉野飛行場跡とフラワーセンターを活かした観光事業を構築します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	①9	具体的な取組	イ
備考									
R2経費修正（R1から鶉野飛行場跡地周辺の観光活用を推進していく） 鶉野飛行場跡でのイベント等への助成金事業									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催 ・プログラム主催者セミナー開催							
	経費（千円）	2,000							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】		目標		400	850	900	950	1,000	1,050
★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】		実績	—	843	836	466	931	565	714
（指標及びR2目標値の設定理由） H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	211%	98%	52%	98%	57%	
			最終年度	80%	80%	44%	89%	54%	68%
R2取組状況	かさいまちあそび2021は、47の体験型プログラムを実施しました。コロナ禍で開催を取りやめるプログラム主催者もいましたが、多くは感染防止対策を行いながら実施しました。 主催者向けのセミナーでは、オンラインを活用した内容やコミュニケーションセミナーなど5つを実施し、市民間の交流や主催者のスキルアップにつながりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	68%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
1月に集中して、かさいまちあそびを実施しました。 かさいまちあそびが、浸透し、開催を楽しみにする人がいました。また、主催者（マチアソビニスト）に対して、まちあそび大学を開講しスキルアップを目指しました。				通年開催します。 加西らしさを出し、さらなる観光展開を図ります。 プログラムを事業化、継続化させます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	①9	具体的な取組	イ
備考									
R2取組内容変更・経費修正（参加者を増やすために、定期イベント外のみあそびを実施とプログラム主催者のレベル向上セミナー開催）									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	11 加西らしい観光サービス									
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	6 ★観光拠点のネットワーク化を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・観光拠点10カ所のWi-Fi施設の運営								
	経費（千円）	66								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】		目標		1	1	4	6	10	10	
		実績	－	1	10	10	10	10	10	
（指標及びR2目標値の設定理由） 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所を増やします。		目標数値 の達成度	単年度	100%	1000%	250%	167%	100%		
			最終年度	10%	100%	100%	100%	100%	100%	
R2取組状況	設置したWi-Fi施設の維持管理を行いました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
兵庫県の補助金を活用して、市内観光地を中心に10カ所のWi-Fi施設を整備しました。 来場者がWi-Fiを使える環境を提供することができました。					Wi-Fiを利用したデータの活用し、観光客の動向の把握をします。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	7	施策	⑭	具体的な 取組	イ
備考										
R2経費修正										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	３ 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり									
施策	１１ 加西らしい観光サービス									
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	７ ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・構想策定								
	経費（千円）	０								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】		目標		—	—	—	—	1	1	
		実績	—	—	—	—	—	0	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめが第１段階の目標となる。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%		
			最終年度	—	—	—	—	0%	0%	
R2取組状況	未来型児童館建設にかかる庁内ワーキンググループが形成され、その中で美術館や歴史資料館についても検討を行う。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	①未着手	B：予定より遅延	0%	D：目標を大きく下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
財政上の問題、ハード整備の優先順位などの問題から根日女の森構想の実現は厳しいという判断をしています。					全国的には、菓子会社等の森整備の例もあることから、展開による可能性を探るとともに、未来型児童館の建設と併せて検討していく必要があると考えます。					
今後の方針					対応箇所					
④廃止					政策		施策		具体的な取組	
備考										
・事業を再検討します。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１２ 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・遊休市街地の積極的売却							
	経費（千円）	8,075							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数		目標		－	－	－	1	1	3
		実績	0	－	－	1	1	3	2
（指標及びR2目標値の設定理由） 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。 （累計）		目標数値 の達成度	単年度	－	－	－	100%	300%	
			最終年度	－	－	33%	33%	100%	67%
R2取組状況	遊休地として管理してきた朝妻町・鶯野町普通財産は、売却が完了となりました。 一般競争入札で応募者がなかった市有財産（普通財産）については、先着順の随時募集で公募を進めています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	67%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
H29年度 旧消防署跡地売却完了 R1年度 国正町・常吉町普通財産売却完了 R1年度 旧北条西保育所跡地等入札を執行するが、応募者がなかったため 先着順の随時募集に切り替え継続公売				市有財産（普通財産）の適正な管理を行うため、不要な財産については測量等を実施の上、公売等により売却方法を検討します。もしくは、有効活用を検討し不要と判断されるものについても解体・公売等に処分します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊟	具体的な取組	ア
備考									
（R1売却実績：国正・常吉普通財産 2件） 旧北条西保育所跡地については、R1一般競争入札の応募者がなかったため、先着順の随時募集に切り替え継続して公売を進めます。 北条東南医師住宅については、解体又はリホーム等を含め売却方法を再考します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・土地区画整理組合の解散、清算により事業完了							
	経費（千円）	2,513							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】		目標		－	－	30	40	50	50
		実績	0	－	－	42	50	70	76
（指標及びR2目標値の設定理由） 保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定（目標値は延べ件数）		目標数値の達成度	単年度	－	－	140%	125%	140%	
			最終年度	－	－	84%	100%	140%	152%
R2取組状況	保留地がすべて完売し、西高室土地区画整理組合の解散認可申請及び清算業務を行いました。 換地された土地の利用が促進され、新しい住宅の建築が増えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	S：予定より早く進行		152%		A：目標を上回って達成			
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成24年度末の組合設立以来、仮換地指定、造成工事を行い、R1.7に換地処分の公告が行われ、土地の権利が確定しました。 その後事業成功のカギである保留地の販売も完了し、保留地及び換地処分後の土地の住宅化が進んでいます。				・保留地の住宅化がほぼ完了したが、今後は、換地された土地における住宅化のさらなる促進が課題となっています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊾	具体的な取組	ア
備考									
事業の安全性を確保するため、H30年度に施行予定であった「3号公園 遊具・トイレ整備」は、地元協議により遊具整備のみを実施した。 R元年度は換地処分、保留地の所有権移転登記手続等を終え、西高室土地区画整理組合の解散認可に向けた清算事務を行っている。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地区及び制度のP R ・歴史的景観形成建築物修景助成のP R							
	経費(千円)	0							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①景観形成に関する条例届出年間受付件数	目標			20	20	20	20	20	20
	実績		—	16	5	4	14	4	5
(指標及びR2目標値の設定理由) 区域内での建築確認申請見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度		80%	25%	20%	70%	20%	
	最終年度		80%	25%	20%	70%	20%	25%	
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	目標			1	1	1	1	1	1
	実績		—	1	1	1	0	2	0
(指標及びR2目標値の設定理由) リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定	目標数値の達成度	単年度		100%	100%	100%	0%	200%	
	最終年度		100%	100%	100%	0%	200%	0%	
R2取組状況	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のP Rや県景観条例に基づく指導を行いました。 ・実績数値は建築件数に比例することから、建築数が少なかったため目標未達になりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	25%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	B：予定より遅延	0%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のP Rや県景観条例に基づく指導を行いました。				・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のP Rを行うなど、北条旧市街地の景観保全に努めます。 ・景観形成支援事業の修景助成について、助成の可否を決定する兵庫県まちづくり技術センターの審査基準が非常に厳しく、重要助成はおろか中間助成、一般助成ですらなかなか認められない。また、修景のための工事には多額の申請者負担が必要となるため、修景を断念されるケースもしばしば見られる。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊴	具体的な取組	オ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部、ふるさと創造部			課名	産業振興課、人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク							
	経費（千円）	7,954							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①市街化区域内の商業店舗立地件数		目標		250	250	250	250	250	250
		実績	244	211	211	218	218	218	218
（指標及びR2目標値の設定理由） 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	84%	84%	87%	87%	87%	
			最終年度	84%	84%	87%	87%	87%	87%
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】		目標		0	1	2	3	5	5
		実績	－	0	0	0	0	0	0
（指標及びR2目標値の設定理由） 市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。		目標数値の達成度	単年度	0%	0%	0%	0%	0%	
			最終年度	0%	0%	0%	0%	0%	0%
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】		目標		－	1	2	3	5	5
		実績	－	－	1	1	2	3	3
（指標及びR2目標値の設定理由） 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	100%	50%	67%	60%	
			最終年度	-	20%	20%	40%	60%	60%
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】		目標		4	3	6	9	15	15
		実績	－	4	2	4	7	14	17
（指標及びR2目標値の設定理由） 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	67%	78%	93%	
			最終年度	27%	13%	27%	47%	93%	113%
R2取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口（産業振興課）、かさい創業塾（加西商工会議所）、創業支援相談窓口（加西商工会議所）等の創業希望者に対する支援を実施した。 令和2年10月に起業・創業スタートアップ支援事業補助制度を創設し、創業希望者の掘り起こし、スタートアップ支援に積極的に取り組んでいる。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	87%	B：目標を達成					
②	②実行中	B：予定より遅延	0%						
③	②実行中	B：予定より遅延	60%						
④	②実行中	S：予定より早く進行	113%						

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策								
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり							
施策	12 魅力ある中心市街地の形成							
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。							
次期総合計画策定に向けた総括								
現行計画の実施内容と成果			残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
商業施設誘致は出来ているが、権利調整に時間を要しているため、計画通りには進んでいない。			誘致するには専門性と計画性が必要であり、交渉に時間を要するため、計画通りに進めることが出来ないのが実態である。					
今後の方針			対応箇所					
②継続			政策	6	施策	⑰	具体的な 取組	ア
備考								
平成30年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。								
平成31年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。								
令和2年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。								

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１２ 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・固定資産税納付者への空き家バンク制度のＰＲを実施 ・空き家バンクＨＰの保守							
	経費（千円）	132							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
空き家バンクの年間登録数【4-77】		目標		2	5	5	5	5	5
		実績	3	2	6	12	9	13	21
（指標及びR2目標値の設定理由） 空き家バンクへの年間登録物件数について、約倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	120%	240%	180%	260%	
			最終年度	40%	120%	240%	180%	260%	420%
R2取組状況	令和2年度は、空き家の片付け費用補助制度の新設や、建物アンケートを通じて空き家所有者に空き家バンク制度の周知を行い、空き家バンクの物件登録数を大きく増やすことができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	420%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るＰＲチラシを同封したり、空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行い、丁寧に対応していった結果として、目標値よりも多くの物件を空き家バンクに登録することができました。 また、その結果として、加西市への移住・定住につなげることにできました。				加西市への移住・定住を進めるうえで、今後も空き家バンクにより多くの物件を登録していく必要があります。 今後も「えーがい加西」や市内土地建物取引業者と協力して、より多くの物件を空き家バンクに登録していくことで、より多くの移住・定住につなげていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	㊴	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	12 魅力ある中心市街地の形成									
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	6 ★新たな土地区画整理事業等を推進します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・地区計画道路6号線工事補助								
	経費（千円）	29,300								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】		目標		-	-	-	-	70	70	
		実績	-	-	-	-	-	0	1	
（指標及びR2目標値の設定理由） 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	0%		
			最終年度	-	-	-	-	0%	1%	
R2取組状況	・住居系地域から工業地域へ用途変更を行った「中野・下宮木地区」において、市街化区域にふさわしい利便性の高い魅力あふれるまちづくりを目指し、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働して食品スーパーの誘致を進めた結果、ドラッグストアも含めた複合商業施設として令和3年3月12日に開店しました。 ・第二目標である住宅分譲地の誘致に向け、基本インフラとなる地区計画道路4号線の設計を開始しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	1%	S：目標を大きく上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・「中野・下宮木地区」について、第5次総合計画（後期計画）の策定後にまちづくりの方針を住宅団地から市街化区域にふさわしい住・商・工がバランスよく立地する活気あふれるまちづくりを目標に変更しました。用途地域を住居系地域から工業地域へ都市計画変更し、地元まちづくり協議会・市・事業者が協働し、まず、第一目標である商業施設の進出を実現させることができました。					・次期計画より、中野地区の土地利用の推進を施策として、中野地区の市街化区域において、地域と協働し、商業施設・事業所・住宅地がバランスよく立地する良好なまちづくりを推進します。 ・指標の「新たな土地区画整理事業等の推進等により確保した住宅戸数の目標値70戸」について、地元まちづくり協議会が作成したまちづくり構想に基づき、「20戸」に修正し、次期計画での達成を目指します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	9	施策	②5	具体的な取組	ア
備考										
(H30) アンケートの結果を踏まえ、土地利用の有効促進を図るため、用途地域・地区計画の見直しを行います。 (R元) 地区内公共施設の整備に向けた、地区計画道路用地取得補助、測量・設計補助を実施します。 中野・下宮木地区は、まちづくり構想に基づき、都市計画（用途地域、地区計画）の変更を行いました。住・商・工がバランスよく配置された活気溢れる良好なまちづくりを目指します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	12 魅力ある中心市街地の形成									
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	7 ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8 ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	※事業終了								
	経費（千円）	※事業終了								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積（㎡）【1-27】		目標		10,000	13,000	15,000	—	—	—	
		実績	—	10,028	15,803	22,700	—	—	—	
（指標及びR2目標値の設定理由） 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	151%	—	—		
			最終年度	67%	105%	151%	—	—	151%	
R2取組状況	平成29年度の受付をもって制度が終了しましたが、目標数値を大幅に上回って達成していることから、市街化区域における土地の活用を図ることができました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	S：予定より早く進行	151%	A：目標を上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成29年度の受付をもって制度が終了しましたが、目標数値を大幅に上回って達成していることから、市街化区域における土地の活用を図ることができました。					—					
今後の方針					対応箇所					
④廃止					政策		施策		具体的な取組	
備考										
宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付け終了となります。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間（単身用については10年間）補助							
	経費（千円）	9,697							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】		目標		110	200	300	300	300	300
		実績	—	106	216	294	294	294	294
（指標及びR2目標値の設定理由） 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	96%	108%	98%	—	—	
			最終年度	35%	72%	98%	98%	98%	98%
R2取組状況	制度の実施により当初目標としていた賃貸戸数をおおむね確保することが出来ました。不動産事業者へのヒアリングにおいても市内の賃貸戸数の供給は一定充足しており、平成29年度をもって新規申請の受付を終了としました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	B：予定より遅延	98%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
制度の実施により当初目標としていた賃貸戸数をおおむね確保することが出来ました。不動産事業者へのヒアリングにおいても市内の賃貸戸数の供給は一定充足しており、平成29年度をもって新規申請の受付を終了としました。				インター周辺産業団地の整備等、今後の社会情勢を見極めながら、場合によっては補助制度の再開も含めた対応を考える必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
④廃止				政策		施策		具体的な取組	
備考									
賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請は平成29年度までとなっております。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	12 魅力ある中心市街地の形成									
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	10 ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。									
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・空き店舗改修の側面支援								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】		目標		—	—	—	1	1	1	
		実績	—	—	—	2	2	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に助成施策を決定し30年度以降1件の助成を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	200%	0%		
			最終年度	—	—	200%	200%	0%	0%	
R2取組状況	北条旧市街地の4か所のモデル拠点のメンバーを中心に構成された定期的な会議に参加し、情報提供や相談対応など継続的な支援を実施しました。 なお、令和2年度は北条旧市街地の空き家・空き店舗を利用した改修助成の実績はありませんでした。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
	区分	最終(R2)								
	②実行中	B：予定より遅延	0%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成28年度策定の北条旧市街地ビジョン及び北条旧市街地リノベーション計画に基づく4か所のモデル拠点の整備が完了し、北条旧市街地のまちの賑わいにつながることができました。					今後も側面支援を実施するとともに、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。 また、R元年度より3か年事業で、都市部住民との関わりを持つことで、「交流」から「関係」、そして将来の「移住定住」への加速を進める「加西市関係人口創出事業支援業務」を、モデル拠点のメンバーを中心に実施していきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	7	施策	②④	具体的な取組	イ
備考										
街歩きにかかる整備情報発信は、H30の北条旧市街地元気なまち再生事業で実施するため、R元以降は、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１２ 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１１ ★住環境整備による定住促進を図ります。								
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備							
	経費（千円）	2,539							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】		目標		2	9	16	23	30	30
		実績	－	9	21	26	30	32	34
（指標及びR2目標値の設定理由） 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定（目標値、実績値は延べ戸数）		目標数値の達成度	単年度	450%	233%	163%	130%	107%	
			最終年度	30%	70%	87%	100%	107%	113%
R2取組状況	・危険空き家の除去や狭あい道路の拡幅工事を行うことにより、北条市街地の安全・安心のまちづくりの推進に努めました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	113%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・北条市街地の安全・安心のまちづくりを積極的に推進するため、住環境整備対象区域の拡幅対象路線において、令和元年度までに32箇所の狭あい道路整備工事を実施しました。				・助成制度のPRを行うなど、住民への制度の周知を図り、より一層の安全・安心のまちづくりの推進に努めます。 ・住環境整備対象区域の拡幅対象路線について、重点整備路線を定め狭あい道路整備工事を進めていますが、工事に着手できる箇所は既存家屋の建て替えや危険空き家の除去時となるため、計画的に路線全体の整備を行うことが困難であるのが現状です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊟	具体的な取組	ア
備考									
(H30、R元) H29年度の実績により、経費の変更を行います。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部、地域振興部	課名	ふるさと創造課、きてみて住んで課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・お試し居住の整備に向けた調査・研究							
	経費（千円）	552							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★お試し滞在施設数【3-63】		目標		—	1	1	2	3	3
		実績	—	—	0	0	0	0	0
(指標及びR2目標値の設定理由) 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議による 立ち上げを目指す		目標数値 の達成度	単年度	—	0%	0%	0%	0%	
		最終年度	—	0%	0%	0%	0%	0%	
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】		目標		5	25	30	35	50	50
		実績	—	20	31	54	83	105	150
(指標及びR2目標値の設定理由) 移住相談会等への参加体制を整えることで年間50 件の相談を受けることを目指す		目標数値 の達成度	単年度	400%	124%	180%	237%	210%	
		最終年度	40%	62%	108%	166%	210%	300%	
③★空き家改修年間助成数【4-76】		目標		1	3	3	3	5	5
		実績	—	1	2	4	1	4	1
(指標及びR2目標値の設定理由) 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッチングの 成果を年間5件と設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	67%	133%	33%	80%	
		最終年度	20%	40%	80%	20%	80%	20%	
④★お試し滞在補助年間助成組数【3-63】		目標		—	—	—	5	5	5
		実績	—	—	—	—	2	1	4
(指標及びR2目標値の設定理由) 制度の周知を図り、移住希望者の負担軽減を図る ため、助成数を年間5組と設定		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	40%	20%	
		最終年度	—	—	—	40%	20%	80%	
R2取組状況	お試し滞在施設については、モデル地区を決め、設置に向けた検討を行いました。 コロナ禍で多くの移住相談会が中止になったが、電話、メールなどにより移住に関する相談は増加し、ZOOM等によるオンライン相談も整備しました。 空き家改修についての相談件数は多くありましたが、令和2年度の補助件数は1件でした。 空き家バンク登録者に対して、お試し滞在補助制度の案内を行いました。								

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	0%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	S：予定より早く進行	300%						
③	②実行中	B：予定より遅延	20%						
④	②実行中	B：予定より遅延	80%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
マッチング支援は、計画以上の件数となっており、丁寧な対応により、移住定住者の増加につながっています。 また、空き家の状況により、改修補助が活用されています。 お試し滞在補助についても、県外からの移住・定住希望者に活用され、そのまま移住定住につながったケースもあるため、今後も活用を進めていきます。				お試し滞在施設については、移住定住希望者の短期滞在に利用でき、ふるさと創造会議でも利用できる施設を、改修費補助等の側面支援により、まずはモデル地区に1件設置を進めていきます。 また、移住・定住マッチング支援を行いながら、空き家改修補助やお試し滞在補助についても、より多くの人に活用されるように周知を図っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	⑳	具体的な取組	ウ
備考									
・整備を31年度に変更 ・移住・定住促進のため、指標「お試し滞在補助年間助成組数」を追加しました。 ・ふるさと創造会議では自らの拠点整備を進める動きとなっています。お試し居住整備にはまだハードルが高いため先進地事例の調査研究から取り組みます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	１３ 周辺地域の定住促進									
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	２ 県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・地域コミュニティの維持を目的とする住宅分譲地開発可能性の調査 ・定住促進、住居系特別指定区域に係る加西市独自制度の策定に係る検討								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
新規居住者地区住宅戸数		目標		3	4	4	6	8	10	
		実績	0	3	4	4	4	4	5	
（指標及びR2目標値の設定理由） 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定（目標値、実績値は延べ戸数）		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	67%	50%		
			最終年度	30%	40%	40%	40%	40%	50%	
R2取組状況	・新規居住者住宅区域に居住する移住者が取り組んでいる自家生産ブドウを使用したワイン工場が建築できる区域を指定しました。 ・地域勤労者住宅区域や空き家を事務所・社宅等への用途変更を可能とする住宅系特別指定区域加西市独自基準の策定について、県と協議を始めました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	50%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・新規居住者住宅区域の見直し（区域拡大）を行いました。 ・移住促進による地域活性化を図るため、県下初となる住宅系加西独自基準となる店舗兼用住宅の建築が可能となる地域生活利便性回復型・増進型、地域住民小規模事業所などの指定を行いました。					・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。 ・宇仁地区への定住促進を図るため、地域活力維持定住促進補助制度を活用していきます。 ・宇仁小学校グランド跡地活用土地利用について、民間事業者調査・募集を引き続き行います。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	9	施策	㊟	具体的な取組	イ
備考										
(H30) 宇仁地区新規居住者に対し、新しい定住補助制度を実施します。 (R元) 宇仁小学校グランド跡地において、民間事業者調査、募集を行います。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。								
主管部課	部名	地域振興部	課名	きてみて住んで課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度							
	経費（千円）	53,027							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】	目標			35	40	40	45	50	50
	実績		7	37	76	74	103	67	87
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		106%	190%	185%	229%	134%	
		最終年度		74%	152%	148%	206%	134%	174%
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】	目標			52	60	60	65	70	70
	実績		－	57	65	49	50	49	37
（指標及びR2目標値の設定理由） 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。	目標数値の達成度	単年度		110%	108%	82%	77%	70%	
		最終年度		81%	93%	70%	71%	70%	53%
R2取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。 また、若者世帯持家補助については、申請手続きの簡略化を図りました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	S：予定より早く進行	174%	B：目標を達成					
②	②実行中	B：予定より遅延	53%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
制度の運用については、見直しを行うなど事業推進を図れました。				新婚世帯が減少傾向であり、新たに移住者を誘致する仕組みづくりを検討する。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	②⑩	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１３ 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画	４ 交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	開発推進課、都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づいた土地利用計画の実施							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】		目標		-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	1	1	1	1
（指標及びR2目標値の設定理由） 土地利用計画の策定数		目標数値 の達成度	単年度	-	-	-	100%	100%	
			最終年度	-	-	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	・加西インター地区農村地域産業導入実施計画に基づき、造成した１－２工区を進出企業に売却するとともに、１－１・２・４工区の進出希望事業者を募集し、優先交渉事業者を決定しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成29年度に加西インター産業団地の基本計画及び農村産業法に基づく実施計画の素案を作成し、平成30年度に同実施計画を策定するとともに、農業振興地域整備計画による総合見直しの手続きを経て、土地利用計画を作成しました				加西インター地区農村地域産業導入実施計画における土地利用計画の実施を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	6	施策	⑰	具体的な取組	工
備考									
平成２９に土地利用計画は策定済みのため、H30の目標値を「-」から「1」に変更します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	13 周辺地域の定住促進									
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	5 鶉野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	鶉野未来課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・空がつなぐまち・ひとづくり推進事業								
	経費（千円）	316,831								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】		目標		8,000	8,000	8,000	8,000	16,000	16,000	
		実績	－	8,000	8,000	8,000	8,000	32,596	30,305	
（指標及びR2目標値の設定理由） 都市再生整備計画の目標値（現状の倍増）を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	204%		
			最終年度	50%	50%	50%	50%	204%	189%	
R2取組状況	鶉野飛行場跡地及び周辺の歴史遺産を一体としたフィールドミュージアムとして整備するため、都市再生整備事業として、散策用歩道整備工事や法華口駅前広場整備工事、情報板整備工事等を行いました。また、空がつなぐまち・ひとづくり交流事業として、地域活性化拠点施設建設工事、地域活性化拠点施設展示コンテンツ制作、戦争体験者証言映像記録、鶉野飛行場関連資料収集等を行いました。 その他、令和元年度より実施の紫電改実物大模型の一般公開に合わせて、6月より巨大防空壕シアター上映、9月より操縦席模型搭乗体験を行っています。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	189%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
散策用歩道整備、防空壕等整備、展示施設兼公衆用トイレ建築、備蓄倉庫建築、防空壕等サイン整備、法華口駅を拠点としたレンタサイクル用ガイドマップ作成、戦争遺跡めぐりガイドマップ作成、平和祈念史作成、モバイルガイドシステム（アプリ）の開発、紫電改実物大模型製作、地域活性化拠点施設実施設計、巨大防空壕シアター映像制作、鶉野飛行場関連資料調査・映像記録等を行いました。 歴史遺産の整備や活用、紫電改実物大模型の一般公開は、認知度の向上や来訪者の増加につながっています。取組が多くのメディアに取り上げられたことも促進要因になりました。					・人々がさまざまな交流を行うための地域活性化拠点を整備します。 ・来訪者の意見を踏まえ、より多く来訪されるよう、さらなる人材育成、広報活動に努めます。 ・地域住民が参加しやすい環境を整え、地域住民や若年層を巻き込むさまざまなイベント開催などを行い、誰もが知る鶉野飛行場跡地となるように努めます。 ・鶉野飛行場跡地への公共交通を整備する等、利便性向上を図ります。 ・交通量増加に伴い、鶉野飛行場跡周辺の安全管理を行い、周辺住宅街の生活圏を守ります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	12	施策	㊦	具体的な取組	ウ
備考										
（H30）散策用歩道整備、展示施設（トイレ）整備、防空壕等サイン整備、紫電改レプリカ製作、地域活性化拠点施設実施設計等を行います。 （R元）散策用歩道整備、防空壕等整備、地域活性化拠点施設実施計画等を行います。 地方創生推進交付金（先駆タイプ）への変更が採択を受けて事業名称が変更となった。 （R2）計画見直しにより給排水管布設工事、案内看板設置工事等の事業が追加となります。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１３ 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	６ 住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR ・地域勤労者住宅区域や空き家を事務所・社宅等への用途変更を可能とする住宅系特別指定区域加西市独自基準の策定について、県と協議を進めました。							
	経費（千円）	０							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市街化調整区域における新築住宅戸数		目標		40	40	40	40	40	40
		実績	－	43	63	33	40	47	27
（指標及びR2目標値の設定理由） 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、過去5年の平均値を設定		目標数値の達成度	単年度	108%	158%	83%	100%	118%	
			最終年度	108%	158%	83%	100%	118%	68%
R2取組状況	・市ホームページで、地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。 ・社会増を目的とする定住促進施策の一つとして、地域勤労者住宅区域や空き家を事務所・社宅等への用途変更を可能とする住宅系特別指定区域加西市独自基準の策定について、県と協議を進めました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	68%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・指標目標である市街化調整区域における新築住宅戸数（40軒/年）を概ね達成することができました。				・市ホームページで、地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域、定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。 ・地域勤労者住宅区域や社宅への用途変更を可能とする制度について、関係機関と協議を進めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・定住促進補助の実施							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】		目標		28	60	100	110	120	130
		実績	—	28	63	78	95	103	106
（指標及びR2目標値の設定理由） 市街化区域内での開発見込み戸数＋市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です（目標値、実績値は延べ戸数）		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	78%	86%	86%	
			最終年度	22%	48%	60%	73%	79%	82%
R2取組状況		・民間住宅団地開発について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 ・地域活力維持定住促進補助制度に基づく、補助金交付を行いました。 ・西高室土地区画整理事業による住宅地供給の増加、コロナ禍での住宅取得意欲の減退が見られ、住宅団地整備の案件が減少しました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	82%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・民間住宅団地開発について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 ・市街化調整区域における住宅団地整備として、尾崎町北条高校前地区において、地区計画を策定し、自治会・市・事業者の三者連携の手法により事業を実施しました。				・尾崎町北条高校前地区の早期の分譲完売を積極的に推進します。 ・中野地区において、住宅団地整備を積極的に推進します。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地整備の可能性について検討を行います。 ・指標目標の「住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数の令和2年度200戸」については、現状にそぐわないため下方修正し、平成30年度から10戸/年の増加を目標値とします。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊟	具体的な取組	ア
備考									
(H30) 尾崎町北条高校前地区への定住促進補助を実施します。民間住宅団地開発に伴う市道整備負担金を交付します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	13 周辺地域の定住促進									
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	8 ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	※事業終了								
	経費（千円）	※事業終了								
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】 (指標及びR2目標値の設定理由) 現状6件の利用件数を5か年で10件に増加させる		目標		6	6	6	6	10	10	
		実績	—	6	0	0	※事業終了			
		目標数値 の達成度	単年度	100%	0%	0%				
			最終年度	60%	0%	0%				
R2取組状況		—								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	単年(R元)	最終(R2)						
	※事業終了									
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
カップルや家族を対象とした定住促進を図るため、保育所・小学校・病院などを回り、市内にある賃貸マンションに宿泊して加西市での日常生活を体験することができ「かさいふたリズム推進事業」を実施しましたが、連携業者との調整により、終了となりました。					—					
今後の方針					対応箇所					
④廃止					政策		施策		具体的な 取組	
備考										
空き家バンク登録者が利用できる「加西市お試し居住制度」を、加西市出逢いサポートセンターの支援で成立したカップルに情報提供を行います。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	13 周辺地域の定住促進									
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	9 ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。									
主管部課	部名	地域振興部				課名	きてみて住んで課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・移住相談会に参加（神戸・大阪・東京）								
	経費（千円）	10								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★出張相談会年間参加数【2-35】		目標		1	3	3	3	3	3	
		実績	—	2	3	5	5	6	1	
（指標及びR2目標値の設定理由） 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定		目標数値の達成度	単年度	200%	100%	167%	167%	200%		
			最終年度	67%	100%	167%	167%	200%	33%	
R2取組状況	コロナの影響により、多くの出張相談会は中止となり、1回のみの参加となりました。 一方で、ZOOM等を使用したオンラインによる合同説明会に計3回参加しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	33%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
相談会の場を通じて、加西市をPRし、加西市の魅力を発信することで、移住定住先の候補になるケースを作り出すことができました。					コロナの影響により、当面は相談会の開催は困難な状況です。 しかし、開催できる状況になった際は、引き続き、出張相談会には積極的に参加し、移住・定住につながるよう丁寧な対応に努めて参ります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	11	施策	㊴	具体的な取組	イ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１４ 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 ２ 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 ６ 交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。 ９ ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部	課名	人口増政策課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援							
	経費（千円）	5,209							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★コミバス等の年間利用者数（千人） 【1-1、4-71】	目標		19	20	22	24	30	30	
	実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	26.5	
（指標及びR2目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%		
	最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	88%		
②★北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標		360	364	368	372	380	380	
	実績	306	351	340	328	332	334	278	
（指標及びR2目標値の設定理由） 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。	目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%		
	最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	73%		
R2取組状況	・高速泉バス停南側駐車場27台分を整備しました。 ・宇仁郷まちづくり協議会が地域主体型交通「宇仁ふれあいバス」の運行をR2.10より開始しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	88%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	B：予定より遅延	73%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
コミバスについては年々利用者も増加し、順調に推移しています。 北条鉄道については、人口減少下、通勤・通学客の減少により利用者数は横ばいです。 泉バス停南駐車場をR2年度にかけて整備を行い、阪神地区へのパーク＆ライドをすすめます。				宇仁地区において地域主体型交通の導入を図ります。 交通結節点の整備の他、北条鉄道との連絡の改善等を順次図っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	②9	具体的な取組	ア
備考									
・宇仁地区において地域主体型交通の導入を支援します。 ・バス停の整備を順次行います。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１４ 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ 民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・バス対策費補助							
	経費（千円）	31,074							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★コミバス等の年間利用者数（千人） 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	26.5
（指標及びR2目標値の設定理由） 広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%	
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	88%
R2取組状況		・利用者の少ない路線バスの維持確保のために交通事業者にも補助を行いました。 ・公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、北条鉄道、コミバス、路線バス、高速バスなどの時刻表や市内の公共施設、商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。 ・コミバスねっぴ〜号にバスロケーションシステムを導入し、市内５ヵ所のバス停、待合室にデジタルサイネージを設置、コミバスだけではなく路線バスの運行情報も掲載し、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	88%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持するため、国、県、市より継続して補助を行いました。				バスロケーションシステムの導入や、利用者の需要にあったダイヤ設定など、利用しやすい公共交通を目指していく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	②	具体的な取組	ウ
備考									
予算要求額へ変更します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１４ 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	４ 公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進							
	経費（千円）	3,082							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①★コミバス等の年間利用者数（千人） 【1-1、4-71】	目標			19	20	22	24	30	30
	実績		14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	26.5
	目標数値の達成度	単年度		95%	114%	125%	126%	106%	
		最終年度		60%	76%	92%	101%	106%	88%
②★北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標			360	364	368	372	380	380
	実績		306	351	340	328	332	334	278
	目標数値の達成度	単年度		98%	93%	89%	89%	88%	
		最終年度		92%	89%	86%	87%	88%	73%
R2取組状況	・公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、北条鉄道、コミバス、路線バス、高速バスなどの時刻表や市内の公共施設、商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。 ・コミバスねっぴ〜号にバスロケーションシステムを導入し、市内５カ所のバス停、待合室にデジタルサイネージを設置し、分かりやすく利用しやすい情報提供に努めました。 ・北条鉄道通勤定期購入特典キャンペーンの実施し、新規定期購入者の増加に努めました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	88%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	B：予定より遅延	73%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
総合時刻表「かさいおでかけナビ」を毎年更新を行い、全戸配布を行いました。R元年度より開始した大学生等通学定期券購入助成制度は予想以上の利用者となりました。				・今後も継続して分かりやすく、利用しやすい公共交通事業を進めていく必要があります。 ・大学生等通学定期券購入助成制度については、市内公共交通機関利用者へのインセンティブ付与を検討していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	②9	具体的な取組	ア
備考									
予算要求額へ変更します									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１４ 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金							
	経費（千円）	20,866							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328	332	334	278
（指標及びR2目標値の設定理由） 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。		目標数値 の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%	
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	73%
R2取組状況	・鉄道安全輸送設備（枕木交換、車両整備など）の整備に対する支援を行いました。 ・北条町駅、法華口駅、３車両内のWi-Fi通信の支援を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	73%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
まずは安全安心できる輸送体制を整えるため、設備補助を継続して行い、設備更新は計画的に進んでいます。 そして、戦略的に利用者の利便性の向上を目的に、法華口駅において行き違い施設整備を支援しました。R2年9月から朝3便、夕2便が増便される予定です。				・今後も継続して設備更新を支援していくことが重要です。 ・行き違い施設の整備に伴い、特に通勤・通学客の増加を図る方策が必要です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	②9	具体的な取組	イ
備考									
交差施設整備事業を終了します。 予算要求額へ変更します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	14 公共交通網の構築									
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 7・8 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減								
	経費（千円）	1,800								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①★コミバス等の年間利用者数（千人） 【1-1、4-71】	目標			19	20	22	24	30	30	
	実績		14.7	18	22.8	27.5	30.3	31.7	26.5	
（指標及びR2目標値の設定理由） 運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。		目標数値 の達成度	単年度	95%	114%	125%	126%	106%		
			最終年度	60%	76%	92%	101%	106%	88%	
②★北条鉄道の年間利用者数（千人）【4-69】	目標			360	364	368	372	380	380	
	実績		306	351	340	328	332	334	278	
（指標及びR2目標値の設定理由） コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を 利用者数で測ります。		目標数値 の達成度	単年度	98%	93%	89%	89%	88%		
			最終年度	92%	89%	86%	87%	88%	73%	
R2取組状況	・高齢者や子育て世帯、障がい者や免許返納者を対象に、市内を走るコミバスや路線バスの運賃を無料化しました。乗降者の約30%が無料券を利用されました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	88%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	B：予定より遅延	73%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
75歳以上や中学生以下、妊産婦など市内バス無料の対象を広げたことに伴い、利用者数は順調に増加しています。					・交通弱者が安心して利用できる交通網の構築を目指すため、コミバスの充実とともに、地域主体型交通の導入が今後の課題です。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	②9	具体的な 取組	ウ
備考										
予算要求額へ変更します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	15 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心で快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・指定管理者の活用による適切な公園管理 ・ウッドデッキ改修工事（第3期）等修繕の実施 ・公園長寿命化計画に基づく実施設計策定の検討								
	経費（千円）	29,568								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
都市公園利用者数		目標		27,500	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000	
		実績	－	27,600	32,600	27,600	45,000	45,300	47,600	
（指標及びR2目標値の設定理由） 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を超えることを目標に設定した		目標数値の達成度	単年度	100%	116%	97%	155%	154%		
			最終年度	92%	109%	92%	150%	151%	159%	
R2取組状況		・指定管理者と協働し、適切な公園管理に努めました。 ・公園施設の経年劣化に対応した修繕を適時実施しました。 ・丸山総合公園において、ウッドデッキの修繕を実施しました。 ・丸山総合公園において、遊具設置等工事の設計に着手しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	159%	A：目標を上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・指定管理者と協働で、適切な公園管理を行ったことにより、指標目標である「都市公園利用者数」を概ね達成することができた。					・指定管理者と協働し、公園利用者の更なる増加に向けた取り組みを進めます。 ・公園利用者の安全を確保するため、遊具などの施設の経年劣化に対し迅速な修繕を行い、更新についても検討を進めます。 ・丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについては、撤去も視野に入れた対策を検討します。 ・丸山総合公園の老朽化した施設（大蛇の道、ジャブジャブ池など）について、公園長寿命化対策支援事業を活用した大規模改修も視野に入れ、根本的な安全対策を検討します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㉗	具体的な取組	ウ
備考										
(H30) 都市再生整備事業を活用し、丸山総合公園整備工事を実施します。 (R元) 丸山総合公園のウッドデッキ修繕工事を行う。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	15 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 史跡を計画的に整備し、活用を図ります。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・史跡整備委員会の開催								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数		目標		-	-	1	2	3	4	
		実績	-	-	-	1	2	2	2	
(指標及びR2目標値の設定理由) 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく		目標数値 の達成度	単年度	-	-	100%	100%	67%		
			最終年度	-	-	25%	50%	50%	50%	
R2取組状況	新たにクワンス塚古墳で破損が確認されたため、整備計画の変更と修理工整備方法について史跡整備検討委員会で協議を行う予定でしたが、感染防止対策のため令和2年度は委員長との協議のみ実施し、委員会の開催は令和3年度に持ち越しました。 笹塚公園を地域の夏休みラジオ体操の場として開放しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	50%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成27年度に作成した「史跡玉丘古墳群整備（修復）基本計画」に基づき、29年度、30年度と2カ年で笹塚古墳の整備は完了しました。 次に予定していた玉丘古墳の整備については、県からの要請により計画を後ろに遅らせることになりました。					国庫補助事業であるため、国・県と協議しスケジュールについて調整していく必要があり、整備基本計画策定から5か年目となるため、現状に即した計画の見直しが必要です。 整備計画の見直しについては、整備スケジュールと共に、加西市文化財保存活用地域計画に併せた周辺整備や、デジタル技術を活用した整備方法など、総合的に検討していく必要があります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					基本方針	7	政策	⑭	施策	ア
備考										
整備スケジュールの変更に伴い、取組内容・経費を変更します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	15 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	3 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・西谷坂元線、鶺野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、北条西上野線、段下4号線外								
	経費（千円）	240,754								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①★基幹道路網の整備延長距離（km）【4-70】		目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5	
		実績	－	0.2	0.3	0.5	0.6	0.8	1.8	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	30%	29%	24%	20%		
			最終年度	4%	7%	11%	13%	18%	40%	
②★集落道路の改良延長距離（km）【4-70】		目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5	
		実績	－	0.5	0.8	1.3	1.4	1.4	1.6	
(指標及びR2目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	108%	59%	31%		
			最終年度	11%	18%	29%	32%	31%	36%	
R2取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	40%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	B：予定より遅延	36%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
西谷坂元線については、実施設計を完了し、整備工事を実施しました。鶺野飛行場線については、計画区間の南側半分の実施設計及び用地買収を行いました。豊倉日吉線については、実施設計が完了しており適時に工事着手を行う予定です。 山下鎮岩線外の集落道整備については、緊急性を考慮して順次整備を行いました。					鶺野飛行場線及び豊倉日吉線は、特に重要性が高いため順次工事を進めて行く予定ですが、既設道路との交差点部分において、地元及び関係機関（兵庫県、公安委員会等）との調整が必要となっています。 そのため、早期に協議を進め北側部分についても、実施設計に着手できるように進めています。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊦	具体的な取組	ア
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	１５ 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	４ 自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線								
	経費（千円）	226,953								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
歩道設置総延長（ｍ）		目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100	
		実績	32,808	34,500	34,699	34,699	34,787	34,891	35,842	
（指標及びR2目標値の設定理由） 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う計画 歩道整備延長を目標値に設置		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	99%	98%	98%		
			最終年度	96%	96%	96%	96%	97%	99%	
R2取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者道の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	99%		B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
西谷坂元線については、実施設計を完了し、道路改良工事に合わせ歩道整備を実施しました。					鶉野飛行場線及び豊倉日吉線は、特に重要性が高いため道路改良工事に合わせ歩道整備を進めて行く予定ですが、既設道路との交差点部分において、地元及び関係機関（兵庫県、公安委員会等）との調整が必要となっています。 そのため、早期に協議を進め北側部分についても、実施設計に着手できるように進めていきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊲	具体的な取組	ア
備考										
事業の進捗を図るため。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	１５ 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・橋梁定期点検（５０橋） ・補修設計（３橋） ・長寿命化計画策定							
	経費（千円）	33,223							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
修繕工事を実施する橋梁数（橋）		目標		5	9	13	15	21	25
		実績	－	9	13	14	16	18	18
（指標及びR2目標値の設定理由） 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	180%	144%	108%	107%	86%	
			最終年度	36%	52%	56%	64%	72%	72%
R2取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、定期点検を実施するとともに補修設計に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	72%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市の管理する橋梁242橋を、年間約50橋ごとに5年サイクルで点検を行い、修繕工事を実施しました。				加西市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補修を進めることで、安全性の確保とコスト縮減を行っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	㊦	具体的な取組	ア
備考									
事業の進捗を図るため。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	１５ 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	６ 河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・河川浚渫等								
	経費（千円）	500								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
河川修繕工事及び河川浚渫の実施（箇所）		目標		2	3	4	5	6	7	
		実績	－	2	5	6	2	9	11	
（指標及びR2目標値の設定理由） 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	167%	150%	40%	150%		
			最終年度	29%	71%	86%	29%	129%	157%	
R2取組状況	河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	157%	A：目標を上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
定期的な河川の点検と、自治会にも草刈り等の協力をお願いして適正な管理を行いました。					定期的な河川の点検の継続と、危険箇所については優先的に整備を行います。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊦	具体的な取組	イ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	４ 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり									
施策	１５ 住みよい住環境									
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	７ 公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	案内表示板等 １箇所								
	経費（千円）	122								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入（箇所）		目標		0	1	2	3	4	5	
		実績	－	0	1	1	1	1	2	
（指標及びR2目標値の設定理由） 1箇所/年（必要に応じて適宜実施）		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	50%	33%	25%		
			最終年度	0%	20%	20%	20%	20%	40%	
R2取組状況	泉バス停南駐車場に、案内看板を設置しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	③完了	B：予定より遅延	40%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
公共施設に関する案内表示については、一定水準の整備がなされています。					今後は、案内表示の劣化による更新に合わせて、ユニバーサルデザインの導入を進めていきます。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	10	施策	㊦	具体的な取組	ア
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	５ 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	１６ 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実							
	経費（千円）	723							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者講座年間受講者数	目標			460	470	470	480	490	500
	実績		426	493	533	558	577	600	584
（指標及びR2目標値の設定理由） 「かしの木学園」「生き活き元気塾」受講者実数。当初から２割増加と設定。		目標数値の達成度	単年度	107%	113%	119%	120%	122%	
			最終年度	99%	107%	112%	115%	120%	117%
R2取組状況	新型コロナウイルスの影響がある中、受講者の減少もほとんどなく多くの方が受講されました。 講座の開催にあたっては、検温や手指消毒はもちろん、必要に応じて会場を変更するなど感染防止対策を徹底し、できる限り講座を開催するよう努めました。 かしの木学園の運営委員会が自主的に講座等を開催し、自ら企画・運営をしている館もあります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	117%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
高齢者の学習の場として、かしの木学園では幅広い分野の講座を設定しています。 また、人生100年時代を想定し、高齢者の健康を目的とした生き活き元気塾は、健康意識が高い高齢者が多く、定員を超える申し込みがあります。				「かしの木学園」の講座で、人権、社会課題、地域の問題など、幅広い学びを提供していきます。 「生き活き元気塾」は高齢化に伴い要望に応じていく必要がありますが、サポートボランティアが足りないのが現状です。ボランティアの確保のため、関係機関と連携しボランティア養成講座の開催を検討します。 なお、基本計画の退職世代の就労講座については、現代の社会情勢に合わないため、計画の変更が必要と考えます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑦	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	５ 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	１６ 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助							
	経費（千円）	10,459							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
シルバー人材センター会員数		目標		440	425	445	465	485	500
		実績	517	404	393	382	342	339	324
（指標及びR2目標値の設定理由） H27年度の数値を基準として目標値を設定		目標数値 の達成度	単年度	92%	92%	86%	74%	70%	
			最終年度	81%	79%	76%	68%	68%	65%
R2取組状況	地域に質の高いサービスを提供し、又働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験を生かして、生涯現役で活躍し続けるよう支援しました。総合事業（訪問型サービスB）実施に向け、研修会を開催しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	65%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
会員数は年々減少していますが、積極的な事業の取組、情報提供により、事業の拡大に繋がっています。総合事業（訪問型サービスB）実施により、高齢者に活躍の場を提供していきます。				高齢者の健康で生きがいのある生活の実現や地域福祉の向上と活性化に貢献できるよう支援に努めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	イ
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 9,641→9,541、R元 9,641→9,541 R2 9,661→10,459に変更します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	５ 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	１６ 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	３ 高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・生活支援サポートセンター運営							
	経費（千円）	4,000							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者ボランティア数		目標		450	485	520	575	610	650
		実績	350	453	404	411	332	388	368
（指標及びR2目標値の設定理由） 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる300人増を設定		目標数値の達成度	単年度	101%	83%	79%	58%	64%	
			最終年度	70%	62%	63%	51%	60%	57%
R2取組状況	住民同士の支え合い活動を広げ、高齢者の社会参加により介護予防につなげるため生活支援サポーター養成講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	57%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
依頼数は増加していますが、依頼会員の希望通りにサービスを提供できています。				依頼数の増加に対応できるよう、引き続き養成講座を実施していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 6,260→5,060、R元 6,260→4,000 に変更します。 ・実施計画中、「取組内容」・・・介護予防リーダー養成講座を削除します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業（サロン事業）の実施							
	経費（千円）	367							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
障がい者サロン年間参加者数		目標		450	460	470	480	490	500
		実績	430	540	717	488	515	301	132
（指標及びR2目標値の設定理由） 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定		目標数値 の達成度	単年度	120%	156%	104%	107%	61%	
			最終年度	108%	143%	98%	103%	60%	26%
R2取組状況	4団体による実施でした。新型コロナウイルス感染症予防により、当初計画予定より事業縮小や中止となっています。それぞれの団体で交流事業、ワークショップ等の工夫した取り組みを実施しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	26%	C：目標を下回っている					
]									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
各団体で取組み内容を工夫され、活動の活性化に成果をあげています。				引き続き、広報やHP等によるPRを行い、各団体による取組の参加者が増えるように支援していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑪	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	５ 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	１６ 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部	課名	地域福祉課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営							
	経費（千円）	27,298							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
就労系サービス利用者数（延月人数）		目標		1,445	1,520	1,640	1,800 (1,760)	1,824 (1,880)	1,872 (2,000)
		実績	－	1,445	1,627	1,681	1,777	1,793	1,915
（指標及びR2目標値の設定理由） 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5 年間で555人増の数値を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	107%	103%	101%	95%	
			最終年度	77%	87%	90%	95%	96%	102%
R2取組状況	基幹相談支援センターや障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と協同し就労支援や移行支援を行いました。市役所内外における就業訓練事業や庁内バザーを引き続き実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	102%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
委託相談支援事業の中に、就労支援員を配置し、関係機関との連携や相談者への丁寧な関わりを行うことができ、成果をあげています。				引き続き、事業所等と連携して、一般就労のための職場開拓や、職業訓練の拡大等を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑪	具体的な取組	ア
備考									
第５期加西市障害福祉計画（H30.3月策定）を策定する際に指標における計画の見直しを行い、その目標数値と合わせるため。消費税増税による増額分について経費を増やしています。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	５ 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	１６ 社会参加を通じた生きがいづくり									
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	６ ★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいＣＣＲＣ構想の具体化を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)								
	取組内容	・構想策定								
	経費（千円）	０								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★ＣＣＲＣ整備構想とりまとめ【3-61】		目標		—	—	—	—	1	1	
		実績	—	—	—	—	—	0	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 構想推進のための基本構想のとりまとめが第１段階の目標となる		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%		
			最終年度	—	—	—	—	0%	0%	
R2取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
基本的に事業の実施は民間企業や団体となり、それを市が支援する体制となります。そのためには、市の状況やニーズ、民間企業の進出意欲等の情報を合致させ、お見合いをさせるような中間支援組織の存在が必要であると感じます。					国の「第２期まち・ひと・しごと創生戦略」において、これまで「生涯活躍のまち」については、中高年齢者の移住に重点を置いていましたが、今後は全世代・全員活躍型の「コミュニティづくり」に重点を置くようになります。今後も国の動向を注視しながら、加西市にあった「生涯活躍のまち」を推進していかなければなりません。					
今後の方針					対応箇所					
④廃止					政策		施策		具体的な取組	
備考										
・事業を再検討します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課、国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・40～50歳代の乳がん検診個別受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施							
	経費（千円）	46,999							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①がん検診受診率（％）	目標		胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 21.0 乳 23.0	
	実績		胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9	胃 7.9 大腸 22.3 肺 30.7 子宮 14.4 乳 14.5	胃 6.7 大腸 22.7 肺 30.9 子宮 15.7 乳 17.0	胃 5.8 大腸 22.0 肺 28.5 子宮 14.9 乳 17.1	胃 5.3 大腸 21.8 肺 30.0 子宮 14.0 乳 17.6	胃 3.7 大腸 18.3 肺 24.1 子宮 14.4 乳 18.9
（指標及びR2目標値の設定理由） 健康かさい21計画（国の目標値に準拠）		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	93%	83%	80%	
			最終年度	76%	76%	78%	74%	74%	63%
②★がん検診の無料クーポン利用率（％）【5-80】	目標		男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20.0 女40.0	
	実績	－	男15.8 女45.5	男15.7 女45.6	男17.5 女55.5	男17.2 女46.2	男20.0 女38.8	男10.6% 女36.2%	
（指標及びR2目標値の設定理由） 市重点事業として5％の増を目指す		目標数値の達成度	単年度	120%	118%	134%	111%	97%	
			最終年度	87%	102%	122%	106%	97%	78%
③特定健診受診率	目標		－	－	40.0	44.0	48.0	52.0	
	実績	29.7	－	34.5	39.1	39.6	38.8	30.7	
（指標及びR2目標値の設定理由） 特定健診受診率の向上を図るため、年４％増を設定		目標数値の達成度	単年度	－	－	98%	90%	81%	
			最終年度	－	66%	75%	76%	75%	59%
R2取組状況	町ぐるみ健診、女性のがん検診では土日にも日程を設け、託児サービスを行う等若い世代にも受診しやすい体制を整えました。また、町ぐるみ健診の一部日程に乳がん検診も導入し、特定健診と同時に複数のがん検診が受診できるようにしました。医療機関健診では、年間を通じ診療時間内に受診できますが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言による一時停止、感染防止対策を講じたこと、市民の受診控えも影響し、受診数は減少しています。乳がん検診については好発年齢層に個別勧奨を行ったこともあり、受診数は増加しました。無料クーポンについては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、使用期限の延長を実施しています。老人会と連携し、戸別訪問による受診勧奨を実施しました。また、未受診者の特性ごとにセグメント分けを行い、各セグメントに応じた内容が記載されたハガキを送付することによる受診勧奨を実施しました。								

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	63%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	B：予定より遅延	78%						
③	②実行中	B：予定より遅延	59%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・積極的な健診の受診勧奨を実施した結果、健診受診率は平成28年度の34.5%から令和元年度の38.8%と大幅に上昇させることができました。 ・がん検診については、好発年齢層を焦点に勧奨通知、クーポン券送付しており、対象年齢については、受診行動につながるが多く、一定の成果はあります。しかし、年々受診率は伸び悩んでいます。託児サービス等についても利用者は少ないものの、利用者には好評です。女性がんについては個別勧奨を令和元年度から開始し、若い世代の受診は少し増えました。 ・新型コロナウイルス感染拡大による健診の受診控えが懸念される中、積極的な受診勧奨を実施したことにより当初計画の実績値は上回っており、受診者数の減少を抑えることができました。				・平成29年度に健診の受診費用を無料化して以降、受診率が横ばいで推移しているため、勧奨方法を工夫する必要があります。 ・現在も実施している未受診者対策は継続しつつ、わかりやすく注目されやすい文書・チラシの作成や運動ポイント事業との関連性をアピールしていきます。 ・今後も健診受診対象者全員に勧奨を実施し、受診率の向上に努めます。 ・がん検診受診者数は年々微減傾向であり、受診率も伸び悩んでいます。特に女性がんについては、県下でも受診率が低いため、重点的な取り組みが必要です。がんや生活習慣病については、健康寿命やQOLにかかわる健康問題につながりやすいため、若い世代から健康づくりや病気の予防を意識して生活できるよう、市民に啓発することが必要です。 ・対象者の年齢や過去の健診受診歴を参考にセグメント分けを行い、それぞれの特性に応じた受診勧奨を実施します。 ・若年層の受診率を向上させるために、健診を受診しやすい環境の整備やインターネット（SNS）を活用した受診啓発に取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ウ
備考									
変更なし 平成30年度より一部を除き、乳がん検診での視触診を実施しません。 平成29年度より指標として「特定健診受診率」を追加しています。 令和元年度に若い世代の子宮頸がん検診個別勧奨を実施します。									

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	17 こころとからだの健康づくり									
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 予防接種の助成制度を拡充します。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・定期外の乳幼児ワクチン助成の継続実施 ・高齢者肺炎球菌ワクチンの助成								
	経費(千円)	5,201								
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★接種助成制度の創設数【1-2】 (指標及びR2目標値の設定理由) 当面は、種類の追加を目指す		目標		-	-	-	1	1	1	
		実績	-	-	-	-	1	1	1	
		目標数値 の達成度	単年度	-	-	-	100%	100%		
			最終年度	-	-	-	100%	100%	100%	
R2取組状況	子どものインフルエンザ予防接種費用の助成を開始しました。当初の計画では、年少から小学6年生が対象でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大による家庭への経済的な影響を鑑み、年少から中学校3年生までに対象を拡大して実施しました。また、高齢者肺炎球菌任意接種とおたふくかぜの予防接種費用の助成については、継続して実施しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成26年度から実施している肺炎球菌任意接種の助成に加えて、平成30年度よりおたふくかぜの予防接種の助成を開始しました。おたふくかぜの予防接種については、個別勧奨等を実施した事により、接種者は増加しています。					接種助成制度の創設は、令和2年度から子どものインフルエンザ予防接種の助成により、目標は、達成出来ました。次期計画では、創設数ではなく助成率を指標に設定し、市民の経済的負担の軽減に努めています。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ア
備考										
平成30年度に助成対象ワクチンの決定と対象者数より経費を再算出しています。 令和2年度より子どものインフルエンザワクチンの助成を開始										

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 14回/年 ・運動短期教室での実施 ・運動機器の充実							
	経費(千円)	2,644							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①運動を心がけている人の割合(%)		目標		31.4	(5年に1回の調査)				35
		実績	34	—	—	—	—	—	30.8
(指標及びR2目標値の設定理由) 第2次健康かさい21		目標数値の達成度	単年度	—	—	—	—	—	
			最終年度	—	—	—	—	—	88%
②健康相談事業の利用者数		目標		574	1,000	1,025	1,050	1,075	1,100
		実績	—	574	962	791	679	549	485
(指標及びR2目標値の設定理由) スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	77%	65%	51%	
			最終年度	52%	87%	72%	62%	50%	44%
R2取組状況	運動に取り組む人を増やすことを目的に運動教室や体験教室を実施しました。また、運動ポイント事業にも取り組みました。健康機器の充実として歩行姿勢測定器を導入し、イベント等で活用しています。 健康相談も健診会場等で実施しましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として事業の縮小、中止を余儀なくされ、利用者が減少しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	88%						
②	②実行中	B：予定より遅延	44%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
町ぐるみ健診会場や健康教育の後等、利用しやすい場所での相談機会を設けています。健診時の相談は若い世代の利用も多いため、生活習慣病予防につながる良い機会です。一方、スマイル健康相談の利用者数の減少傾向にある為、周知や実施方法等を工夫していきます。運動については、運動教室やポイント事業等の取り組みを継続していきます。				市民の健康づくりを推進するため、運動習慣の定着、生活習慣病予防のための相談・指導を今後も継続していきます。広く市民に啓発することも必要であるため、第2次健康かさい21中間評価結果を確認し、これまでの取り組みを評価するとともに地域の状況に応じた対策を講じていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ア
備考									
平成30年度は北播磨圏域医師会の事業で「北播磨健康大学」で健康講座を開催したが、令和元年度については、医師会の協力を得て健康講座を開催します。									

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続							
	経費（千円）	120							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自主組織（いずみ会・ゆうゆう会）による健康づくり普及実績数（健康課との共同実施した事業）		目標		2,499	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750
		実績	－	2,499	2851	2,849	2,682	2,860	1,269
（指標及びR2目標値の設定理由） 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	112%	110%	101%	106%	
			最終年度	91%	104%	104%	98%	104%	46%
R2取組状況	新型コロナウイルスの感染症予防のため料理教室や集団教育を控え、資料配布を中心に活動を行うなど活動を縮小して実施しました。健康福祉まつりなどのイベントの中止、参加人数の制限などにより、例年のような実施は出来ませんでしたが、会員や市民の健康と安全を優先にして健康づくり普及活動に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	46%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
毎年地域から継続して依頼があるので、いずみ会の活動が地域に広がり定着していることが、活動実績の増加につながっていると考えられます。ゆうゆう会については、令和元年度から普及活動の機会を大幅に増やし、会の活動が活発になってきました。				いずみ会活動を更に地域へ広め、多くの市民に活動を知ってもらい、食育や食生活改善活動を充実させていきます。また、会員のモチベーションアップを図るため、会員にとって楽しく活動しやすい環境づくりが必要です。ゆうゆう会については、普及活動に取り組む機会の充実に加え、会員のスキルアップに取り組めます。また、若い世代の会員獲得に取り組めます。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ウ
備考									
いずみ会研修会等のためのバス借上料も経費とする。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	17 こころとからだの健康づくり									
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	5 健康づくりのための拠点施設を充実します。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・運動事業の推進、保健事業の実施								
	経費（千円）	2,135								
指標名		区分	目標（下段の（）書さは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
運動事業参加者実人員		目標		364	380	400	420	440	460	
		実績	－	364	403	390	384	337	284	
(指標及びR2目標値の設定理由) 健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増		目標数値 の達成度	単年度	100%	106%	98%	91%	77%		
			最終年度	79%	88%	85%	83%	73%	62%	
R2取組状況	新型コロナウイルスの感染症拡大予防のため、4月から6月までは運動教室の開催を中止し、7月から再開しました。また、自主トレーニングについても6月中旬までは利用を中止しました。再開後も、感染拡大防止のため、運動教室では定員の削減、自主トレーニングでは利用制限を設けて実施しました。安全面を確保して実施したこともあり、実人員の大幅な減少は免れることができました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
	区分	最終(R2)								
	②実行中	B：予定より遅延		62%			C：目標を下回っている			
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
運動教室に参加された方が、自主的に健康づくりに取り組めるように、前期・後期制度を取り入れたり、自主トレーニングを支援する「チャレンジ自主トレ」を開催することで自主トレーニングに取り組みやすい環境整備を進めてきた成果として、自主トレーニングの利用については増加傾向があります。					既存の参加者の自主的な健康づくりの推進では一定の成果が出ていますが、利用者の実人員はここ数年の間で減少傾向にあり、利用者数を増やすという目標は達成できていないため、新規利用者の獲得に取り組み利用者数の増加を目指します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	3	施策	⑨	具体的な取組	イ
備考										
運動教室の開催内容について見直し、「自主トレーニング」に取り組みやすい環境整備を進め、自主的な健康づくりの推進を図ります。										

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 ・ゲートキーパー研修等普及啓発							
	経費（千円）	339							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
自殺率の減少（3か年・人口10万対） 【減少指標】		目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
		実績	29.5	24.7	18.7	22.5	18.7	18.5	19.1
（指標及びR2目標値の設定理由） ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	102%	115%	112%	
			最終年度	77%	107%	88%	107%	108%	105%
R2取組状況	平成30年度に策定した加西市自殺対策計画に基づき、庁内会議やネットワーク会議を開催して、加西市の自殺状況の共有と計画の進捗状況の確認、意見交換を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて研修会を中止したため、市民が普及啓発資料をより多くの場所で入手できるように、庁内や健康福祉会館に加えて、市立図書館と地域交流センターにも設置しました。相談窓口の周知をはかるために、システムの最後に相談窓口一覧が表示される「こころの体温計」を継続実施するとともに、成人式や母子手帳交付時にも相談窓口を紹介するカードを配布しました。くわえて、相談体制を拡充して保健師や臨床心理士による電話相談や対面相談を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	105%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
心の健康づくり、自殺対策についての普及啓発、相談窓口の周知を図ったことで、計画策定当初に比較し自殺率は減少しています。				自殺率は減少傾向にありますが、毎年自殺者は発生している状況があります。引き続き、心の健康づくりに関する知識の普及啓発、ゲートキーパーの養成、相談窓口の周知を推進します。また、相談が受けやすいよう相談窓口の拡充を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ア
備考									
自殺対策基本法の改正により市町に自殺対策計画の策定が義務づけられたため、H30年度に策定しました。計画策定後、こころの健康相談や相談先の普及啓発等、内容を拡大強化し実施します。なお県から提供されるデータが変わったため、自殺率については、H28までは3か年平均値、H29～R2は5か年平均値をもとに算出しています。									

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元々なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部	課名	健康課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	加西市第2次食育推進計画に基づき新プロジェクトの実施							
	経費（千円）	359							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①朝食を欠食する人の割合（％）		目標		20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代27 30歳代15 40歳代14	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代20 30歳代10 40歳代8
		実績	20歳代32.8 30歳代18.1 40歳代16.9	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代15 30歳代6.7 40歳代5.0	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－	20歳代－ 30歳代－ 40歳代－
（指標及びR2目標値の設定理由） 若い世代での朝食欠食者が増えているため、減少を目指す。（加西市食育推進計画の目標値）		目標数値 の達成度	単年度	－	－	155%	－	－	
			最終年度	－	－	132%	－	－	－
②★野菜を毎食食べる人（％）の割合		目標		13.3	－	15	－	－	18
		実績		－	－	18.5	－	－	15.6
（指標及びR2目標値の設定理由） 生活習慣病予防に欠かせない野菜の摂取量の増加を目指す。（健康かさい21の目標値）		目標数値 の達成度	単年度	－	－	123%	－	－	
			最終年度	－	－	103%	－	－	87%
③栄養相談実施人数		目標		545	570	600	630	660	700
		実績	－	545	559	601	656	577	557
（指標及びR2目標値の設定理由） 望ましい食習慣確立のためには個別の相談で食生活の助言をしていく必要がある。		目標数値 の達成度	単年度	100%	98%	100%	104%	87%	
			最終年度	78%	80%	86%	94%	82%	80%
R2取組状況	子育て中の母親など若い世代に対して、子どもの健診や各園での食育教室などで、朝食や野菜の摂取について啓発しました。また、出前講座や健康相談で正しい食生活の普及、食育月間に合わせて展示コーナーを設け食育の啓発を行いました。 新型コロナウイルスの感染症予防のため教室等を中止・縮小したことにより、教育の機会や面接での相談件数は減少しましたが、電話による子育て相談は増加しています。								

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	①	②実行中	—	—			B：目標を達成		
	②	②実行中	B：予定より遅延	87%					
③	②実行中	B：予定より遅延	80%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
若い世代の朝食欠食を減らすため、母子保健事業や食育教室などで朝食摂取の大切さを伝え、どの年代についてもH29年度調査では目標達成しています。生活習慣病の講話等で野菜の摂取量などについて伝え、野菜を毎食食べている人の割合は、H29年度調査では目標達成です。栄養相談実施人数は、相談の場を増やすなどして、増加傾向にあります。				朝食や野菜の摂取については、今後も普及啓発し、市民の食生活改善を支援していく必要があります。第2次加西市食育推進計画や健康かさい21に基づいた取り組みや目標設定をしていきます。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	ア
備考									
平成29年度策定の加西市第2次食育推進計画をもとに、食育を推進していきます。									

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	17 こころとからだの健康づくり									
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	8 ★特定不妊治療に対する支援を行います。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）・男性不妊治療費の医療費助成（各上限5万円） ・不育症（2回以上の流産や死産などがあること）の治療費助成（上限15万円）								
	経費（千円）	1,826								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】		目標		45	48	51	54	60	60	
		実績	－	44	40	56	33	46	37	
（指標及びR2目標値の設定理由） 補助実績件数による推計（約25%増）		目標数値の達成度	単年度	98%	83%	110%	61%	77%		
			最終年度	73%	67%	93%	55%	77%	62%	
R2取組状況	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精（特定不妊治療）を受け、兵庫県特定不妊治療費、男性不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の1回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。（各上限5万円） また、不育症（2回以上の流産や死産等があること）の治療費助成を行いました。（上限15万円）									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	62%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
従来から助成していた特定不妊治療費に加え、平成28年度から不育症治療費、令和元年度から男性不妊治療費の助成を開始し、市民の負担軽減に努めています。平成30年度は、目標値を大きく下回りましたが、目標値を上回った年もあり一定目標を達成出来ています。					新型コロナウイルス感染拡大により、不妊治療については、延期するよう求められていますので、今後は減少傾向になると予想されます。次期計画においては、コロナウィルスの影響も鑑み、目標値を下げる必要があると考えます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	①	具体的な取組	イ
備考										
取組内容に男性不妊治療を追加（R元より）										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・事業の継続実施							
	経費（千円）	4,960							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】 (指標及びR2目標値の設定理由) 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定		目標		250	500	750	1,000	1,000	1,000
		実績	－	250	500	1,000	1,500	2231	3,343
		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	133%	150%	223%	
			最終年度	25%	50%	100%	150%	223%	334%
R2取組状況	令和元年度に引き続き、専用アプリを使用して運動ポイント事業を実施。北播磨広域定住自立圏構想における連携の一環として、多可町と連携協定を締結。 市町が開催するイベントの一部では、住民以外もポイントが獲得できるよう設定するなどして市町の交流の活性化を図った。また、新たにGPS機能を使用した「名所にチェックインポイント」を設定した。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	334%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
H28年度から本格的にインセンティブを設けた運動ポイント事業を実施し、年々事業の参加者を増やすことに成功し、歩くことに着目した市民の健康づくりの推進に取り組んでいます。				更に事業参加者を増やし、市民全体の健康づくりを推進します。また、北播磨広域定住自立圏の形成に向けた取り組みとして、専用アプリを活用し、健康づくりの推進に取り組み、圏域の活性化を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	3	施策	⑨	具体的な取組	イ
備考									
専用のモバイルアプリケーションを作成し、スマートフォンを利用した運動ポイント事業を実施します。									

政策・施策										
基本政策		5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策		18 地域医療体制の充実								
到達目標		地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。								
基本計画・主管部課										
基本計画		1 医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。								
主管部課		部名	加西病院			課名	—			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。病院将来構想意見書を受けて、病院機能・規模等の再構築を図る加西市新院建設基本計画の策定を行う。併せて新病院改革プランの適時見直しの実施と着実な実施。								
	経費（千円）	109								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420	
		実績	—	320	110	400	0	0	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 一人でも多くの市民の方々に関心を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%	0%		
			最終年度	76%	26%	95%	0%	0%	0%	
R2取組状況		情報発信を主な目的とする地域医療フォーラム・出前講座等の行事・イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため開催を見送りました。 近隣の3拠点病院と基本協定を交わし、専攻医の相互受入れを行いました。 市立加西病院将来構想を受けて加西市新病院建設基本計画策定委員会を開催し、委員会が答申した基本計画案について「新しい加西病院を考える市民ワークショップ」及びパブリックコメントにより市民とともに考え、基本計画として公表しました。 基本計画を基礎に新病院改革プランの見直し次期5か年の目標を設定しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延		0%		B：目標を達成				
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地域フォーラムや住民向けの出前講座を通じて、市内唯一の総合病院として、地域の医療を支える当院への理解を深めてもらい、地域医療の現状と将来を共に考えてもらう機会を設けることができた。また、回復期医療のニーズの高まりを見据え、地域包括ケア病棟を増やすとともに、病診連携のニーズに応えるべく、新たに医療介護総合支援センターを発足するなど、地域における役割を果たすよう努めています。					耐震基準の問題により施設の更新の必要が迫る中、市内唯一の総合病院として地域の医療を支える当院の将来像を示すため、「市立加西病院新改革プラン」を策定しました。医療や病院を取り巻く環境の根本的な変化への対応（パラダイムシフト）を基本とした健全経営を実現し、持続可能で安定した地域の医療が提供できるよう取り組んでまいります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					基本方針	4	政策	⑫	施策	ア
備考										
平成30年度に市立加西病院将来構想を策定する予定となっています。そのため将来構想の策定を受けて病院機能。病床数の検討に着手する予定のため取り組み内容を追加します。										

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	18 地域医療体制の充実									
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。									
主管部課	部名	加西病院				課名				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の計画的な更新。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進 ・北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院、県立はりま姫路総合医療センター（仮称）と連携、機能分担により、地域の診療所のバックアップと上記の高度急性期病院との懸け橋となります。								
	経費（千円）	817								
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
加西病院への年間紹介患者数		目標		6,900	7,000	紹介率43% 逆紹介率55% (7,100)	紹介率45% 逆紹介率60% (7,200)	紹介率47% 逆紹介率65% (7,500)	紹介率50% 逆紹介率70% (7,900)	
		実績	6,100	6,782	6,452	紹介率53% 逆紹介率61% (6,166)	紹介率40% 逆紹介率53% (6,891)	紹介率44% 逆紹介率60% (6,241)	紹介率41.3% 逆紹介率66.8% (5,653)	
（指標及びR2目標値の設定理由） 診療所等から加西病院への紹介患者数を後期5カ 年で1,000人増を目指す		目標数値 の達成度	単年度	98%	92%	87%	97%	83%		
			最終年度	86%	82%	78%	89%	79%	72%	
R2取組状況		近隣病院等との連携については、引き続き情報共有を図り、開業医・救急との患者搬送にかかるホットラインについても継続して取り組みました。従来の情報共有に加え、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対応に係る連携を関係機関と取り組みました。新型コロナウイルス感染症の広まりによる受診控えの影響により患者数が減少し目標に届きませんでしたが、医師による病院訪問を可能な限り実施し、診療所等との関係強化に努めました。 上記高度急性期を担う3拠点病院との連携も医療人交流のみならず、例えば重症妊産婦の緊急転送・手術など機能分担と連携についても実績を重ね、充実させています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	72%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
きずなネットやE連携（オンラインによるCT・MRI利用予約）により地域の診療所や病院との連携を促進し、地域包括ケア病棟の活用による地域の回復期病床の需要をカバーするなど、病診・病病連携に寄与することで、地域医療の安定に寄与することができました。					北播磨医療圏における当院の役割を示す「加西市新病院建設基本計画」により、具体的な将来像を市民に提示し、引き続き病診・病病連携を推進し、地域医療の安定に貢献できるよう計画策定に努める必要があります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					基本方針	4	政策	⑫	施策	ア
備考										
平成30年度に新病院改革プランの目的・目標を見直しました。その中で、地域中核病院として地域医療支援病院を目指すことから、地域多機能型病院として地域（診療所等）との連携強化へと目標が変わり、紹介率・逆紹介率の数値目標値を変更したため、それにあわせて、数値目標を変更するものです。										

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 県、医師会、病院との連携を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・福祉企画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催							
	経費（千円）	20							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
病院・診療所数		目標		32	32	32	33	34	35
		実績	27	32	32	32	31	31	32
（指標及びR2目標値の設定理由） 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	94%	91%	
			最終年度	91%	91%	91%	89%	89%	91%
R2取組状況	新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら保健事業を実施するために、加西市医師会と保健事業検討会を行ったほか、定例事業新規事業の・実施にあたり、リモートを含め、会議を実施し、医師会からの指導を得て、安全な、事業実施ができました。 地域医療市民フォーラムは、平成30年度以降実施していませんが、令和2年度には5回にわたって「新しい加西病院を考える市民ワークショップ」を開催し、コロナ禍の中、延べ293名の市民に参加頂き、地域における加西病院の在り方や地域医療との連携などについて意見交換をしました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	91%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・地域医療市民フォーラムは平成30年度から実施できていませんが、医療介護連携相談窓口の設置等、市立加西病院や医師会との連携は進んでいます。 ・平成28年度、29年度の地域医療市民フォーラムでは、基調講演や地域医療に携わる医師や地域の医療・介護関係者等によるパネルディスカッションにより、広く市民への広報を図りました。 ・医師会からの提案も受け保健事業検討会を開催し、新規事業を適切に実施しました。				・市立加西病院の将来構想検討委員会の議論の進捗を待ちながら、地域医療市民フォーラムの今後の開催について再検討する必要があります。 ・加西市地域包括ケアシステム推進部会等の会議・研修を通じて、地域医療の推進を図ります。 ・新型コロナウイルスの関係で検討会の実施が難しくなっていますが、医師会との連携は、市の事業を実施する上でとても重要であるため、次期計画においても現在と同様、適切に調整することで連携を強化していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑫	具体的な取組	イ
備考									

政策・施策									
基本政策		5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり							
施策		18 地域医療体制の充実							
到達目標		地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。							
基本計画・主管部課									
基本計画		4 保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。							
主管部課		部名	健康福祉部			課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置							
	経費（千円）	5,692							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	－	320	110	400	0	0	0
（指標及びR2目標値の設定理由） 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%	0%	0%	
			最終年度	76%	26%	95%	0%	0%	0%
R2取組状況		・令和2年度は、保健医療福祉推進協議会、地域包括ケアシステム推進部会とも、委員には医療関係者が多く、コロナ禍で多忙なため開催していません。 ・医療介護連携相談窓口ワーキングを開催し、ワーキングの在り方等を検討しました。地域包括ケアシステム推進部会でも報告し、今後について検討する予定でしたが新型コロナウイルス感染症の影響により、地域包括ケアシステム推進部会が開催されず方向性が決定していません。継続して次年度に検討していくこととしています。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
	区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・H29年度に医療介護連携相談窓口を加西病院に設置しました。 ・地域包括ケアシステム推進部会の各ワーキングにより、多職種連携体制構築に向けての土台ができています。ワーキングの進捗状況を元に推進部会で検討し、さらに保健医療福祉推進協議会で確認、方向性を決定していくという体制が整ってきました。 ・地域医療市民フォーラムについては、市立加西病院の将来構想検討委員会の議論を待ち、平成30年度及び令和元年度は未開催となりました。				・医療・介護連携を推進するにあたり、それぞれのワーキングで検討を重ねているが事業項目のうちすべてが達成できているわけではないため引き続きワーキングで検討を重ねていく必要があります。 ・地域医療市民フォーラムの開催について再検討するとともに、包括ケアシステム推進部会等の会議・研修を通じて地域医療の推進を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑫	具体的な取組	イ
備考									
・平成30年2月から加西病院に医療介護連携相談窓口を設置したことによる増額。 ・医療フォーラム（医療・介護フォーラム）に専門講師を呼び、広く市民への広報を図る。 ・598→3,461千円 ・委託料等の変更による減額									

政策・施策										
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり									
施策	18 地域医療体制の充実									
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	5 医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知								
	経費(千円)	4,880								
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持 (指標及びR2目標値の設定理由) 医療体制確保の実績のため		目標		2	2	2	2	2	2	
		実績	1	2	2	2	2	2	2	
		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
R2取組状況	前年度と同様加西市医師会による休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	A：予定通り進行	100%		B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西市医師会が実施する休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。休日診療については、毎年1,000人を超える患者が受診しており、一定の医療体制の確保ができています。					加西市歯科医師会が実施する年末年始の休日診療については、市民に制度が浸透していない感があります。引き続き制度の普及を行うため広報を続けていきます。 次期計画においても現行通り加西市医師会が実施する休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の休日診療を実施していきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	4	施策	⑫	具体的な取組	イ
備考										

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・誘致協議							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産婦人科医院等の開設【1-4】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	0
（指標及びR2目標値の設定理由） 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、 現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させることが必要である。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	0%
R2取組状況	加西市新病院建設基本計画が策定され、その計画の中には産婦人科を設けないこととなりました。今後、政策的に産婦人科医の設置に向けて働きかけを行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延		0%		C：目標を下回っている			
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
計画時は市立加西病院に産婦人科がある状況での民間病院の誘致でしたが、市立加西病院産婦人科の休止や近隣市町のクリニック閉院により、さらに厳しい状況になりました。				全国的に産科医が不足しており、今後も厳しい状況ですが、市民が安心安全に出産できる場所の確保のため、調査を継続します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	①	具体的な取組	ウ
備考									
・事業を再検討します。									

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし									
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課、福祉企画課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・生活介護サービスの充実 ・一時相談窓口業務委託 ・協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案								
	経費（千円）	73,182								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①生活介護サービス利用者数（延月人数）	目標			1,547	1,560	1,620	1,680	1,740	1,800	
	実績		－	1,547	1,639	1,871	1,945	2,024	2,011	
（指標及びR2目標値の設定理由） 生活介護サービスの利用者数を示すもので、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	115%	116%	116%		
			最終年度	86%	91%	104%	108%	112%	112%	
②一時相談窓口に寄せられた相談者数	目標			2,235	2,300	2,370	2,440	2,510	2,580	
	実績		－	2,235	2,692	2,169	2,240	1,564	2,267	
（指標及びR2目標値の設定理由） 一時相談窓口への年間延べ相談者を指標とし、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	117%	92%	92%	62%		
			最終年度	87%	104%	84%	87%	61%	88%	
R2取組状況	・生活介護サービス利用者数は増加傾向にありましたが、令和2年度は感染症拡大を懸念した利用控えが散見され、利用者数がわずかに減少しました。 ・各地域の一時相談窓口を地域包括支援センターに一本化し、フレイル予防、介護予防、認知症相談、複雑化した家族の複合課題等に総合相談窓口として対応しました。目標値には到達していませんが、一本化したことで地域包括支援センターの専門職がより早期から支援することが可能となっています。 指標の項目として『一時相談窓口』の標記を変更する必要があると思われます。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	S：予定より早く進行	112%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	B：予定より遅延	88%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・生活介護サービスについては予定より早く進行しています。必要な方への生活サービスの利用につながっていると思います。 ・一時相談窓口について、相談件数は概ね目標達成しています。一時相談窓口の委託先の事業者の事情もあり地域の変更や事業者の変更等もありましたが、同水準での支援を提供するようにマニュアル整備等を徹底しました。 ・第3期加西市地域福祉計画の策定を進めました。					・必要な方が生活介護サービスを利用できる様に、相談窓口の周知、提供できるサービス量の確保、丁寧な相談体制等を引き続き継続実施していく必要があります。 ・一時相談窓口について、フレイル予防・介護状態の悪化予防・認知症相談・家族の課題等、高齢者を取り巻く複雑化した状況に対し、より専門的な早期の相談支援を行うため、地域包括支援センターに相談窓口を一本化します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考										
一時相談窓口はR2より、各地域の窓口から地域包括支援センターに一本化し、総合相談窓口として対応していくことになります。予算額には変更ありません。										

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・配食サービス利用助成金交付事業							
	経費（千円）	3,709							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
配食サービス配食数	目標			400	400	400	400	400	400
	実績	－		295	305	347	348	269	267
（指標及びR2目標値の設定理由） 理論上最大配食数を目標値として設定		目標数値 の達成度	単年度	74%	76%	87%	87%	67%	
			最終年度	74%	76%	87%	87%	67%	67%
R2取組状況	民間事業者が参入し、選択肢が増えました。民間事業者の参入により、土曜日や日曜日等の休日も配食可能となったことにより、利用者にとって便利になりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	67%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・社協に委託していた時期に配食数は徐々に増加し、サービスの充実を図ってきました。 ・助成事業としたことで1事業者の配食限界数もなくなり、より利便性が増したサービスとなりましたが、民間事業者の新規参入が停滞しています。				・民間事業者の新規参入を促進していく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									
H30年度、民間企業等への委託を予定していましたが、提供量と選択肢の幅を増やすために一定の条件を備えた配食事業者を登録制にし、それらからの配食に対してH31年度より助成事業として助成金を交付することとします。また、登録された事業者をネットワーク化することで助成事業に該当しない高齢者等にもより安心で安全な食事の選択の幅を拡大し、利便性を確保することにつなげます。R元年度からの指標については、助成事業となっても助成対象の条件は変更ないことから変更しないこととします。									

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス							
	経費（千円）	788							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数		目標		300	300	300	300	300	300
		実績	—	291	237	235	156	168	103
（指標及びR2目標値の設定理由） 開庁日稼働件数を目標値として設定		目標数値 の達成度	単年度	97%	79%	78%	52%	56%	
			最終年度	97%	79%	78%	52%	56%	34%
R2取組状況	・加西市社会福祉協議会に委託し、おおむね65歳以上の車イスを利用している高齢者や障がい者の方で、一般の交通機関では移動が困難な方を対象に、リフト付ワゴン車で通院や買い物等の送迎を、有償ボランティアの協力により行いました。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により外出を控える方が多く、利用者数は大きく減少した。 ・コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用件数が落ち込んだ。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	34%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・高齢者や障がい者の移動手段の確保に成果をあげています。 ・高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、この数年利用者が減少しています。				・公共交通との棲み分けが課題となっているため、関係機関と調整のうえ、総合的な移送サービス事業を検討していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									
高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、昨年は例年と比較し、大きく減少しました。しかし車両の登録年数により、自賠責保険料目づ重量税の値上げに対応するため、予算をその分増加いたします。									

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地域の介護予防リーダーを養成							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
介護予防リーダー養成数		目標		300	340	380	420	460	500
		実績	73	301	301	378	498	543	346
（指標及びR2目標値の設定理由） 前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催		目標数値 の達成度	単年度	100%	89%	99%	119%	118%	
			最終年度	60%	60%	76%	100%	109%	69%
R2取組状況	社会福祉協議会と共催により、生活支援サポーター養成講座と共通講座（2回）を設けて、年に1度全4回の講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	69%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・毎年、多くの方から応募があり、介護予防への関心が高まっていると考えられます。しかし、修了後どのような場所で活躍されているか見えにくい状況でした。				・より質を高くするため、専門講師を招いていきます。今後、どのような場所で活躍されているかの確認や、活躍の場を検討していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									
毎年、多くの方から応募があり、介護予防への関心が高まっていると考えられます。このことから、例年市職員等により養成講座を実施していましたが、より質を高くするため、専門講師を招く予算を確保します。									

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし									
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	5 ★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★連携カフェ年間開催数[5-81]		目標		－	2	4	8	16	16	
		実績	－	－	0	2	2	5	2	
（指標及びR2目標値の設定理由） 大学生や子育て中の母親と連携したカフェをH32に16回開催を目指します。		目標数値の達成度	単年度	-	0%	50%	25%	31%		
			最終年度	-	0%	13%	13%	31%	13%	
R2取組状況	登録カフェ数は1件増え8か所になりました（うち2か所は合同開催）。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、緊急事態宣言時、飲食を伴う通いの場の自粛要請があったため、年間を通して活動を休止するカフェが多くありました。1度でも活動をされたカフェは3か所（うち2か所は合同開催）で、多世代の参加があるのは2か所（合同開催）でした。コロナ禍では活動が難しい事業でしたが、新規開設カフェの立ち上げを支援することができました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	13%	D：目標を大きく下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
カフェ登録数は7か所ですが、1か所は休止しており、2か所は合同実施しています。カフェ連絡会を実施し、当事者だけではなく若年層から高齢者まで幅広く集うユニバーサルな場としての開催を促し、少しずつではあるが増えている状況です。					大学との連携については実施することができませんでしたが、若年層や子育て世代の方の参加を促すことができているため、今後も地域の力を引き出しながら発展を試みていきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	4	施策	⑩	具体的な取組	イ
備考										
・実施計画中、「経費」・・・R元 300→40、R2 300→45 に変更します。 ・加西市認知症カフェ運営助成金としてR元 40→240 R2 45→240に変更します。										

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★あったか声かけ作戦を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施							
	経費（千円）	330							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
あったか声かけ作戦の実施地区数		目標		8	11	11	11	11	11
		実績	－	10	11	11	11	9	11
（指標及びR2目標値の設定理由） 全校区においてあったか声かけ作戦を実施		目標数値 の達成度	単年度	125%	100%	100%	100%	82%	
			最終年度	91%	100%	100%	100%	82%	100%
R2取組状況	全ての地区で講座を実施することができました。地区役員の参加が主なところもありますが、広く住民に認知症の理解を深めてもらう必要であると理解され、小規模な地域での実施に繋がったところもあります。 参加者のアンケートでは、市の高齢化の現状や認知症の正しい知識を初めて知ったという意見もあり、継続実施の必要性が窺われました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
令和元年度はコロナウイルス感染症の影響により目標が達成できませんでしたが、地域での実施が定着しつつあると考えられます。				引き続き繰り返し実施することで地域での認知症の理解を深め、すべての高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる町づくりを目指します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	4	施策	⑩	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	20 防犯・防災のまちづくり									
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 災害時要援護者の登録推進を図ります。									
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定								
	経費（千円）	360								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
災害時要援護者台帳登載率（％）		目標		61.5	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0	
		実績	－	61.5	61.1	54.7	54.8	54.8	56.3	
（指標及びR2目標値の設定理由） 支援希望の有無について回答のない方198名のうち 2/3を台帳に搭載すると想定		目標数値 の達成度	単年度	100%	97%	85%	84%	83%		
			最終年度	92%	91%	82%	82%	82%	84%	
R2取組状況	昨年度に引き続き社会福祉協議会に事務の一部を委託し、共同で事業を実施した。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	84%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
災害時要援護者台帳を作成し、自治会、民生委員、社会福祉協議会及び消防署に配布したが、災害時要援護者台帳に登載の無い潜在要援護者には対応出来ていない。					引き続き、民生委員への説明会を開催し、潜在要援護者に対しての理解を深めていただき、台帳登載率の向上を目指す。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	8	施策	②	具体的な取組	ア
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	20 防犯・防災のまちづくり									
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。									
主管部課	部名	総務部				課名	危機管理課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練								
	経費（千円）	2,700								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①★防災訓練・研修年間開催数【5-89】	目標			35	44	53	62	71	71	
	実績		－	34	37	30	27	57	32	
	目標数値の達成度 (指標及びR2目標値の設定理由) 自主防災組織が2年に1度は訓練実施するように設定	単年度		97%	84%	57%	44%	80%		
		最終年度		48%	52%	42%	38%	80%	45%	
②★資器材補助団体数	目標			10	12	14	16	18	20	
	実績		－	26	51	41	52	55	43	
	目標数値の達成度 (指標及びR2目標値の設定理由) 資器材補助団体数の倍増	単年度		260%	425%	293%	325%	306%		
		最終年度		130%	255%	205%	260%	275%	215%	
R2取組状況	新入団訓練を重点的に実施し、新型コロナウイルスの状況を考慮して中断訓練を実施した。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	45%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	S：予定より早く進行	215%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
年を追うごとに、防災訓練を実施する自治会が増えては来ているが、自治会全体に占める割合はまだ少ない。					防災訓練を実施する自治会を過半数まで引き上げるため積極的に広報を行ってきたい。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	8	施策	②	具体的な取組	イ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置							
	経費（千円）	1,167							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
LED防犯灯設置数		目標		3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,400
		実績	－	3,776	3,915	4,013	4,072	4,157	4,484
（指標及びR2目標値の設定理由） 通学路のLED防犯灯を増設して児童の安全を図るために各中学校区に100灯程度を目標に設置		目標数値の達成度	単年度	102%	103%	103%	102%	101%	
			最終年度	90%	89%	91%	93%	94%	102%
R2取組状況	自治会申請、通学路設置を含めて326灯を設置しました。 また、既設置防犯灯においても不具合が生じ、24灯を取替えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	102%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
令和2年度からは、各小学校区へLED防犯灯の設置申請を依頼したため、設置数が増加。各自治会からの申請に対してほぼ申請通りの防犯灯の設置ができた。				令和3年度も引き続き各小学校区へLED防犯灯の設置申請を依頼するため、設置数が増加する見込みです。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	8	施策	②③	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
年間のパトロール実施回数		目標		190	190	190	190	190	190
		実績	－	190	190	190	190	190	190
（指標及びR2目標値の設定理由） 毎日計画的に青色防犯パトロールを実施します。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	通学路等を中心に毎日計画的にパトロールを実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
小・中学生に対するの登下校時の見守り活動及び事件・事故発生箇所、危険箇所に対するの防犯パトロールの実施。				近年設置箇所数を増やしている防犯カメラにおけるデータ回収業務も追加し、全般的な市内の安全安心に対する活動の向上を図る。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	8	施策	②③	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
高齢者における人身事故加害者率（%） 【減少指標】	目標		0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
	実績	0.49	0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
（指標及びR2目標値の設定理由） 高齢者の運転免許保持者が人身事故を起こす割合を現在の水準より上げない		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	98%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	加西警察による高齢者に対する交通安全教室を実施し高齢者の人身事故の防止に努めた。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
政府等様々な広報により若干は返納数は増えている。				ブレーキ踏み間違い装置設置に対して県からの補助ができたため、免許証返納数の低下が懸念される。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	8	施策	②③	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	－	5	3	2	2	3	21
（指標及びR2目標値の設定理由） 危険空き家の増加を抑制する。		目標数値 の達成度	単年度	100%	60%	40%	40%	60%	
			最終年度	100%	60%	40%	40%	60%	420%
R2取組状況	延べ21件の指導を行い、その内2件が所有者により解体、5件の適正管理となります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	420%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市内には、多数の老朽危険空き家が存在し、市への相談件数が増加。適正管理指導書を送り管理を促す。				老朽危険空き家の中でも緊急性が高い物件については、積極的に所有者に対して助言を行っていきたい。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	8	施策	②	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・必要とする自治会(県の補助を受けたことを前提)に設置補助							
	経費(千円)	3,311							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
防犯カメラ設置台数		目標		7	15	20	30	40	50
		実績	－	8	22	44	61	81	101
(指標及びR2目標値の設定理由) 主要な交差点20カ所 30団体の設置を支援		目標数値 の達成度	単年度	114%	147%	220%	203%	203%	
			最終年度	16%	44%	88%	122%	162%	202%
R2取組状況	市設置防犯カメラ11基(危機管理課7基・産業振興課4基)、自治会設置防犯カメラ9基を設置しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S: 予定より早く進行	202%	A: 目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
警察と協議を行った個所を重点的に設置しています。				自治会設置の防犯カメラについて、県への申請の助言等に時間を要しているため、スムーズな運用となるよう改善を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	8	施策	②③	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施							
	経費（千円）	33,325							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4	4	4	4
（指標及びR2目標値の設定理由） 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値 の達成度	単年度	100%	83%	67%	67%	80%	
			最終年度	100%	100%	80%	80%	80%	80%
R2取組状況	公立の子育て広場（「ほくぶキッズ」、「ぜんぼうキッズ」）の2施設、私立の子育てひろば（「いちごクラブ」、「愛の光キッズ」）の2施設ともに、新型コロナウイルス感染症防止対策により、ひろばの開催中止、または制限のある中での開催となったため、利用者の大幅な減少が予想された。しかし、4施設の平均からみると、一日平均利用人数（親子）前年度17人、今年度13人となり、未就園児親子の子育てひろばのニーズは高い状況が確認できる。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	80%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
低年齢から保育所に入所する児童が増えており、ひろば来園者は減少傾向にあります。新たな施設をさらに増やすよりも、既存施設の集約や活用を図ることが課題となっています。				利用機会の増加と事業充実を図るには今後の児童館構想も含めて検討が必要と考えています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	③	具体的な取組	ア
備考									
低年齢から保育所に入所する児童が増えており、ひろば来園者は減少傾向にあります。新たな施設をさらに増やすよりも、既存施設の集約や活用を図ることが課題となっています。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・妊婦健診費用の助成 ・産婦健康診査費用の助成 ・新生児聴覚検査等の費用助成 ・乳幼児発達相談・健診の実施 ・視覚検査スクリーニング機器の導入							
	経費（千円）	24,971							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】		目標		3,664	3,682	3,699	3,716	3,750	3,750
		実績	－	3,493	3,620	3,183	2,971	2,867	2,092
（指標及びR2目標値の設定理由） 妊婦数及び妊娠期の健康管理の状況を示すもので、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	95%	98%	86%	80%	76%	
			最終年度	93%	97%	85%	79%	76%	56%
R2取組状況	R2年度も引き続き妊婦健診に加え、産婦健診、新生児聴覚検査の費用について助成券を発行し、必要な健診や検査を受けるよう勧奨しました。新型コロナウイルスの影響もあり、母子手帳発行数が大幅に減少し、健診受診数も減少しましたが、必要な健診を受けることができ、周産期を安全に、安心して過ごしていただくことができました。 また、3歳児健診では従来の視覚検査に加え、視覚検査スクリーニング機器を導入したことで、必要な方が早期に治療につながっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	56%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
妊婦健診の費用助成に加え、平成30年度より産婦健診、新生児聴覚検査費用を助成し、必要な健診や検査の受診ができるよう体制整備を行いました。また、3歳児健診へ視覚検査スクリーニング機器を導入し、視覚異常の早期発見、早期治療につながるよう健康診査の充実を図ることができました。				妊娠期、子育て期を安心して過ごし、子育てができるよう適切な時期に健康診査が受診できる体制を整備します。また、必要な方が相談や支援を受けられるよう、相談機能の充実を図り、乳幼児の心身のすこやかな発達を促進する支援体制を整備します。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	1	施策	①	具体的な取組	イ
備考									
包括支援センター・産前産後サポート事業等の開始により実施体制が変更してきているため、取り組み内容を変更しています。 （基本政策3施策2基本計画 1 1と組み替えました）									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化 ・療育事業の充実							
	経費（千円）	25,000							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4	4	4	4
（指標及びR2目標値の設定理由） 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値 の達成度	単年度	100%	83%	67%	67%	80%	
			最終年度	100%	100%	80%	80%	80%	80%
R2取組状況	健診（健康課）から、療育（むぎっこ等）につながったことで、就園指導会議において加配配置、受け入れ体制の整備を協議し、就園後のより適切な支援を提供することができています。 ベアトレ事業において、子どもの発達に不安をもつ保護者だけでなく、園の担当保育教諭の参加を依頼、実践したことにより、保護者の子育てに対する意欲向上につながっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	80%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
研修の積み重ねにより、各担当、コーディネーター同士の情報共有がスムーズに行われるようになってきました。				個の特性に応じた支援内容は一律ではないため、職員の研修、専門知識と実践力を高める努力の継続が必要です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	③	具体的な取組	イ
備考									
療育を必要とする児童、家庭が年々増加する傾向にあります。医師等の専門的見地から助言を行い、療育事業を充実させます。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・相談窓口啓発カードの作成・配布 ・相談体制整備、充実 ・要保護児童対策地域協議会の充実							
	経費（千円）	3,881							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
相談窓口啓発カードの配布枚数		目標		350	400	500	600	700	800
		実績	29	350	360	1270	1751	1,721	1,733
（指標及びR2目標値の設定理由） 相談窓口の周知は早期発見・対応に不可欠であり、配布枚数は啓発の進捗状況を示す。		目標数値の達成度	単年度	100%	90%	254%	292%	246%	
			最終年度	44%	45%	159%	219%	215%	217%
R2取組状況		・相談窓口啓発カードをより気軽に手に取れる内容に改訂。全ての新生児のいる家庭への訪問時や民生委員研修等で配布しました。児童虐待防止強化月間に粗品と共に配布し、普及啓発を図りました。 ・児童虐待について、学校園や関係機関の研修会やケース会議で協力連携を依頼し、意識啓発を図りました。 ・令和2年度児童に対する必要な支援を総合的に行う子ども家庭総合支援拠点を整備しましたが、必要な専門職が確保出来ていません。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	217%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
児童虐待の早期発見、未然防止のための市民への普及啓発や関係機関との協力連携体制は年々充実してきており、情報提供件数が年々増えています。情報提供により家庭への早期介入が可能となり、児童虐待の重度化の防止につながっています。				家庭からの相談に応じる相談員の欠員が続いており、十分な支援体制が整備できていません。今後は児童福祉法に定める子ども家庭総合支援拠点の設置を目指し、国の財政支援を受ける予定です。他市では正規職員の配置が進んでおり、本市でも検討が必要です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	③	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 学校との連携を強化し、学童保育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・九会学童保育園専用棟の整備 ・下里学童保育園の分園							
	経費（千円）	1,368							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★学童保育受入率（％）【1-23】		目標		100	100	100	100	100	100
		実績	82.9	100	97	81	93	93	94
(指標及びR2目標値の設定理由) 11校区で運営し受入枠を拡充		目標数値 の達成度	単年度	100%	97%	81%	93%	93%	
			最終年度	100%	97%	81%	93%	93%	94%
R2取組状況	・九会学童保育園専用棟の整備は工期の遅れにより令和3年6月末完成予定。 ・西在田学童保育園トイレ改修についてはR3年度施工予定。 ・下里学童の分園により、下里学童の待機児童が解消された。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	94%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・定員超過の学童保育園について、専用棟の整備によって教室を確保します。				・継続して指導員の確保、育成を進めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	②	具体的な取組	ア
備考									
九会学童保育園においては、待機児童が発生しているため、小学校敷地内に専用棟を建設します。 旧幼稚園舎を活用している施設については、小学生の使用に適したトイレに改修します。 下里学童保育園においては、ベルデ下里分譲の影響を受け、児童数が増えているため、小学校の余裕教室を活用し分園します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	6 認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・（仮称）北条こども園の整備								
	経費（千円）	181,294								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★認定こども園の普及（園）【1-22】		目標		5	5	6	7	7	7	
		実績	—	5	5	6	7	7	10	
（指標及びR2目標値の設定理由） H29年に1ヶ所、H30年に1ヶ所認定こども園を開設		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	71%	71%	86%	100%	100%	143%	
R2取組状況	幼保連携型認定こども園北条こども園の整備完了									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	S：予定より早く進行	143%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・待機児童の多い0～2歳児の定員拡大について、「泉よつばこども園」では、整備前の52人から完成後の81人、「こども園とみた」では、整備前24人から50人へとそれぞれ定員拡大を図り、低年齢児の受入を促進できるよう講じました。					令和2年度より、認定こども園の民営化を進め、加西市幼児教育・保育の持続可能な発展と充実を図ります。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	1	施策	③	具体的な取組	イ
備考										
北条保育園の認定こども園化に伴い、整備補助を行います。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部	課名	こども未来課 人口増政策課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討							
	経費（千円）	—							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】	目標		—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳
	実績		—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	3・4・5歳	3・4・5歳
(指標及びR2目標値の設定理由) 4・5歳児保護者の負担軽減を維持する		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】	目標		—	—	900	1,300	1,300	1,300	
	実績		—	—	—	—	—	—	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て応援券制度対象者の増加を図る		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	—	—
			最終年度	—	—	—	—	—	
R2取組状況	・令和元年10月から国の施策により、3～5歳児の保育料が無償化となりました。3～5歳児の実費徴収となる給食費の無償化を令和2年度も実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
②	①未着手	—	—						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
国の無償化制度は、3～5歳児の保育料の中から給食費（副食費）を取り出し、給食費以外の部分を無償化とするもので、給食費は改めて保護者から実費徴収することとなりました。そのため、加西市においては、給食費も含めた完全無償化を令和元年10月から実施し、保護者の負担軽減を更に推し進めました。				子育て支援に係る市の大きな方針である保育料の無料化が令和元年10月から国の制度で3～5歳児の保育料が無料となったことに合わせて、今後は更なる子育て支援として子育て応援券制度の必要性の有無について検討します。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	1	施策	②	具体的な 取組	ア
備考									
副食費の無償化に伴う経費（公立園在籍児分）は予算要求とならないため計上していません。 国の保育料無償化に伴い、これまで市単独で無償化を実施していた4、5歳児保育料部分の経費を副食費無償化に充てます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	8 子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・病児保育の実施								
	経費（千円）	13,850								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】		目標		300	400	400	400	500	500	
		実績	－	411	475	623	431	564	198	
(指標及びR2目標値の設定理由) H27年の実績を基に目標を設定する		目標数値 の達成度	単年度	137%	119%	156%	108%	113%		
			最終年度	82%	95%	125%	86%	113%	40%	
R2取組状況	病児・病後児保育事業に関する保護者への周知を継続的に実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止ため、例年のように保護者が集うこども園の行事に出向くことはできなかったが、利用案内の配布等を実施した。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	40%		B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
事業周知も進み、利用実績は順調に推移しています。					継続してPRを行うことにより、利用促進を図ります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	③	具体的な 取組	イ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	こども未来課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知							
	経費（千円）	3,851							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★ファミリーサポートセンター協会員数【1-21】		目標		60	61	62	63	65	65
		実績	29	60	61	57	63	65	62
（指標及びR2目標値の設定理由） 協会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。 現状より会員増（約1人／年）を設定。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	92%	100%	100%	
			最終年度	92%	94%	88%	97%	100%	95%
R2取組状況	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらではあったが、普及啓発活動や会員同士の交流の場を設けた。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	95%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
ファミリーサポートクラブ活動の充実を図り、現在は利用者の要望にほぼ対応できる体制になっており、実働できる提供会員が徐々に増えています。				ファミリーサポートクラブ活動の充実や普及啓発を続け、子育て支援活動の充実を図ります。また安心してサポートできるよう、提供会員の研修の充実を図る必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	1	施策	②	具体的な取組	ア
備考									
R2.4から教育委員会こども未来課へ移管予定。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 中学３年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・中学３年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施 ・支給制限（所得制限）を廃止							
	経費（千円）	133,404							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★中学３年生までの医療受診件数【1-18】		目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
		実績	－	81,456	84,042	83,119	78,825	77,566	61,102
（指標及びR2目標値の設定理由） 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	100%	94%	92%	
			最終年度	96%	99%	98%	93%	91%	72%
R2取組状況	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大しました。 また、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内をしました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	72%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
中学３年生までの医療費自己負担無料化について、支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大したことにより、子育て世帯の負担軽減、子どもの疾病の早期治療を促進し、安心して子どもを生み育てられる環境づくりにつながりました。				R3年度からは、対象を18歳までの子どもに拡大し、医療費自己負担無料化を支給制限（所得制限）無く継続して実施します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	②	具体的な取組	イ
備考									
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、現行の支給制限（所得制限）を廃止し、医療費助成を拡大する。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続 ・すくすく相談窓口 ・プレママ・パパママ教室 ・産前産後サポート事業							
	経費（千円）	10,274							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★産後ケア事業の利用率（%）【1-3】		目標		－	3.0	6.0	8.0	10.0	10.0
		実績	－	－	16.7	9.3	9.4	30.0	34.3
（指標及びR2目標値の設定理由） 事業についての周知が広がることで利用者が増加することを見込む		目標数値 の達成度	単年度	-	557%	155%	118%	300%	
			最終年度	-	167%	93%	94%	300%	343%
R2取組状況	産後ケアについては、R2年度からアウトリーチ（訪問）型についても導入しました。 また、R2.6月からは、利用対象を産後4か月未満から産後1年未満に改正し、必要な方が申請され、産後の心身のケアを受け、安心して子育てできるよう支援ができました。 また、産後の育児支援として産前産後サポート事業である「おやこで体操」を生後2～6か月児、7か月～1歳児までの児と母親を対象にクラスを分けて開催しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	343%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成28年度より産後ケア事業、産後の支援が得られにくい方へ日帰り型や、宿泊型での支援をにより、育児不安の軽減を図る支援支援体制を整備することができました。また、平成29年度より乳房ケア事業を導入し、産後の育児上の相談機能の充実を図ることができました。令和元元年度より、産前サポート事業を委託実施し、育児中の母子の交流の促進と相談支援の充実を図る体制整備を行いました。				産後の支援を十分に得られない産婦への支援である産後ケアについて、実施機関へ出向くこと自体が負担になる方もおられ、訪問型を新設し事業実施していく必要があります。必要な支援を受けられる体制は必要ですが、産後ケア利用率が向上することは、育児支援の得られない産婦の増加を意味するため、目標設定の見直しが必要です。また、複雑多岐な問題を抱える妊産婦が増加傾向にあるため、関係機関との調整を図り、育児負担の軽減、相談体制の充実を図ることが必要です。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	1	施策	①	具体的な取組	イ
備考									
産後ケア事業の委託先の拡充と、訪問によるアウトリーチによる支援を導入し支援の拡大を図る。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	12 ★ひとり親家庭の支援を行います。									
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備								
	経費(千円)	56,887								
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】		目標		-	-	-	-	1	1	
		実績	-	-	-	-	-	0	0	
(指標及びR2目標値の設定理由) ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	0%		
			最終年度	-	-	-	-	0%	0%	
R2取組状況	・現行事業を適正に実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響によるひとり親世帯の負担軽減のため、児童扶養手当受給世帯への緊急支援金(市事業)、ひとり親世帯臨時特別給付金(国事業)を給付しました。 ・母子父子自立支援員を採用し、相談体制の整備を行いました。 ・ひとり親世帯高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の令和３年度からの事業化を検討しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
児童扶養手当の支給、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業等の事業の実施やひとり親世帯の相談、関係諸制度の紹介等を通じて、ひとり親世帯の支援を行いました。					ひとり親世帯のニーズ調査では金銭的な補助への要望が高い為、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」等の支援策を整備します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	②	具体的な取組	ウ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	13 ★子育て応援企業の支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・セミナーの実施							
	経費（千円）	50							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】		目標		-	-	30	30	30	30
		実績	-	-	-	81	28	30	30
（指標及びR2目標値の設定理由） 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	-	270%	93%	100%	
			最終年度	-	-	270%	93%	100%	100%
R2取組状況	労務管理・雇用対策として、社会保険労務士による多様な働き方と処遇改善セミナーを開催した。 社会保険労務士による個別相談を実施した。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
	区分	最終(R2)							
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
数字的には達成できているが、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援として、くるみん認定制度、えるぼし認定制度等の認定制度がまだ浸透していない。				継続的な普及啓発活動が必要。 国による推進が大きくなうねりとなることが大きく、一都市では解決難度が高い。 自治体や公的機関が先導して、働き方改革を進めることが、市内企業においても意識の啓発となり効果的と考える。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	②	具体的な取組	工
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	14 ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。									
主管部課	部名	健康福祉部				課名	地域福祉課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定 ・民間施設への協力依頼及び指定								
	経費（千円）	25								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】		目標		-	5	7	10	13	15	
		実績	-	-	0	0	10	11	14	
(指標及びR2目標値の設定理由) 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。		目標数値 の達成度	単年度	-	0%	0%	100%	85%		
			最終年度	-	0%	0%	67%	73%	93%	
R2取組状況	市内の公共施設、民間施設の3施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	93%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市内の公共施設、民間施設の14施設を「赤ちゃんの駅」として指定しました。					市内の民間施設へ協力依頼と指定を推進します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	③	具体的な 取組	イ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	15 ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・誘致協議							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★屋内遊具施設の誘致【1-10】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—	—	0	0
（指標及びR2目標値の設定理由） 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	—	—	0%	
			最終年度	—	—	—	—	0%	0%
R2取組状況	アスティアかさいの２階空き店舗を活用して、屋内型遊戯施設＆テレワークセンター整備のための実施設計を行いました。令和３年度整備に向けて、着実に事業を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
未来型児童館の建設とともに課題となっていたが、市内商業施設内の空き店舗に屋内遊具施設を設置する道筋は示すことができました。				こども広場事業として、令和２年度に実施設計を行い、令和３年度に施工工事、令和４年度オープンに向けて準備を進めています。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	③	具体的な取組	ウ
備考									
・事業を再検討します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	16 ★空き家を活用した子育て支援を行います。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	こども未来課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】		目標		－	－	－	－	1	1	
		実績	－	－	－	－	－	－	－	
（指標及びR2目標値の設定理由） 必要が生じた時点で目標年度を設定する		目標数値 の達成度	単年度	－	－	－	－	－	－	
			最終年度	－	－	－	－	－	－	
R2取組状況	空き家に限定せず、子育て施設の活用を図るため、保育事業者を広く公募し、小規模保育事業所の活用を図った。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	単年(R元)	最終(R2)						
	①未着手	－	－	－	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
特になし					次期計画より、民間施設を活用した子育て支援施設の整備を施策として、小規模保育事業や一時預かり施設として民間施設等を活用し、子育て支援の場として整備する。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	1	施策	③	具体的な取組	イ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	17 ★子育て情報の発信に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・イーナカさいによる子育て情報の発信							
	経費（千円）	—							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★「子育てNAV I」1日平均閲覧数【1-14】		目標		60	60	100	150	300	300
		実績	—	50	273	1,397	466	1,062	1,825
(指標及びR2目標値の設定理由) 登録数により5倍増を設定		目標数値 の達成度	単年度	83%	455%	1397%	311%	354%	
			最終年度	17%	91%	466%	155%	354%	608%
R2取組状況	イーナカサイアプリの利用者は、コロナ禍でのイベント変更のお知らせや警報による休園のお知らせ等、急な変更でもプッシュ通知で確認できたので良かったと、活用されている様子が伺えた。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	608%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
「イーナカサイ」は、電子メールの配信ではなく、メールを起動しなくても、スマートフォンの画面にメッセージが自動表示できるシステムで、利用者の使い勝手もよく、登録者が当初の見込みよりも大きく伸びました。				加西市総合支援アプリの「子育て」カテゴリへの移行に伴い、指標を変更します。 今後も子育て世代のニーズにマッチした情報提供の充実に努めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	1	施策	②	具体的な取組	ア
備考									
R2年からの数値実績は、スマートフォン用加西市情報アプリ「イーナカサイ」における子育て情報の通知設定者数									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	18 ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第３子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免								
	経費（千円）	11,101								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】		目標		560	590	620	650	700	700	
		実績	－	630	624	615	612	634	620	
（指標及びR2目標値の設定理由） 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。		目標数値の達成度	単年度	113%	106%	99%	94%	91%		
			最終年度	90%	89%	88%	87%	91%	89%	
R2取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第３子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	89%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第３子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。					対象者数については平成27年度からほぼ横ばいとなっていますが、加西市が実施している子育て支援策の一つとして重要な施策のため、継続して取り組む必要があります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	②	具体的な取組	ウ
備考										
減免対象者の減少によりH31年度の経費を減額しました。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり									
施策	21 安心できる子育て支援									
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	19 ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人口増政策課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・乳幼児保護者世帯（３歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯）や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給								
	経費（千円）	951								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★ごみ袋年間支給枚数（万枚）【1-16】		目標		12	12.5	13	13.5	15	15	
		実績	－	10	11.2	8.9	9.6	10.2	7.2	
（指標及びR2目標値の設定理由） 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を２割増加させる。		目標数値の達成度	単年度	83%	90%	68%	71%	68%		
			最終年度	67%	75%	59%	64%	68%	48%	
R2取組状況	令和元年度に制度の見直しを行い、令和２年度からは生活困窮者対策としての側面があった児童扶養手当受給世帯に対する指定ごみ袋の支給を廃止しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	48%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
令和元年度に制度の見直しを行い、令和２年度からは生活困窮者対策としての側面があった児童扶養手当受給世帯に対する指定ごみ袋の支給を廃止しました。					現在の市指定ごみ袋の配布対象者は、乳幼児保護者世帯と障がい者（児）、要介護（支援）認定者のうち在宅で紙おむつ等を使用している者のいずれかの要件を満たす必要がありますが、今後の利用者数やごみ袋の販売金額の状況を踏まえながら、制度の見直しを行います。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	1	施策	②	具体的な取組	ウ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民参加による地域の里山整備を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部	課名	農林整備課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理							
	経費（千円）	1,500							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
里山整備箇所数（毎年）		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	0	8	9	10	9	10	15
（指標及びR2目標値の設定理由） 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定		目標数値 の達成度	単年度	80%	90%	100%	90%	100%	
			最終年度	80%	90%	100%	90%	100%	150%
R2取組状況	集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、15団体に対し補助金を交付しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	150%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
意欲ある団体により、里山整備ができました。				里山整備と里山を活用した地域づくりを推進し、農山村の活性化と山の防災を図る必要があります。今後も推進して行きますが次期計画の個別計画としての位置付けは行いません。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	5	施策	⑮	具体的な 取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農林整備課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・企業による森づくり活動							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
企業の森面積（ha）		目標		4	8	8	8	8	8
		実績	0	0	8	8	8	8	8
（指標及びR2目標値の設定理由） 市内の活動フィールド候補地面積		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	0%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	協賛企業誘致活動を行いました、誘致できませんでした。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
企業誘致を行ってきたが、取り組み企業が限られており、同一市での複数回活動が困難でした。				取り組み企業が限られており事業効果がでません。里山整備は地域主体へ重点を置きR2では事業規模を1.5倍にしていることから、本事業は完了とします。					
今後の方針				対応箇所					
①完了				政策		施策		具体的な取組	
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・動植物生態調査実施 ・普及啓発事業（人と自然の博物館へのバスツアー）							
	経費（千円）	1,103							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数（親子向けに夏休み等を実施している環境を学ぶバスツアー）		目標		108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)
		実績	－	108(2回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	54(1回)	0(0回)
（指標及びR2目標値の設定理由） ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。 目標値は参加可能人数としています（マイクロバス2台分）。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	200%	100%	100%	100%	100%	0%
R2取組状況	・動植物の生態調査は、加西の重要な生態系48に記載されている地点など計51地点の概要調査と1地点の詳細調査（普光寺）を実施しました。 ・普及啓発事業（人と自然の博物館へのバスツアー）は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
環境ツアーは毎年好評であり事業効果は高かったと思われます。また、市内の動植物生態調査は、これまで網引湿原を中心に実施してきたが、R元年度には周遍寺周辺地区（野生生物保護地区に指定されている）の調査を実施することができました。				R元年度調査した周遍寺周辺地区の希少生物を具体的にどのように保護するか検討が必要です。また、本市には、あびき湿原・周遍寺地区以外にも多くの希少な動植物が存在します。今後、計画的に市内の動植物生態調査を実施する必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	イ
備考									
環境PRパンフレッド作成は在庫があるため、削減しました。しかし、R2年度より市内の希少動植物の実地調査に取組むため、増となっています。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	７ 自然環境の保全と特色ある景観づくり									
施策	22 自然と共生する里地里山づくり									
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	４ 老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。									
主管部課	部名	地域振興部			課名	農林整備課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・県営ため池改修 6池改修事業実施								
	経費（千円）	32,372								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
ため池改修箇所数（件）		目標		1	4	8	11	13	15	
		実績	－	1	2	8	11	13	13	
（指標及びR2目標値の設定理由） 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。		目標数値 の達成度	単年度	100%	50%	100%	100%	100%		
			最終年度	7%	13%	53%	73%	87%	87%	
R2取組状況	事業完了（田谷町）３池、事業実施（三口町、坂本町、西笠原町、下若井町、東高室）６池、調査設計完了（東高室、国正）４池									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	87%		C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
安全安心な住環境整備のため計画的に実施しています。					ため池の老朽化が進行し、改修箇所数が増加しているため、事業費の確保と人員増強の必要性が生じています。次期計画においても計画的に実施して行きます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	5	施策	⑮	具体的な取組	ウ
備考										
県営ため池事業費の経費、改修工事スケジュールについて、県計画に基づき変更										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業							
	経費（千円）	32,350							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
有害鳥獣年間被害額（千円） 【減少指標】		目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
		実績	27,284	18,963	17,819	13,587	17,561	11,841	9,473
（指標及びR2目標値の設定理由） 農業被害額を５年間で２割削減を目指す。		目標数値 の達成度	単年度	124%	126%	141%	120%	144%	
			最終年度	105%	111%	132%	112%	141%	153%
R2取組状況	金網柵を新規に１２地区6,371m設置。 有害鳥獣駆除実績 シカ５８頭、イノシシ１５８頭。 シカ緊急捕獲事業実績 シカ ２３９頭。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	153%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
加西市の南部地域を中心に、金網柵を新規に設置するとともに、兵庫県猟友会加西支部の協力のもと、シカ個体群管理事業、有害鳥獣駆除専任班委託業務などによりシカ、イノシシの駆除活動を行い被害軽減に努めた。				新たに被害が発生している南部地域を中心に、金網柵を新規設置するとともに、既に設置済みの金網柵のうち耐用年数が経過し損傷があるものについては、適時更新を行う。 また、兵庫県猟友会加西支部に有害鳥獣駆除を委託し、個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努める。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	5	施策	⑮	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	７ 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	２２ 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	６ 耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・耕作放棄地調査の実施 ・農地中間管理事業 ・農業委員会耕作放棄地解消活動							
	経費（千円）	０							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
耕作放棄地面積（ha） 【減少指標】		目標		10	10	9	9	8	8
		実績	16	11	11	7	8	12	8
（指標及びR2目標値の設定理由） 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。		目標数値 の達成度	単年度	90%	90%	122%	111%	50%	
			最終年度	63%	63%	113%	100%	50%	100%
R2取組状況	放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織、認定農業者等への農地の集積を図りました。 また、中山間直接支払制度を新たに１０地区が取組み、耕作放棄地の発生防止等を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
集落営農組織化、新規就農者の参入を進め、認定農業者等への農地の集積を図りましたが、耕作放棄地は解消できていません。				人・農地プランの作成により、耕作放棄地の解消を目指します。引き続き、集落営農組織、認定農業者等担い手への集積を図ります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	５	施策	⑮	具体的な取組	ウ
備考									
農地利用円滑化団体事業から農地中間管理事業へ移行となったものです。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり									
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり									
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	1 市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・古い観光パンフレットの情報更新								
	経費（千円）	1,000								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
観光関連パンフレット、ガイドブック作成数		目標		5	6	7	8	9	10	
		実績	－	5	6	7	15	15	16	
（指標及びR2目標値の設定理由） 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	188%	167%		
			最終年度	50%	60%	70%	150%	150%	160%	
R2取組状況	カサブランカ（かさいブランドカ）、かさい四季彩マップ、加西北条ぶらぶらMAP、カサイチサイクリングマップを最新情報に更新して増刷しました。新たに加西市全体地図に観光地を記した加西市観光MAPを製作しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	160%	S：目標を大きく上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
観光ガイドブックを刷新し、発行しました。 近隣3市1町で構成する定住自立圏の活動による広域の観光ガイドを発行しました。 サイクリングマップを作成しました。					加西市内での消費につなげる観光誘導ができるようなパンフレットを作成します。 加西市の観光の主流となる体験型の観光パンフレットを作成します。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	7	施策	⑱	具体的な取組	イ
備考										
R2取組内容変更。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記講座							
	経費(千円)	5,466							
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
フォトコンテストへの出品数		目標		190	200	210	220	230	240
		実績	－	190	173	104	459	1,322	1,662
(指標及びR2目標値の設定理由) 加西市の良さを発見してもらうフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	87%	50%	209%	575%	
			最終年度	79%	72%	43%	191%	551%	693%
R2取組状況	ふるさと加西フォトコンテストを年間を3期間に分けて実施しました。各期間の入賞作品を掲載した「ふさと加西フォトカレンダー」を製作して800部を配布、販売しました。 加西市こども狂言塾は野村萬斎氏率いる万作の会の指導により新作狂言「根日女」を習得し、7月19日に加西市役所前特設舞台にて「希望と祈りを込めて～加西市から世界へ～」で熱演しました。 播磨国風土記講座は、令和元年度からの延期分1回と令和2年度講座「『鴨族』をさかのぼる」3回を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	693%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
風土記1300年祭以後、加西能を毎年開催し、好評を得ています。 加西市こども狂言塾生は、野村萬斎さん等著名人から指導を受け、いい刺激になっています。 フォトコンテスト入賞作品を活かし、加西の魅力を発信し、イメージ向上につなげています。また、手軽に参加できるようInstagram部門を新たに設けました。				塾生を継続して確保していきます。 フォトコンテストのプリント部門の応募作品を増やします。 風土記を活かした観光まちづくりをすすめます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	7	施策	⑱	具体的な取組	イ
備考									
R2取組内容変更。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり									
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり									
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	3 広告物の表示については、景観との調和に努めます。									
主管部課	部名	都市整備部				課名	都市計画課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導								
	経費（千円）	5,516								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
屋外広告物手続き件数		目標		40	100	60	120	80	140	
		実績	95	52	49	60	104	61	112	
（指標及びR2目標値の設定理由） 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定		目標数値の達成度	単年度	130%	49%	100%	87%	76%		
			最終年度	37%	35%	43%	74%	44%	80%	
R2取組状況	屋外広告物の申請について、新規18件、継続94件を許可しました。なお、前年度に比べて、新規申請は7件増、2年毎に必要な継続申請は44件増となっています。 良好な景観を維持し、屋外広告物の倒壊などを防止するため、違反広告物のパトロールを行うと共に、重点区域を設定して、申請手続きをせずに違反広告物を掲載した悪質広告業者に対して指導を行いました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	80%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・屋外広告物の違反広告物パトロールを実施し、違反広告物に対し是正指導を行いました。 ・屋外広告物の新規申請及び更新申請を遅滞なく処理しました。					・建築物の許可及び確認申請を利用し、適切な屋外広告物の新規申請の指導に努めます。 ・違反広告物の是正指導に努めます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	9	施策	㊾	具体的な取組	オ
備考										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
開発調整条例に基づく事前協議件数		目標		30	30	30	30	30	30
		実績	－	35	38	35	25	18	22
(指標及びR2目標値の設定理由)		目標数値 の達成度	単年度	117%	127%	117%	83%	60%	
			最終年度	117%	127%	117%	83%	60%	73%
R2取組状況	・開発事業の事前調整を図ることにより、周辺住民とのトラブル防止に努めました。 ・関係部署への手続き照合など、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	73%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・開発事業の事前調整を図ることにより、周辺住民とのトラブル防止に努めました。 ・関係部署への手続き照合など、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。				・引き続き、開発事業者との事前協議と適切な指導に努めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 花咲くまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	都市整備部	課名	都市計画課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・花づくりボランティア（フラワーセンター）にて花苗 5 万ポット、市老連（播磨農高）にて花苗 6 万ポットを育成							
	経費（千円）	2,400							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)		目標		11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11	11	11	11
(指標及びR2目標値の設定理由) 配布し花を植えられる施設数より設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	100%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%
R2取組状況	・フラワーセンター・播磨農高と協働し、花苗育苗・公共施設や老人会花壇に植栽を行いました。加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり活動」の推進に努めました。 ・花づくりボランティアや老人会会員が花苗の育苗・植栽作業に取り組んで頂き、生きがいや交流の場を創出することができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・フラワーセンター・播磨農高と協働し、花苗育苗・公共施設や老人会花壇に植栽を行いました。加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり活動」の推進に努めました。 ・花づくりボランティアや老人会会員が花苗の育苗・植栽作業に取り組んで頂き、生きがいや交流の場を創出することができました。				・花苗・土などの資材単価が高騰しているが、指標目標とする「住民ボランティアによる植栽数11万ポット」の配布を達成するよう努めます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	イ
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。								
主管部課	部名	生活環境部	課名	環境課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市庁舎の電気使用量（kwh） 【減少指標】		目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
		実績	953,664	900,100	852,000	825,105	856,998	857,153	909,923
（指標及びR2目標値の設定理由） ・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。		目標数値の達成度	単年度	101%	105%	107%	103%	102%	
			最終年度	96%	101%	104%	101%	101%	94%
R2取組状況		デマンド監視システムを適切に運用し、夏場、冬場の空調の際に、一度に全空調を稼働させずに、順次移動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼働が集中することから市庁舎の稼働を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチャラーの温度を夏場は高めに、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。 しかしながら、今年度はコロナ禍による分散勤務の関係で、空調の運転時間を例年より1日4時間延長（前後2時間延長）したことにより一時的に電気使用量が増加した結果となりました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	94%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市庁舎においてデマンド監視システムを活用したことにより、一定レベル電気使用量を削減することができました。				公共施設からのCO2排出量を抑制するため、これまで以上に省エネ推進策（電気使用量のデマンド管理以外の運用改善やCO2排出抑制に寄与する設備導入等）を実施する必要があります。また、公共施設での再生エネルギーの創出やその自家消費について検討する必要もあります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	㊾	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	８ 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	—							
	経費（千円）	—							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
グリーンハウス建築促進補助金受付件数		目標		10	28	28	—	—	—
		実績	—	10	25	27	—	—	—
（指標及びR2目標値の設定理由） グリーンエナジーシティ構想に基づいた住宅団地における建築の見込み件数にて設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	96%	—	—	
			最終年度	36%	89%	96%	96%	96%	96%
R2取組状況	なし								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	③完了	—	96%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・平成29年度完了				・平成29年度完了 ・取り組み「廃止」とします。					
今後の方針				対応箇所					
①完了				政策		施策		具体的な取組	
備考									
※「ベルデしもさと」整備に伴うため、H29で事業完了。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。								
主管部課	部名	生活環境部				課名	環境課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金							
	経費（千円）	1,609							
指標名		区分	目標（下段の（ ）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
加西市内の太陽光発電導入容量（kw）		目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
		実績	－	52,758	63,099	64,317	97,858	109,732	119,656
（指標及びR2目標値の設定理由） ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました		目標数値の達成度	単年度	141%	115%	107%	151%	157%	
			最終年度	70%	84%	86%	130%	146%	160%
R2取組状況	実績は電気自動車に7件(700千円)、蓄電池に14件(909千円)の補助金を交付しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、地域の住環境に配慮した創エネの導入になるように、事業者に指導、助言を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	160%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
民間事業者(産業用)及び個人(住宅用)がFIT制度を積極的に活用したことにより、市内での太陽光発電の導入容量は飛躍的に増加しました。				本市は、地域特性上太陽光以外の再生エネルギーの推進が困難な地域であるため、今後も太陽光発電の導入推進を図ります。なお、卒FITに対応する施策（蓄電池の導入や自家消費の活用等）も併せて検討する予定です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②	具体的な取組	ア
備考									
引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。								
主管部課	部名	生活環境部	課名	上下水道課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・ 配水管の耐震化 L=1,038m							
	経費（千円）	55,994							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水道管路耐震化率（％）	目標			82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
	実績	78	82	82.4	82.6	82.7	82.7	82.8	
（指標及びR2目標値の設定理由） 上水道施設アセットマネジメントによる		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	99%	99%	98%	
			最終年度	96%	97%	97%	97%	97%	97%
R2取組状況	新設管 中富町加西インター工区 L=673mを施工しました。 新設管 鶉野町鶉野地区 L=148mを施工しました。 新設管 中野町中野地区 L=209mを施工しました。 既設管布設替 中富町加西インター工区 L=8mを施工しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	97%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
水道管路耐震化率 78%から82.7%へ進捗しました。 (目標は84.4%)				H28年度から新しい配水システムのための事業を実施し、水道管路の整備、更新費用を抑制したため、耐震化率の目標を下回っている。地震時でも配水を可能とするためには、水道管路の耐震化率の向上が必要となります。 今後、上水道施設アセットマネジメントの検証を行い、次期計画は水道管路の耐震化率に加え、水道施設の耐震化率も含めた計画とする予定です。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	⑳	具体的な取組	イ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり									
施策	25 水環境のまちづくり									
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。									
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道管理課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・水洗化促進補助金の交付								
	経費（千円）	2,836								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
水洗化率（％）		目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92	
		実績	76.1	87.9	89.2	90.5	91.7	92.1	92.5	
（指標及びR2目標値の設定理由） 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	101%	101%	102%	101%		
			最終年度	96%	97%	98%	100%	100%	101%	
R2取組状況	前年度に引き続き、水洗化促進補助金交付制度を活用し、未水洗化家屋のうち20戸が新たに水洗化を実施しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	101%	A：目標を上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
水洗化促進補助制度により未水洗化世帯の水洗化意識を向上させることで、水洗化率は目標より早いペースで順調に伸びています。					現状の未水洗化世帯には、高齢者のみの世帯や空き家等、下水道接続工事の負担が大きく、水洗化補助金を活用しても水洗化が困難な状況にあります。 今後は、当該世帯に対する水洗化推進のあり方についても検討する必要があります。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊸	具体的な取組	ア
備考										
申請件数の実績により、変更										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり									
施策	25 水環境のまちづくり									
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	3 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。									
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事								
	経費（千円）	169,116								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
統合施設数（x / 3）		目標		0	1	1	1	2	3	
		実績	—	0	1	1	1	2	3	
（指標及びR2目標値の設定理由） 生活排水処理計画による		目標数値 の達成度	単年度	0%	100%	100%	100%	100%		
			最終年度	0%	33%	33%	33%	67%	100%	
R2取組状況	坂本地区2工区の工事完了により坂本地区の公共下水道統合を行いました。 在田南部地区2工区の工事完了および3工区の工事発注を行いました。 福住・剣坂地区の公共下水道統合の詳細設計を行いました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
H28-H30 芥田地区を加西北部地区へ統合しました。 H30-R01 南網引地区を公共下水道へ統合しました。					加西市生活排水処理計画に基づき、坂本地区・在田南部地区、剣坂地区、福住地区を公共下水道へ統合する予定です。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊸	具体的な取組	イ
備考										
在田南部地区の公共下水道接続工程の精査に伴う経費変更										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり									
施策	25 水環境のまちづくり									
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	4 企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。									
主管部課	部名	生活環境部				課名	上下水道管理課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
給水原価（円/m） 【減少指標】		目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5	
		実績	－	208.9	204.8	198.4	198.9	199.7	197.2	
（指標及びR2目標値の設定理由） 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、H28年から大規模事業が始まるためH32目標値はH27の約1%減とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	102%	105%	104%	103%		
			最終年度	99%	101%	104%	104%	103%	105%	
R2取組状況	兵庫県企業庁への値下げ要望により、令和２年度より県水受水費の基本料金部分が減額され、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度					
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	105%		A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
兵庫県企業庁への県水受水費の値下げ要望により、令和２年度より県水受水費の基本料金部分について約５％が減額され、将来にわたる受水費を抑制することができました。					受水費を抑制するため、引き続き兵庫県企業庁への値下げ要望に加え、市川町からの受水については、令和４年度に予定される栗田ポンプ場の供用開始を受け、受水量の減少・県水への切替について継続して交渉を行う必要がある。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	10	施策	㊸	具体的な取組	ア
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	８ 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	２５ 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	５ 公道の透水性舗装を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	Ｒ２ (決算額)							
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線							
	経費（千円）	226,953							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
透水性舗装の実施（m）		目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
		実績	－	229	823	823	911	1,015	2,054
（指標及びR2目標値の設定理由） 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画整備延長を目標値に設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	82%	48%	36%	32%	
			最終年度	6%	21%	21%	23%	25%	51%
R2取組状況	歩道設置に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	51%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
歩道部に透水性舗装を施工することにより、雨天時の歩行者通行の安全性の向上に努めました。				今後も継続して、市内基幹道路や通学路の歩道整備を進め、歩道部に透水性舗装を採用することにより歩行者の安全確保を図っていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	10	施策	㉗	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマーを推奨する事業者の割合を増やします。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ（エコバック）作成 ・チラシ等による啓発							
	経費（千円）	402							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
レジ袋削減協力事業者数 (量販店のみ)		目標		9	9	9	9	9	10
		実績	9	9	9	9	10	11	11
(指標及びR2目標値の設定理由) 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため 10を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	111%	122%	
			最終年度	90%	90%	90%	100%	110%	110%
R2取組状況	平成30年度に作成された播磨風土記をデザインしたマイバック（エコバック）の在庫数を利用し、出生家族ならびに3歳未満の子供がある家庭が転入時に無料配布しました。また、レジ袋の削減については、新規出店の小売りに協力依頼を行いました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	110%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
新規量販店へのレジ袋無料配布の中止要請により目標達成ができています。また、取組みについては、年間約300個程度のマイバック（エコバック）を無料配布することによりプラスチック製買物袋の排出の抑制にも繋がり、ごみの減量化の意識の向上にもなりました。				レジ袋有料化が令和2年7月から開始されることにより次期計画においては、当基本計画を廃止し、ごみの排出抑制への基本計画にシフトしていく必要があると考えられます。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	9	施策	②6	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ごみの分別（現23分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充							
	経費（千円）	46,540							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①住民1人1日あたりのゴミ 排出量（g） 【減少指標】		目標		783	780	776	773	769	766
		実績	794	793	776	760	776	793	775
（指標及びR2目標値の設定理由） 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定		目標数値 の達成度	単年度	99%	101%	102%	100%	97%	
			最終年度	96%	99%	101%	99%	96%	99%
②ゴミのリサイクル率（%）		目標		21	21	21	21	21	22
		実績	20	20	20	22	21	21	18
（指標及びR2目標値の設定理由） ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加		目標数値 の達成度	単年度	95%	95%	105%	100%	100%	
			最終年度	91%	91%	100%	95%	95%	82%
R2取組状況	ペットボトル、トレイ、空き缶、ビン、小型家電等のターミナル回収に加え、クリーンセンターへの直接持込による剪定枝、紙類、布団類。古繊維、小型家電等を分別し、リサイクル事業を実施しました。また、資源物の集団回収補助事業を継続実施し、リサイクル率の向上に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	②実行中	B：予定より遅延	99%	C：目標を下回っている					
②	②実行中	B：予定より遅延	82%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
ゴミのリサイクル率については、資源化物である古紙、金属等の国際取引価格の落ち込みにより有価物単価が下がり、さらには、令和2年度のコロナ禍の影響を受け各団体が集団回収の実施を見送ったことにより一時的に減少したものと考えられます。 また、相反して集団回収量が減少することにより、ごみの処理量が増加したものと考えられます。				ここ数年間の総ごみ量の推移は横ばい傾向であり、将来の総ごみ排出量の減少も見込めないと推測するため、あらたに新規のリサイクル品目を生み出すか、生ごみを水切りし含水比を下げることにより総ごみ量の軽減に努める必要があると考えます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	ア
備考									
ごみの処理量 集団回収量 9月末の人口 住民1人あたり1日のごみ排出量（g） （11,613t + 728 t） ÷ 43,623人 ÷ 365日×1,000,000 = 775.1 g 再生業者直接搬入量 中間処理で資源化量 集団回収量 ごみの総処理量 資源回収量 リサイクル率 （ 287 t + 1,162t + 728 t ） ÷ （ 11,613 + 728 ） = 17.64%									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・一般家庭からの廃食用油回収の継続							
	経費（千円）	61							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
廃食用油の回収量（千ℓ）		目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
		実績	－	12.6	10.8	10.6	10.9	10.6	10.3
（指標及びR2目標値の設定理由） 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるので指標として設定し、1割増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	97%	81%	78%	78%	75%	
			最終年度	87%	74%	73%	75%	73%	71%
R2取組状況	家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。R2年度の回収実績は10,325ℓ、廃食用油売捌収入は28,050円でした。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	71%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
市内の一般家庭から廃食用油を回収する事業は、市民にも浸透しておりリサイクルの意識啓発にも繋がっていることから一定の効果はあったと思われます。バイオマス事業の一環として開始した樹木粉碎機等の貸出事業は、年々貸出件数が減少していたため事業継続の必要性について検討していましたが、機器が破損したことを契機にR元年度で終了することとしました。				廃食油の回収は循環型社会の実現に一定の効果がありました。今後、広報・回収方法の再検討が必要であると思われます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②6	具体的な取組	ア
備考									
樹木粉碎機の破損により貸出し事業が継続できなくなったため減額となりました。間伐材玉切り・運搬委託を見直し、廃止したため、減額となっています。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	８ 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	４ 美パスへの補助金を継続します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続							
	経費（千円）	1,685							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
資源物集団回収登録団体による年間回収量（t）		目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
		実績	－	1,506	1,451	1,409	1,369	1,280	728
（指標及びR2目標値の設定理由） 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量（毎年５t増）を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	93%	90%	84%	
			最終年度	98%	95%	92%	89%	84%	48%
R2取組状況	資源物（新聞、雑誌、古繊維、空き缶、ペットボトル、古鉄等）に対して、「１kgあたり１円」及び「売払い金額が５円未満の場合は５円との差額」を集団回収奨励金として、集団回収登録団体に交付し資源回収事業の促進並びに資源の有効利用を図りました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	48%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
資源物集団回収事業における古紙、金属等の国際取引価格の落ち込みにより年々、有価物単価が下がり、集団回収団体の収益が減少したことにより事業団体登録申請件数及び資源物回収量が減少したものが原因と考えられます。さらには、令和2年度のコロナ禍において、実施団体が集団回収の実施を見送ったことにより大幅に実績が下回ったものと考えられます。				資源物集団回収運動奨励金交付要綱の改正により奨励金の増額が必要であると考えます。さらに、集団回収実施回数（の現要綱の２回以上を３回以上に変更し、実施回数についても奨励金対象とすることにより集団回収用として家庭内で保管されている資源物をいち早く回収し、資源物を燃えるごみとして排出されないように検討していかなければならないと考えます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	８ 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	１ 親子で参加できる環境学習を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・こども環境講座の実施							
	経費（千円）	54							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館におけるこども環境学習の受講者数		目標		100	130	160	190	220	250
		実績	51	25	93	88	106	90	87
（指標及びR2目標値の設定理由） 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の 環境学習講座延受講者数。当初の５倍と設定。		目標数値 の達成度	単年度	25%	72%	55%	56%	41%	
			最終年度	10%	37%	35%	42%	36%	35%
R2取組状況	公民館、オークタウンで子供向け環境学習講座を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	35%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
公民館等において、子ども向けの環境講座を開催しています。 ただ、最近の子どもを取り巻く環境などから、週末の親子講座は参加者の確保が難しいため、ほかのテーマと合わせて環境や自然について学べるように開催しています。				子ども向けに環境講座の開催をしてきましたが、次期計画では、オークタウン等の自然・野外活動の中に環境学習の内容を盛り込むことで、学習の機会を設けます。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	9	施策	㊾	具体的な取組	ウ
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。 また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会				課名	生涯学習課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・環境講座の開催							
	経費（千円）	20							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数		目標		200	210	220	230	240	250
		実績	123	115	317	517	582	295	265
（指標及びR2目標値の設定理由） 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。		目標数値の達成度	単年度	58%	151%	235%	253%	123%	
			最終年度	46%	127%	207%	233%	118%	106%
R2取組状況	公民館の高齢者学級を開催し、196人が身近な環境問題を学習しました。 また、地域と連携し、貴重な自然環境を保全し守っていく人材を養成することを目的に公民館主催講座「ネイチャー倶楽部」を開催し、5回の講座で延べ69名が自然環境について学習しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	106%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
リーダー養成講座として「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催していましたが、平成30年度より受講生や地域住民が自主活動に移行したため、講座を終了しています。 また、環境問題について意識啓発を目的に、地域と連携して公民館の講座の一つを環境学習をテーマに開催しています。				環境リーダー養成講座は、「あびき湿原レンジャー養成講座」が終了し、自主的に市民活動に移行したことをもって、公民館のリーダー養成講座としての取り組みは完了しています。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	9	施策	㊾	具体的な取組	ウ
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。 また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。								
主管部課	部名	教育委員会	課名	学校教育課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・環境体験学習（小学３年生） ・環境学習（小・中学校）							
	経費（千円）	1,942							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
環境学習実施学校数		目標		15	15	15	15	15	15
		実績	－	15	15	15	15	11	11
（指標及びR2目標値の設定理由） 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	73%	
			最終年度	100%	100%	100%	100%	73%	73%
R2取組状況	市内小学校全１１校で環境体験学習を実施しました。コロナ禍での実施となりましたが、感染症対策を徹底しながら、校区の特徴を生かした里山保全活動や希少生物調査活動、綿や大豆、野菜を素材とした食品に関する体験活動等に取り組むことができました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	73%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・環境体験学習は、市内11校すべての小学校3年生で実施し、校区の特徴を生かした里山保全活動や希少生物調査活動、稲作等農業体験など、各校の独自の取組ができました。 ・環境学習は、市内の11校で実施し、環境体験学習だけでなく、様々な学年で教科学習とつながらながら実施することができました。				・充実した環境体験活動を行うための事業費の拡充が必要です。 ・学習内容に照らし、継続した取組と新たな取組の精査を行います。 ・未来の児童生徒につなぐための素材や人材の発掘を行います。 これまでの取組を精査しながら、新たな取組へとつなげるよう支援していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	ウ
備考									
学級数の変動により、経費を見直しました。 環境学習の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
ISO14001、エコアクション21取得企業団体数		目標		53	53	53	53	53	53
		実績	32	52	46	44	44	45	41
（指標及びR2目標値の設定理由） ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。		目標数値の達成度	単年度	98%	87%	83%	83%	85%	
			最終年度	98%	87%	83%	83%	85%	77%
R2取組状況	本市では、H25年度をもってエコアクション21の認証登録を終了し、費用不要の新たな環境経営システム（EMS自治体間相互環境監査）を構築し、継続的に取組んでいます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	77%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
環境経営システムは、認証取得に数十万から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。また、一度認証を受けても、更新費用の兼ね合いから更新しない事業者も増えています。このため、認証取得団体数は横ばいとなっています。				本市自体もH25年度をもってエコアクション21の認証・登録を終了し、新たに「EMS自治体間相互環境監査」に取組んでいます。今後は、取組内容の変更も含め、見直しを検討します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	9	施策	②⑥	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり									
施策	27 環境学習の推進									
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	5 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。									
主管部課	部名	教育委員会				課名	学校教育課、総合教育センター			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数		目標		2	2	3	4	2	2	
		実績	－	2	2	2	2	1	0	
（指標及びR2目標値の設定理由） 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数 を示し、当初値の倍増を設定		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	67%	50%	50%		
			最終年度	100%	100%	100%	100%	50%	0%	
R2取組状況	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度の環境学習に関する研修講座を中止しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	0%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
あびき湿原の素晴らしさや保全活動の意義について、多くの教員に広めることができました。					市内環境資源の保全活動に主眼を置きながらも、企業が展開する新しい形の環境保全活動（環境汚染の予防、肥料のリサイクル等）の実際を見学し、知ること、知識を広め、学習指導に活かせるよう取組を進めます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	9	施策	㊾	具体的な取組	ウ
備考										
環境学習に関する研修の開催数を増やすのではなく、環境を保全する態度を、まず教職員が養えるよう、内容の充実に目標を変更します。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の活動支援							
	経費（千円）	3,772							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①地域づくりコーディネーター数	目標			2	2	4	4	4	4
	実績		－	0	2	2	3	1	1
	目標数値の達成度 (指標及びR2目標値の設定理由) 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。	単年度		0%	100%	50%	75%	25%	
		最終年度		0%	50%	50%	75%	25%	25%
②★地域おこし協力隊員数【6-91】	目標			2	4	6	6	6	6
	実績		－	2	4	4	3	1	1
	目標数値の達成度 (指標及びR2目標値の設定理由) 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。	単年度		100%	100%	67%	50%	17%	
		最終年度		33%	67%	67%	50%	17%	17%
R2取組状況	・R1年度までは、市の特別職として雇用していましたが、R2年度からは、会計年度職員制度への移行に伴い、現1名の隊員については、協力隊事業を委託。 ・R1年度同様、R2年度においても、協力隊事業における市の財政負担を軽減するため、「県版地域おこし協力隊制度」を活用。 ・H30年5月に採用した現1名の隊員は、R3年3月に3年間の協力隊活動が終了。卒隊後は、加西市内で起業のため、市内に定住。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
①	③完了	B：予定より遅延	25%	C：目標を下回っている					
②	③完了	B：予定より遅延	17%						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成27年度から本事業をスタートし、これまで市外から5名の協力隊を採用し、うち2名が卒隊後も、本市で定住をされています。市外の若者が協力隊として、地域で活動を行うことによって、若者が増え、新たな活動に繋がった事例も存在していることから、本事業の目的はある程度、達成できたものと考えます。				【課題】 同制度については、R2年度で終了としますが、「地域おこし協力隊」のような市外の若者や市外在住者で加西市に興味や関心、想いを寄せる多くの人（関係市民）との関わり等について、市の関係部署間での連携や役割分担を通じて、今後の施策や方向性が必要かと考えます。					
今後の方針				対応箇所					
③見直し				政策	11	施策	③0	具体的な取組	イ
備考									
・R1年度に新たな地域おこし協力隊2名を幅広く募集しましたが、応募がなかったため、R2年度は現1名のみで活動します。 また、R2年度は会計年度職員制度への移行に伴い、現1名の隊員には協力隊事業を委託。（「県版地域おこし協力隊制度」もR1年度から継続活用）									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西									
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり									
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	2 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援								
	経費（千円）	598								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
①NPO法人数	目標		21	20	25	25	25	35		
	実績	11	19	20	20	19	19	22		
（指標及びR2目標値の設定理由） NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、 今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待でき		目標数値 の達成度	単年度	90%	100%	80%	76%	76%		
			最終年度	54%	57%	57%	54%	54%	63%	
②★加西サポーター登録者数【6-90】	目標		24	100	150	200	300	300		
	実績	－	24	50	81	81	81	81		
（指標及びR2目標値の設定理由） 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部の ファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待		目標数値 の達成度	単年度	100%	50%	54%	41%	27%		
			最終年度	8%	17%	27%	27%	27%	27%	
R2取組状況	若者ターミナルスポットCOCOKARAでは、カフェ、スナック、ハンドアロママッサージなど、起業したい人のチャレンジの場、何かをしてみたいと思っている人がやってみる場、自分のスキルを試したい人が試してみる場として利用しています。企業セミナーも2回実施しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
①	②実行中	B：予定より遅延	63%	C：目標を下回っている						
②	②実行中	B：予定より遅延	27%							
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
起業支援講座を実施するとともに、若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし起業支援を行っていたが、R元年度以降は運営方法を変更しカフェ、ハンドアロママッサージなど、起業したい人のチャレンジの場、自分のスキルを試したい人の活動の場として利用しています。					参加者を増やすために、SNSや各種広報媒体で参加を促し、今後も多様な活動が行われる場所として提供し、起業に結びつけられるよう支援を行っていきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	11	施策	⑩	具体的な取組	イ
備考										
若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし起業支援を行っていたが、R元年度以降は運営方法を変更し、自主運営できるような講座を開催する。 また、空いた時間や空いたスペースの効果的な利用を検討します。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	９ 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西									
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり									
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	３ ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・登録団体による市民対象の活動を行う								
	経費（千円）	0								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
ボランティア活動希望登録者数		目標		—	20	100	200	200	200	
		実績	—	—	—	263	286	375	382	
（指標及びR2目標値の設定理由） ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。		目標数値 の達成度	単年度	—	—	263%	143%	188%		
			最終年度	—	—	132%	143%	188%	191%	
R2取組状況	地域交流センターにて市民や地域の問い合わせに関して登録団体等のマッチングをしています。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	191%	S：目標を大きく上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
地域交流センターの登録団体に対して、市民参画活動に関する講演会を開催しています。その中で団体間でコラボしたイベント等を開催したり、市民の方向けに出前講座を提供していくことを呼び掛けていきました。					地域交流センターの登録団体に対して、今後も市民の方向けにワークショップやセミナーを行ってもらうよう促していきます。					
今後の方針					対応箇所					
③見直し					政策	11	施策	③	具体的な取組	イ
備考										
当初、ボランティア活動の人材バンクを設置する予定で、その登録者数をカウントする予定であったが、H29より指標の数値を地域交流センターに登録するボランティア団体の会員数を反映します。 登録団体による市民対象のワークショップやセミナーをボランティア活動とします。										

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西									
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり									
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	4 ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課				
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・創造会議の運営支援 ・創造会議の組織強化及び計画策定支援等 ・創造会議のあり方等検討								
	経費（千円）	14,351								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
★ふるさと創造会議設置数【4-73】	目標			7	9	11	11	11	11	
	実績	－		8	9	11	11	11	11	
	（指標及びR2目標値の設定理由） 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。	目標数値の達成度	単年度	114%	100%	100%	100%	100%		
		最終年度	73%	82%	100%	100%	100%	100%	100%	
R2取組状況	・創造会議の組織基盤強化のため、県の地域再生アドバイザー派遣事業を活用し支援を実施（在田地区、下里地区） ・R1年度同様、R2年度においても創造会議等を対象に、地域づくり支援セミナーを実施（6/17、9/11、11/6） ・島根大学まちづくり共同研究事業の実施（①全自治会実態調査・アンケート、②全ふるさと創造会議へのアリング） ・地域づくりの指針策定に向けて、学識経験者やアドバイザーらによる「地域づくりアドバイザー会議」を実施（11/10、2/21）									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	③完了	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成25年度からスタートした小学校区を範囲に組織された地域運営組織である「ふるさと創造会議」ですが、平成29年度には市内全地区に設立され、現在、各地区では、地域の特性を生かした様々な地域活動が実施されていることから、目標は達成されたものと考えます。					今後の少子高齢化に伴う人口減少や地域の担い手不足等、単位自治会だけでは解決できない多くの問題・課題を少しでも解決していくため、小学校区を範囲に、単位自治会同士や地域の各種団体が一緒になって活動していくための組織（ふるさと創造会議）の活動を継続して支援していきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	11	施策	③0	具体的な取組	ア
備考										
・H29年度に全創造会議が設立されたため、R元年度以降は、各創造会議の組織強化や計画策定等を支援予定です。 ・地域づくりに関する意識醸成を図るため、地域づくりに関する様々なテーマで、創造会議関係者を対象に勉強会を実施予定です。 ・R2年度は、これまでの各創造会議への縦の支援に加えて、創造会議同士のネットワーク化をはじめ、創造会議のあり方等について学識経験や地域再生アドバイザー参画のもと、検討・議論を進めます。（横の展開）										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
H P 掲載件数	目標			2	2	2	2	2	2
	実績	－		2	2	1	1	2	1
(指標及びR2目標値の設定理由) タウンミーティングが2回程度／年開催されるため		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	50%	50%	100%	
			最終年度	100%	100%	50%	50%	100%	50%
R2取組状況	令和２年度においては、コロナ禍であったが、予算編成に向けた各地区の要望事項を伺う大切な機会と捉え、各代表区長と調整し、実施することが出来た。市内10地区を巡回し、事前に集約した地域要望、課題について、各部長から回答し、市民と意見交換を行った。当日出た意見も含めて、質問と回答はホームページに掲載した。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	50%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
タウンミーティングの開催については、平成29年度と平成30年度は結果的に、年1回の開催となり、達成度が50%となったが、平成30年度からは、市の予算編成前に各校区の要望事項を伺う機会とし、地域課題の解決に向けて、スピード感を持った対応にシフトしている。				住民企画型タウンミーティングを活用し、さらに幅広い世代等から意見を伺う機会を設けたい。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	11	施策	㊸	具体的な取組	ウ
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★集落支援員の配置を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	集落支援員の導入検討							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★集落支援員数【4-72】		目標		0	9	11	11	11	11
		実績	－	0	0	0	0	0	0
(指標及びR2目標値の設定理由) 各小学校区に1名を配置する計画		目標数値 の達成度	単年度	-	0%	0%	0%	0%	
			最終年度	-	0%	0%	0%	0%	0%
R2取組状況	・「集落支援員制度」導入に向けて、制度を構築済。（R3年度予算として計上済） ・制度対象となるふるさと創造会議を対象に、R3年3月に制度に関する説明会を実施。（R3年度からスタート）								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	0%	D：目標を大きく下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成27年度から総合計画の施策の一つとして位置づけてきましたが、同制度を実施している自治体への視察だけで終わっており、支援員の導入には至っていません。				集落支援員の導入に向けては、各創造会議へのヒアリングをはじめ、R2年度から2ヶ年計画で実施する「島根大学まちづくり共同研究事業」や「地域づくりアドバイザー会議（仮称）」において、導入に向けて検討します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	11	施策	㊸	具体的な取組	イ
備考									
・集落支援員制度は、各集落への「目配り」として、集落の巡回や状況把握等を実施いただくことから、集落支援員の導入については、地域づくり組織である「ふるさと創造会議」を対象に導入予定。 ・導入にあたっては他市の集落支援員の状況を視察するほか、他市で活動中の集落支援員の方を招き研修会を実施する予定です。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度							
	経費（千円）	253							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率（％）		目標		50	50	50	50	50	60
		実績	－	24	24	24	24	24	24
（指標及びR2目標値の設定理由） 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。 子育てが終わった女性の就業を想定した。		目標数値 の達成度	単年度	48%	48%	48%	48%	48%	
			最終年度	40%	40%	40%	40%	40%	40%
R2取組状況	・映画上映会、セミナー、講演の開催やウォールギャラリー展示等を行うことで、男女共同参画意識啓発に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	40%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・映画上映会、セミナー、起業相談、講演等を開催することで、男女共同参画意識啓発に取り組みました。				・女性・若者起業調査助成金制度の利用促進に取り組みます。 ・さらなる男女共同参画社会の実現に向けた女性支援セミナー等を開催し、女性の社会進出を促すよう取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	④	具体的な取組	ア
備考									
助成金の補助だけでなく、男女共同参画社会の実現に向け、女性の就労支援に関するセミナーや男女の働き方を見直すためのセミナーを開催することにより、女性の社会進出を促すことに取り組みます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	９ 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	２ 女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の女性管理職登用率（％）		目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
		実績	7	3.4	3.9	7.4	5.1	5.3	11.5
（指標及びR2目標値の設定理由） 政府目標数値30％に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。		目標数値の達成度	単年度	34%	39%	74%	51%	53%	
			最終年度	23%	26%	49%	34%	35%	77%
R2取組状況	市職員（男性管理職）向けの研修や女子カフェ及び講演会を開催し、女性活躍推進や男女共同参画に関する意識改革に取り組みました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	77%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・女子カフェや市職員向けの研修を開催し、女性活躍推進や男女共同参画に関する意識改革に取り組みました。				・市の女性管理職の割合が少ないことから、ロールモデルとなる事例等も交えた市職員研修の回数を増やし、従来の習慣や1人ひとりの根本的な意識改革に取り組みます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	③4	具体的な取組	ア
備考									
女性職員が管理職になるために必要な意識改革のための研修を開催します。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	９ 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西									
施策	29 自己実現と共生のまちづくり									
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	３ 在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。									
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	ふるさと創造課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成								
	経費（千円）	212								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
市内における日本語講座の実施教室数		目標		2	3	4	4	5	5	
		実績	－	2	2	2	3	3	4	
（指標及びR2目標値の設定理由） 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	50%	75%	60%		
			最終年度	40%	40%	40%	60%	60%	80%	
R2取組状況	ねひめカレッジの日本語教室を拡充するとともに、長期休暇中の学習サポートに取り組みました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	B：予定より遅延	80%	C：目標を下回っている						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・ねひめカレッジの日本語教室の運営と長期休暇中の学習サポートに取り組みました。					・増加する外国人児童や家族の学習サポートを行います。 ・企業を含めた支援者育成を促進し、技能実習生や定住外国人と市民が共存しやすいまちづくりに取り組みます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	12	施策	㊥	具体的な取組	ア
備考										
学校での勉強についていけない母語が日本語でない児童に対しての日本語の学習教室を開催します。										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・国際理解と情報発信 ・ブルマン市への中学生等の派遣 ・スワン市への高校生等の派遣							
	経費（千円）	8,640							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市内における各種外国文化関係団体の会員数		目標		30	33	35	40	45	50
		実績	－	13	30	91	129	204	183
（指標及びR2目標値の設定理由） NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	43%	91%	260%	323%	453%	
			最終年度	26%	60%	182%	258%	408%	366%
R2取組状況	国際理解講座（世界のとびら）と情報発信（ニュースレター発行）及びコロナ対策を講じての国際交流イベントを行い、多文化共生を推進しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	S：予定より早く進行	366%	S：目標を大きく上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
・ねひめカレッジの会員数が大幅に伸び、目標達成しました。 ・国際理解（定期的な講座開催）と情報発信（ニュースレター発行）を行い、多文化共生を推進しました。				国際理解講座や市民交流事業等を通し、多文化共生の輪を広げる取り組みを実施していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	⑤	具体的な取組	ア
備考									
日本語を学びたい外国人のための日本語教室に加え、学校での勉強についていけない母語が日本語でない児童に対しての日本語の学習教室を開催します。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部				課名	人権推進課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催							
	経費（千円）	8,600							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
人権学習会参加者数		目標		2,400	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000
		実績	2,700	2,592	3,787	3,841	3,039	3,398	1,722
(指標及びR2目標値の設定理由) 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げて		目標数値の達成度	単年度	108%	146%	142%	109%	117%	
			最終年度	86%	126%	128%	101%	113%	57%
R2取組状況		・人権文化をすすめる市民のつどいを開催し、講演会を実施しました。（参加者224人） ・地区人権学習会（6地区）、まちかどフォーラム（42 町）を開催し、合計637人が参加しました。 ・自主参加型の学習機会として、加西市人権教育協議会と連携した太鼓づくり教室、人権問題を扱った映画上映会などを開催し、107人の参加がありました。 ・自治会、事業所、団体等が自主開催する研修会への講師派遣、資機材の貸出等の実施援助を行い、215人の参加がありました。 ・その他、公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、539人の参加がありました。 ・新型コロナウイルス感染症対策により、研修会や学習会の参加人数の縮小や開催時間の短縮等を行った結果、R2年度の人権学習会参加者数の目標に対する実績は、大きく下回りました。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	57%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
H28～R1の総括としては、年度によって学習会参加者数に波はあるものの、事業の到達度は目標を上回って達成しています。				まちかどフォーラムと地区人権学習会の各地区での開催ローテーションを3年周期としてから、R2年度で2期目の中間となります。参加者アンケートを取ったうえで、次期の形態を検討する必要があると思われます。そして、自主参加型の学習機会（小規模での）を充実させていきます。また、情報発信方法として、広報やホームページがありますが、新型コロナウイルス感染症等による緊急事態時に、人権にかかわる連絡をより速く効果的に伝えられるような方法も検討していきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	12	施策	③	具体的な取組	ア
備考									
・市民会館が耐震化工事のため、公民館コラボ事業は休止します。 ・会計年度任用職員への変更による人権推進員の手当増額と人教研究大会東播磨大会の加西市開催のため、経費を変更しました。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く) 【減少指標】		目標		332	332	330	330	328	326
		実績	350	332	332	329	326	321	335
(指標及びR2目標値の設定理由) 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減(△6名)に取り組む。		目標数値 の達成度	単年度	100%	100%	100%	101%	102%	
			最終年度	98%	98%	99%	100%	102%	97%
R2取組状況	新規採用については退職者補充程度として令和元年度までは順調に推移してきたが、R2年度においては年度末退職者が例年に比して少ない中、将来的なバランスを考慮した採用者数の増に加えて、就職氷河期世代の採用試験を追加で行ったことから、目標人数を上回る職員数となった。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	97%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
新規採用者数の抑制と再任用制度の活用により、職員数の減に取り組んできました。 その結果、後期5カ年においては計画に沿った職員数の削減が進みましたが、最終年度において氷河期世代採用等の実施もあり届かない結果となった。				職員数の削減を進めてきましたが、業務量は増加しており、少ない人員で業務にあたっている状況にあります。今後においては、業務量を勘案した適正な人員配置が課題であり、次期計画では方向性について検討していく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	⑤	具体的な取組	ア
備考									
第6次加西市総合計画の施策一覧に職員数の削減目標は掲げていませんが、今後の定年延長制度の導入も見据えながら、引き続き適正な人員配置に努めます。									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実							
	経費（千円）	0							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職員研修成果発表回数		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	2	2	2	2	2	1	2
（指標及びR2目標値の設定理由） 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	100%	33%	
			最終年度	67%	67%	67%	67%	33%	67%
R2取組状況	加西市行政の取組状況報告会を開催し、市民に向けて部長級及び課長級の成果発表を行いました。 また、行政のデジタル化を進めるため、若手職員による行政手続きのデジタル化報告会を実施しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	67%	C：目標を下回っている					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
人事評価による成果発表会を開催することで、発表者の能力向上を図るとともに、市民に向け市行政の取組内容を周知することができ、計画の実施により一定の成果を得ることができました。				成果発表会だけでなく、多様な研修の実施や自己啓発の推進等、職員の能力やモチベーションの向上を図るため、今後も引き続き新しい取り組みを進めていく必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	⑤	具体的な取組	ア
備考									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 8 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・共生ビジョン懇談会の開催 ・加西市総合政策審議会の開催 ・行財政改革プランの策定 ・次期総合計画の策定作業							
	経費（千円）	5,709							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】		目標		28	28	28	29	30	30
		実績	—	28	28	28	28	28	24
(指標及びR2目標値の設定理由) 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%	97%	93%	
			最終年度	93%	93%	93%	93%	93%	80%
R2取組状況		●北播磨広域定住自立圏共生ビジョンにおける協定事業での取り組みは、コロナの影響によって、他市町と連携して事業を実施することが難しい状況でしたが、コロナ禍での取組として、圏域を活用し、圏域市町における新型コロナウイルス感染症対策の情報共有、クラウドファンディングによるマスク購入、消費拡大事業（北播磨あつまり券事業）を実施しました。また、10月には圏域市町の職員を対象にSDGs講演会・ワークショップを開催しました。 ●総合計画等の策定に向け、加西市総合政策審議会を条例設置し、計7回の会議を行いました。各種団体の代表者との意見交換を通じて多くのご意見をいただき、3月議会の議決を経て、「第6次加西市総合計画」を策定しました。同時に総合計画の実施計画にあたる「第2期加西市行財政改革プラン」も策定しました。 ●3月に日本郵便株式会社と包括協定を締結しました。同月には市内郵便局の配達車に「気球の飛ばまち 加西」のオリジナルステッカーを掲示していただきましたが、引き続き、様々なアイデアを出し合いながら連携を進めます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	B：予定より遅延	80%	A：目標を上回って達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
平成27年度以降、中心市として主導している北播磨広域定住自立圏の取組や姫路市を中心とした連携中枢都市圏等、自治体の広域連携に加え、兵庫県信用組合、加西商工会議所・但陽信用金庫、リコージャパン株式会社等との包括連携協定の締結や兵庫教育大学との連携講座等を実施しており、民間活力の導入と広域化の枠組みを広げることができました。				第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンでは、共生ビジョン懇談会による検討や、これまでの取組、今後の見込み等を踏まえて4事業が削除・2事業が統合され、新たに取り組む事業として2事業が追加となり、計24事業となりました。 この24事業については、圏域市町による協定を締結したものであり、計画期間の令和6年度まで変更が困難であるため、連携事業数を指標とするのではなく、基本計画を達成するための新たな指標を検討する必要があります。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	38	具体的な取組	ア
備考									

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・維持管理実施 ・総合管理計画の見直し							
	経費（千円）	660							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
市の公有財産の把握と管理運営方針の策定 (指標及びR2目標値の設定理由)		目標		計画策定	計画策定	維持管理			
		実績	-	-	-	-	-	-	維持管理
		目標数値の達成度	単年度	-	-	-	-	-	
			最終年度	-	-	-	-	-	-
R2取組状況	導入したデータ管理システムの保守およびデータ更新等を委託し、正確な情報処理と業務の効率化をすすめました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	②実行中	A：予定通り進行	100%	B：目標を達成					
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
H30年度 固定資産台帳データ管理及び更新 R1年度 固定資産台帳データ管理及び更新				4年前に作成した公共施設等総合管理計画の見直しを行い、数値目標検討・維持管理を更新するため変更します。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	⑤	具体的な取組	工
備考									
公共施設等総合管理計画の策定から３年が経過したため、数値目標・維持管理費等の再精査を行います。									

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。								
主管部課	部名	総務部	課名	財政課					
評価検証									
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)							
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営							
	経費（千円）	—							
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2
①基金残高（財政調整＋減債）（億円）		目標		26	23	24	24	24	24
		実績	18	26.5	21	21	21	23	25
（指標及びR2目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準 財政規模の2割程度の基金を維持		目標数値 の達成度	単年度	102%	91%	88%	88%	96%	
			最終年度	110%	88%	88%	88%	96%	104%
②全会計市債残高（億円） 【減少指標】		目標		435	436	443	439	433	423
		実績	457	427	422	420	413	411	411
（指標及びR2目標値の設定理由） 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度におい てH26の市債残高を下回る数値設定		目標数値 の達成度	単年度	102%	103%	105%	106%	105%	
			最終年度	99%	100%	101%	102%	103%	103%
③実質公債費比率（％） 【減少指標】		目標		10.5	9.5	8	8	8	8
		実績	20.3	10.3	9.3	8	7.9	7.6	未確定
（指標及びR2目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26 の実質公債費比率を下回る数値設定		目標数値 の達成度	単年度	102%	102%	100%	101%	105%	
			最終年度	71%	84%	100%	101%	105%	未確定
④★将来負担比率（％）【6-94】 【減少指標】		目標		70	70	70	70	67	65
		実績	—	61.6	68.6	76.9	72.7	69.4	未確定
（指標及びR2目標値の設定理由） 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26 の将来負担比率を下回る数値設定		目標数値 の達成度	単年度	112%	102%	90%	96%	96%	
			最終年度	105%	94%	82%	88%	93%	未確定
R2取組状況	基金残高は、令和元年度決算の実質収支が3億4千8百万円の黒字となり、うち1億7千5百万円を財政調整基金に積立てた結果、減債基金と合計で25億円となりました。 市債残高は、こども園・給食センターの建設事業等の起債により増加したものの、目標の範囲内におさまっています。								

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度					
		区分	最終(R2)						
	①	②実行中	S：予定より早く進行	104%			B：目標を達成		
	②	②実行中	S：予定より早く進行	103%					
	③	②実行中	未確定	未確定					
④	②実行中	未確定	未確定						
次期総合計画策定に向けた総括									
現行計画の実施内容と成果				残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
基金残高は平成28年度に財政調整基金を取崩て以降、目標を下回っていましたが令和元年度の実質収支が大きく改善し、また令和2年度決算で財源不足による取崩しが無いため、目標である24億円以上の積立てができました。 市債残高は一般会計で学校施設等老朽耐震化整備をはじめとする建設事業の増加による起債が増えたものの、下水道会計等企業会計の市債残高が減少したため目標を達成できています。 実質公債費比率は市債残高の減少等により年々改善しています。 将来負担比率は一般会計の起債増や基金の減少により平成28年度以降悪化しており目標を達成できていません。				基金残高は、令和2年度決算で目標達成となりましたが、令和3年度以降の次期計画でも引き続き財政調整基金の取崩のないよう努め、更に基金を増やしていけるよう、歳入確保・歳出抑制に努めます。 市債残高は、令和2年度決算で目標を達成していますが、次期計画でも引き続き残高が減少していくよう、起債の抑制に努めていかなくてはなりません。 実質公債費比率は令和2年度以降学校施設等老朽耐震化整備等大型事業の起債の償還が本格化してくるため上昇（悪化）する見込みですが、これをできるだけ抑制すべく、上記のとおり市債発行額の見直し等に努めていきます。 将来負担比率は、上記のとおり、市債残高の減少、基金の増加等により改善していくよう努めていきます。					
今後の方針				対応箇所					
②継続				政策	13	施策	③⑥	具体的な取組	イ

令和2年度評価・第5次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	10 健全な行財政運営の確立									
施策	30 行政サービスの向上と効率経営									
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	6 自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。									
主管部課	部名	総務部				課名	税務課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・市税等収納向上対策 ・市県民税特別徴収の推進 ・口座振替推進 ・滞納処分の強化								
	経費（千円）	6,175								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
収納率 上段：現年分 下段：過年分		目標		98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3	98.8 18.4	
		実績	—	98.8 17.9	98.8 17.6	98.8 18.6	99.0 23.3	99.0 31.6	98.9 30.1	
（指標及びR2目標値の設定理由） 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率 0.1％／年を伸ばす。		目標数値 の達成度	単年度	100%	98%	103%	128%	173%		
			最終年度	97%	96%	101%	127%	172%	164%	
R2取組状況	新型コロナウイルスの影響により、収入が減少した納税者については、徴収猶予や分割納付、または分割納付金額の緩和を行ったケースがあった。R2年度も兵庫県整理回収チームから得た滞納整理のノウハウを活用し、生活状況の把握による適正な分割納付金額の設定、財産調査の強化、悪質滞納者に対して様々な手法による積極的な差押等を実施しました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	164%	S：目標を大きく上回って達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
兵庫県整理回収チームから滞納整理のノウハウを習得し、適正な金額での分割納付の徹底、悪質滞納者に対する搜索やタイヤロックなどの実施及び積極的な差押等を実施しました。					新型コロナウイルスの影響での収入の減少等による滞納額の増加により、納税交渉や滞納処分が難しくなることが予想され、収納率にも影響を及ぼすと考えられます。 しかしながら、資力がありながら納税の意思を示さない悪質滞納者には、様々な手法を用いた積極的な差押等の滞納処分を実施して収納率の向上を図っていきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	13	施策	③	具体的な取組	ウ
備考										

令和２年度評価・第５次総合計画（後期計画）総括

政策・施策										
基本政策	10 健全な行財政運営の確立									
施策	30 行政サービスの向上と効率経営									
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。									
基本計画・主管部課										
基本計画	7 国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。									
主管部課	部名	総務部				課名	管財課			
評価検証										
実施スケジュール	区分	R2 (決算額)								
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導 ・電子入札の導入								
	経費（千円）	3,733								
指標名		区分	目標（下段の（）書きは、変更前の数値）・実績数値							
			当初	H27	H28	H29	H30	R元	R2	
一般競争入札の割合（％）		目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
		実績	－	19.2	21.2	29.3	28.2	28.9	24.2	
（指標及びR2目標値の設定理由） 入札制度の改正により一般競争入札割合の３％増を目指す		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	133%	128%	131%		
			最終年度	87%	96%	133%	128%	131%	110%	
R2取組状況	建設業者研修会の開催で、電子入札システムの操作等の研修を行い、２月から電子入札システムで入札を実施しました。 電子入札システム（入札件数19件） また、公契約条例に基づく調査を行い適正価格での応札と、公共事業従事者の労働環境の両立に努めました。									
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度		事業の到達度						
		区分	最終(R2)							
	②実行中	S：予定より早く進行	110%	B：目標を達成						
次期総合計画策定に向けた総括										
現行計画の実施内容と成果					残された課題・新たな課題と次期計画の方向性					
一般競争入札適用件数 H28年度 28件／132件 H29年度 41件／140件 H30年度 40件／141件 R元年度 41件／141件		公契約条例適用件数 H28年度 25件 H29年度 33件 H30年度 34件 R元年度 31件			電子入札システムは、兵庫県電子自治体推進協議会の指導を受けながら、来年１月本稼働に向けて作業を進めていきます。 公契約条例については、今後も現地立ち入り調査を継続していきます。					
今後の方針					対応箇所					
②継続					政策	13	施策	⑤	具体的な取組	工
備考										

第5次加西市総合計画 から 第6次加西市総合計画 への移行図

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

(サンプル)

新計画の項目

政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実

施策① 結婚・妊娠・出産支援の充実

ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に会えるイベントの実施に努めます。			ふるさと創造課	
04	1	事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。	カップル成立年間組数	ふるさと創造課
04	2	関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に会えるイベントや交流機会の創出を支援します。	職域交流年間事業数	ふるさと創造課
イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、子育て世代包括支援センターを中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子健康手帳の活用を推進します。			健康課	
17	8	★特定不妊治療に対する支援を行います。	特定不妊治療助成件数	
21	2	健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。	妊婦健診の年間受診率	
21	11	★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。	産後ケア事業の利用件数	
ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。			人口増政策課 健康課	
18	6	★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。	産婦人科医院等の開設数	人口増政策課

旧計画の【施策】【基本計画】番号と内容

※この場合、新計画の政策 1 施策①アは、旧計画の施策04基本計画 1と 施策04基本計画 2 が統合されていることを示します。

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実

施策① 結婚・妊娠・出産支援の充実

ア 若者の出会いの場のサポート制度を事業者と連携し、構築するとともに、若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントの実施に努めます。 ふるさと創造課

04	1	事業者と連携し、若者の出会いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。	カップル成立年間組数	ふるさと創造課
04	2	関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に出会えるイベントや交流機会の創出を支援します。	職域交流年間事業数	ふるさと創造課

イ 妊娠・出産支援として、特定不妊治療の助成を行うとともに、妊娠期から子育て期にわたる、子育て世代包括支援センターを中心とした切れ目ない支援体制の構築と母子保健事業を推進します。 健康課

17	8	★特定不妊治療に対する支援を行います。	特定不妊治療助成年間件数	健康課
21	2	健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。	妊婦健診の年間受診延べ件数	健康課
21	11	★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。	産後ケア事業の利用率	健康課

ウ 市内への産婦人科医の確保に取り組むとともに、産後ケアの充実など安心して出産できる環境を整備します。 人口増政策課
健康課

18	6	★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。	産婦人科医院等の開設	人口増政策課
----	---	--	------------	--------

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実

施策② 地域ぐるみの子育て支援の推進

ア 多世代が関わる地域ぐるみでの子育て支援体制の充実や子育てに関連する情報提供の強化、保護者の負担軽減に取り組むとともに、学校等との連携により充実した学童保育の環境づくりを進めます。				こども未来課
21	5	学校との連携を強化し、学童保育を充実します。	学童保育受入率	こども未来課
21	7	保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。	保育料等の無料化対象年齢 子育て応援券制度対象者数	こども未来課 人口増政策課
21	9	地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。	ファミリーサポートセンター協力会員数	こども未来課
21	17	★子育て情報の発信に努めます。	「子育てNAV I」1日平均閲覧数	こども未来課
イ 子どもの医療費自己負担の無料化の継続及び任意予防接種の費用助成の拡充に取り組みます。				国保医療課 健康課
21	10	中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。	中学3年生までの医療受診件数	国保医療課
ウ 乳幼児のいる世帯・多子世帯及びひとり親家庭など、子育て世帯の負担軽減に取り組めます。				地域福祉課 人口増政策課
21	12	★ひとり親家庭の支援を行います。	ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実	地域福祉課
21	18	★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。	下水道基本料金の減免年間世帯数	人口増政策課
21	19	★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。	ごみ袋年間支給枚数	人口増政策課
エ 企業に対して、子育てに配慮した職場環境づくりに関する情報提供や啓発を行うとともに、子育てをしている親に配慮した、子育て応援企業の支援を行います。				産業振興課
21	13	★子育て応援企業の支援を行います。	子育て応援企業セミナー年間参加者数	産業振興課

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実

施策③ 子育て環境の充実

ア 未来型児童館等の子ども・子育てを総合的に支援する拠点や、親子が遊び、保護者同士も交流できるとともに地域資源を活かして市の歴史文化にふれる場の整備を進めています。			子育てひろば事業・児童館の充実	こども未来課
21	1	★加西市の子ども・子育ての総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。	子育てひろば事業・児童館の充実	こども未来課
イ 教育・福祉・保健部門が連携した相談支援体制の強化と公営・民営の協調連携による幼児期の教育・保育提供体制の強化に取り組みます。				こども未来課
21	3	教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。	子育てひろば事業・児童館の充実	こども未来課
21	6	認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。	認定こども園の普及（園）	こども未来課
21	8	子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。	病児病後児保育施設年間利用者数	こども未来課
21	14	★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。	「赤ちゃんの駅」設置数	地域福祉課
21	16	★空き家を活用した子育て支援を行います。	空き家を活用した子育て支援施設数	こども未来課
ウ 遊びながら学べる屋内遊具施設を設置し、雨の日でも遊ぶことができる環境を整備します。				人口増政策課
21	15	★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。	屋内遊具施設の誘致	人口増政策課

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 2 子どもの教育の充実

施策④ 教育の質の向上

ア 小・中・特別支援学校における国際理解を深める教育や一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に取り組むなど、特色ある学習活動によって、生きる力を育む教育を推進します。			学校教育課	
05	2	小中教員の連携、外国人語学指導助手（A L T）の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。	外国語指導助手の配置人数	学校教育課
05	5	個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。	特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数	学校教育課
05	7	★特色のある部活や教室を設置します。	部活動の指導者研修会の実施数	学校教育課
イ 小・中学校において連携した教育を実現するため、学校間及び各校種間の連携強化を図ります。			総合教育センター	
05	1	義務教育 9 年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。	保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数	総合教育センター
05	6	総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。	総合教育センターにおける年間研究講座数 校内研修の実施回数	総合教育センター
ウ 地元高校との連携を強化し、活性化に向けた支援を行います。			人口増政策課	
05	8	★地元高校の活性化を支援します。	アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数	人口増政策課
エ タブレット端末を活用し、オンライン授業の普及など情報教育の環境を整備し、子どもたちの情報活用力の向上を図ります。			学校教育課	
05	3	情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。	教育用PC更新済校数	教育総務課

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 2 子どもの教育の充実

施策⑤ 教育環境の充実

ア 安全な教育環境を実現するため、感染症対策に努めるとともに市内小・中学校の老朽校舎の改修等を進めていきます。 教育総務課

06	1	すべての小・中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。	学校耐震化率（鉄筋コンクリート・鉄骨造） 学校耐震化率（木造） 学校施設における太陽光発電容量（kw）	教育総務課
06	2	★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。	改修工事の完了棟数	教育総務課

イ 小・中学校のあり方の検討を進め、これからの地域に相応しい学校の環境整備を図ります。 人口増政策課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 2 子どもの教育の充実

施策⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実

ア いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーや学校サポートチームによる相談・支援等を行います。			総合教育センター	
—	—	※新規の取組		
イ 地域全体での学校の支援や、地域に信頼される学校づくりの推進に取り組みます。			学校教育課	
07	1	ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。	ゲストティーチャーの延べ人数	学校教育課
07	3	学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。	オープンスクール年間開催数	学校教育課
ウ 地域との連携・協力のもと、子どもの学習支援・体験活動の推進に取り組みます。			総合教育センター	
01	5	★地域での子どもの共育活動を推進します。	土曜チャレンジ学習事業（校区）	総合教育センター
02	1	様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。	若者広場年間事業数	総合教育センター
02	2	地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。	青少年団体連絡協議会登録者数	総合教育センター
07	2	小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。	校内交流広場設置数	総合教育センター

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり

施策⑦ 生涯学習の充実

ア 公民館を中心とした学習の機会を充実させるとともに、自主的に学ぶ公民館登録グループによる社会貢献活動を推進し、幅広い年代の方が利用しやすい環境を整えます。			生涯学習課	
01	1	公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。	公民館主催年間講座数	生涯学習課
01	2	公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。	公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度（公民館出前講座）参加グループ数	生涯学習課
16	1	定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。	高齢者講座年間受講者数	生涯学習課
イ 幅広く高度な情報が提供できるよう、図書館サービスの拡充に努め、図書館の活性化を図ります。			図書館	
01	3	幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。	年間図書館来館者数	図書館

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり

施策⑧ 芸術・スポーツの振興

ア 生活の様々な場面において芸術文化を感じることのできる環境づくりやイベントの開催など、高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動の推進に取り組みます。			文化・観光・スポーツ課	
01	4	芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。	加西市文化祭参加者人数	文化・観光・スポーツ課
03	3	高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。	スポーツ教室の年間参加人数	文化・観光・スポーツ課
イ 総合体育館の整備や既存施設の改修を行い、身近な場所で芸術やスポーツを楽しむ機会を拡充します。			文化・観光・スポーツ課	
03	1	住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。	市が所管するスポーツ施設の年間利用者数	文化・観光・スポーツ課
ウ 地域に密着して活動するスポーツ団体や芸術団体の指導者を養成し、活動を支援します。			文化・観光・スポーツ課	
03	2	地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。	指導者養成講座の参加人数	文化・観光・スポーツ課
エ 郷土愛の醸成と伝統の継承を目的として、加西市こども狂言塾や加西能など、市独自の活動の促進に取り組みます。			文化・観光・スポーツ課	
—	—	※新規の取組		

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり

施策⑨ 健康増進の推進

ア 市民の健康づくりに対する意識醸成に取り組むほか、こころの健康についての支援体制を整えます。			健康課	
17	2	予防接種の助成制度を拡充します。	接種助成制度の創設数	健康課
17	3	健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。	運動を心がけている人の割合 健康相談事業の利用者数	健康課
17	6	こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。	自殺率の減少	健康課
17	7	健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。	朝食を欠食する人の割合 野菜を毎食食べる人の割合 栄養相談実施人数	健康課
イ 市民が歩いて暮らす健康づくりのための拠点整備や環境の整備を推進します。			健康課	
17	5	健康づくりのための拠点施設を充実します。	運動事業参加者実人員	健康課
17	9	★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。	健幸ポイント事業参加者数	健康課
ウ 市民の各種健診への受診率向上を図るとともに、地域の健康づくりを目的とした、自主的な地区組織活動を支援します。			健康課 国保医療課	
17	1	特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。	がん検診受診率 がん検診の無料クーポン利用率 特定健診受診率	健康課 国保医療課
17	4	地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。	自主組織（いずみ会・ゆうゆう会）による健康づくり普及実績数	健康課 国保医療課
エ 学校給食などでの地産地消、食の安全確保や、食育、健康教育の推進を図ります。			教育総務課 学校教育課 健康課	
—	—	※新規の取組		

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 4 くらしを支える福祉・医療の充実

施策⑩ 高齢者福祉の推進

ア 配慮を必要とする方やその介護者及び家族を支援するための総合的な支援体制を構築するとともに、高齢者が孤立することのないよう、地域に密着した取り組みを推進します。 長寿介護課

16	3	高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。	高齢者ボランティア数	長寿介護課
19	1	高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。	生活介護サービス利用者数 相談窓口寄せられた相談者数	長寿介護課 地域福祉課 福祉企画課
19	2	ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。	配食サービス配食数	長寿介護課
19	3	要介護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。	高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ 件数	長寿介護課 地域福祉課
19	4	地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。	介護予防リーダー養成数	長寿介護課
19	6	★あったか声かけ作戦を推進します。	あったか声かけ作戦の実施地区数	長寿介護課

イ 高齢者が自分らしく暮らすことができるよう、就業機会の拡充や集いの場での地域活動の推進に取り組めます。 長寿介護課

16	2	シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。	シルバー人材センター会員数	長寿介護課
19	5	★大学等との連携による高齢者の介護支援（介護予防）を進めます。	連携カフェ年間開催件数	長寿介護課

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 4 くらしを支える福祉・医療の充実

施策⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実

ア 障がいのある人や発達に課題を抱える子どもなど、配慮を必要とする人の地域生活移行や社会参画の促進に向け、発達支援の充実や就労機会の拡充に加え、様々な場面での合理的配慮の提供に取り組みます。			地域福祉課	
16	4	障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。	障がい者サロン年間参加者数	地域福祉課
16	5	社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。	就労系サービス利用者数	地域福祉課
イ 社会福祉協議会や地域との連携のもと、住民の安全・安心な暮らしを支えるため、各町および小学校区単位で行う福祉活動の充実を図ります。			福祉企画課	
—	—	※新規の取組		
ウ 経済的に困窮している方が自立した生活を送ることができるよう、就労支援や経済的支援等の自立支援に取り組みます。また、コミュニティにおける地域の見守りや居場所づくりにも取り組みます。			地域福祉課	
—	—	※新規の取組		

基本方針 1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ

政策 4 くらしを支える福祉・医療の充実

施策⑫ 保健・医療体制の確保

ア 加西病院の改築整備を行い、総合診療の充実を図るとともに、医療従事者の確保と安全な医療体制を構築し、健全で着実な病院運営の実現を目指します。また、近隣病院、診療所との連携を強化します。			加西病院	
18	1	医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。	病床利用率	加西病院
18	2	高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。	加西病院への年間紹介患者数	加西病院
イ 県や医師会等との連携強化や、保健・医療・福祉・介護等の関係機関との連携により、サービスが適切に受けられる地域医療体制を確保します。			健康課 福祉企画課	
18	3	県、医師会、病院との連携を強化します。	病院・診療所数	健康課 福祉企画課
18	4	保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。	地域医療市民フォーラム参加者数	福祉企画課 健康課 長寿介護課
18	5	医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。	休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持	健康課

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 5 農業の再生と活性化

施策⑬ 農業従事者の確保と育成

ア 生産者を対象とした経営の指導のほか、6次産業化に向けた支援の充実を図り、資質向上に取り組みます。 農政課

08	2	生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業家への支援を行います。	高付加価値品種育成数	農政課
----	---	---	------------	-----

イ 若い世代や女性、定年退職者等も含めた新規就農者の支援に努めるとともに、法人の設立と参入を推進し、就農希望者の研修受入制度や市民農園をPRしていきます。 農政課

08	3	新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。	市民農園年間利用区画数 新規年間就農者数	農政課
----	---	---	-------------------------	-----

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 5 農業の再生と活性化

施策 ⑭ 農業経営の支援

ア 農地の利用集積支援、営農組織化や法人化の推進、農業用機械や施設整備にかかる補助の拡充など、農業経営の持続可能性を確保する支援を進めていきます。 農政課

08	4	法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。	農業法人数、加西市就農研修生年間受入者数、新規就農者支援事業補助金の年間受給者数	農政課
08	5	認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。	農用地利用権設定面積	農政課

イ 農業の所得拡大とまちの P R を目的として、地元農作物のブランディングを進めるとともに、主要農作物生産者に対して助成を行います。 農政課

—	—	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

ウ 地元農産物を食材利用する事業者への支援や学校給食への提供などにより、地産地消や食育を推進します。 農政課

08	8	★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。	サテライト機能の具体化（大学数）	人口増政策課
09	1	地元農産物を食材利用する事業者を支援します。	加西産農産物提供店舗数	農政課
09	2	地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。	市内小中学校における食育授業の時間数	農政課

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 5 農業の再生と活性化

施策⑮ 農業環境の充実

ア ICT 技術を活用したスマート農業等、省力・高品質生産を実現する新たな農業の普及に取り組みます。 農政課

08	7	★ ICT を利活用した施設園芸の普及に努めます。	施設園芸新設数	農政課
----	---	---------------------------	---------	-----

イ 耕種農家と畜産農家の連携や、生物多様性等の環境に配慮した生産等の推進により、持続可能な農業の発展を目指します。 農政課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

ウ ため池の耐震化、農地維持・改良や農業用施設の長寿命化のほか、有害鳥獣対策の強化など、安定した農業経営を実現するための環境づくりに取り組みます。 農政課
農林整備課

08	6	多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。	多面的機能支払交付金事業への参加団体数	農林整備課
22	1	住民参加による地域の里山整備を支援します。	里山整備箇所数	農林整備課
22	4	老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。	ため池改修箇所数	農林整備課
22	5	有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。	有害鳥獣年間被害額	農政課
22	6	耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。	耕作放棄地面積	農政課

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 6 商工業の振興と新展開

施策 ⑯ 商工業の振興

ア 持続可能な商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、情報通信基盤を整備するとともに、企業のデジタル化等の設備投資や事業拡大に向けた支援にも取り組みます。				産業振興課
09	3	地域ビジネス講座を拡充します。	製造品出荷額等	産業振興課
09	6	中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。	製造品出荷額等	産業振興課
イ 市内消費の喚起とキャッシュレス決済の普及促進のため、ポイントカード事業や市内共通商品券の発行及び電子化等に取り組みます。				産業振興課
09	5	ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。	卸売業・小売業年間販売額	産業振興課
ウ 魅力ある商業施設の誘致を進めるとともに、市外からの観光客を受け入れるための宿泊施設等のさらなる充実に取り組みます。				産業振興課 都市計画課
09	8	宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。	ホテル設置数	産業振興課
09	9	★魅力ある商業施設の誘致を図ります。	卸売業・小売業年間販売額	産業振興課

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 6 商工業の振興と新展開

施策⑰ 創業支援と働く場の拡大

ア 創業希望者に対して、関係機関との連携のもと、相談や指導助言、空き店舗やオフィス補助などの創業支援を実施します。				産業振興課 人口増政策課	
10	10	★創業希望者に対する支援体制を構築します。	年間創業者数	産業振興課	
12	4	空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。	市街化区域内の商業店舗立地件数 宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数 店舗等立地促進補助金受給件数 空き店舗活用補助金受給件数	産業振興課 人口増政策課	
イ 若者等の起業や事業承継のための支援に努めます。				ふるさと創造課 産業振興課	
10	9	★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。	若者起業調査支援年間件数	ふるさと創造課	
ウ 地元企業も進出しやすい産業用地の整備の支援、市内企業の拡張・移転の支援に取り組みます。				都市計画課 開発推進課	
09	7	地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。	市内総生産（名目）	都市計画課 開発推進課	
エ 加西インター産業団地整備を進め、企業誘致等について計画的に取り組みます。				開発推進課	
13	4	交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。	加西インター周辺の土地利用計画の作成数	開発推進課 都市計画課	

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 6 商工業の振興と新展開

施策 18 雇用・勤労者福祉の充実

ア 多様な媒体を通じて就職に関する情報提供を進め、市内における雇用の促進を図ります。 産業振興課

10	2	働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めます。	ふるさとハローワークにおける就職者数	産業振興課
----	---	--	--------------------	-------

イ 関係機関と連携し、若者や高齢者、障がいのある人などの就職に向けた支援を実施します。 産業振興課

10	1	新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。	若者の加西市残存定住率 勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率	産業振興課
10	3	若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。	市内企業における住民就労率 若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率	産業振興課
10	5	★市内企業への高校生の就職を支援します。	市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数	産業振興課

ウ U J I ターンによる就職・起業など、市外からの就業に向けた取り組みを推進し、定住促進を図ります。 産業振興課

—	—	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出

施策 19 歴史・文化の再発見と交流拡大

ア 歴史文化遺産を活かしたまちづくりと、計画的な保存・活用を推進します。				生涯学習課 鶉野未来課	
11	1	地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。	文化財の新規指定・登録件数	生涯学習課	
11	2	★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。	歴史文化遺産の調査	生涯学習課	
15	2	史跡を計画的に整備し、活用を図ります。	史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数	生涯学習課	
イ 加西市独自の地域資源を活用した観光サービスを展開するとともに、観光拠点のネットワーク化など、観光振興の仕組みづくりにも取り組みます。				文化・観光・スポーツ課	
11	4	特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。	加西喝采ブランド品数	文化・観光・スポーツ課	
11	5	★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。	かさいまちあそび年間参加人数 田舎体験プログラム年間参加人数	文化・観光・スポーツ課	
11	6	★観光拠点のネットワーク化を図ります。	観光施設W i - F i スポット数	文化・観光・スポーツ課	
23	1	市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。	観光関連パンフレット、ガイドブック作成数	文化・観光・スポーツ課	
23	2	ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。	フォトコンテストへの出品数	文化・観光・スポーツ課	
ウ 北条旧市街地の活性化や市内宿泊施設の活用などを進め、まちのにぎわいづくりに取り組みます。				きてみて住んで課	
—	—	※新規の取組			

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出

施策 20 移住・定住の支援

ア 転出の抑制と移住の促進のため、奨学金返還補助など各種支援に取り組みます。			人口増政策課
10	7	★返還している奨学金への助成により、U J I ターンによる定住を促進します。	U J I ターン者数 人口増政策課
イ 若者の住居確保をサポートする取り組みを推進します。			きてみて住んで課
13	3	若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。	加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数 新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数 きてみて住んで課
ウ 若い世代の定住を促進するため、若者の夢の実現を支える支援を進めます。			きてみて住んで課 ふるさと創造課
10	8	★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。	若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数 コンサート等の入場者数 ふるさと創造課 文化・観光・スポーツ課
13	1	移住体験施設（お試し住宅）の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。	お試し滞在施設数 移住マッチング支援相談年間件数 空き家改修年間助成数 お試し滞在補助年間助成組数 きてみて住んで課 ふるさと創造課

基本方針 2 活力とにぎわいのあるまちを育む

政策 7 地域資源の活用と人の流れの創出

施策 ㉑ 空き家・空き店舗の利活用

ア 関係団体との連携のもと、空き家相談体制の強化や空き家バンク制度の定着を図ります。			きてみて住んで課	
12	5	空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。	空き家バンクの年間登録数	きてみて住んで課
イ 空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。			きてみて住んで課	
12	10	★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。	空き家・空き店舗年間助成数	きてみて住んで課
ウ 移住・定住の促進を目的として、お試し居住や社宅利用、事務所、リモートワーク等に適した空き家・空き店舗の活用を図ります。			きてみて住んで課	
—	—	※新規の取組		

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実

施策② 防災・感染症対策の充実

ア 防災訓練や災害対策に関する情報提供、災害時要援護者の登録促進や防災リーダーの育成を図り、防災体制の強化に取り組みます。				危機管理課
20	1	災害時要援護者の登録推進を図ります。	災害時要援護者台帳登載率	危機管理課
20	6	★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。	老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数	危機管理課
イ 自主防災組織の活動促進や地域の消防団への支援等、地域防災力の向上に努めます。				危機管理課
20	2	北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。	防災訓練・研修年間開催数 資器材補助団体数	危機管理課
ウ 関係機関との連携体制を強化し、情報共有及び感染症患者の入院受入体制の確保等に取り組みます。				加西病院
—	—	※新規の取組		

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実

施策② 防犯・交通安全の向上

ア 防犯灯や防犯カメラなどの機器設置に加え、地域と連携した見守り体制の強化により、安全安心な地域づくりに取り組みます。				危機管理課 土木課
20	3	通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。	L E D防犯灯設置数	危機管理課
20	4	青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。	年間のパトロール実施回数	危機管理課
20	7	★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。	防犯カメラ設置台数	危機管理課
イ 警察や交通安全協会等との連携をより強化することで交通安全に関する活動を推進する体制を充実させ、交通事故のないまちを目指します。				危機管理課
20	5	警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。	高齢者における人身事故加害者率	危機管理課

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策 8 安全・安心に暮らせる環境の充実

施策 24 市民相談・消費者保護の充実

ア 市民の様々な悩みごとに対応するため、市民相談体制の充実を図ります。 ふるさと創造課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

イ 複雑化する消費者被害を防止するため、消費者問題の啓発や情報提供に努めるとともに消費生活相談体制の充実を図ります。 ふるさと創造課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策 9 快適な都市空間の創出

施策 25 住環境の整備

ア 市街化区域内の未利用地の流動化や土地区画整理事業区域内の住宅化利用の促進を図ることにより、住宅地の供給に取り組むとともに、新たな住宅地の開発を支援します。				管財課 都市計画課 開発推進課
12	1	市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。	市所有未利用地の住宅開発年間箇所数	管財課
12	2	住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。	西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数	開発推進課
12	6	★新たな土地区画整理事業等を推進します。	新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数	都市計画課
12	11	★住環境整備による定住促進を図ります。	北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数	都市計画課
13	6	住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。	市街化調整区域における新築住宅戸数	都市計画課
13	7	★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。	住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数	都市計画課
イ 市街化調整区域における特別指定区域制度や地区計画制度の活用、線引きの見直し等、規制緩和に向けた働きかけにより地域の活力再生を図ります。				都市計画課
13	2	県の特別指定区域制度 における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。	新規居住者地区住宅戸数	都市計画課
ウ 北条市街地の空き家対策と狭あい道路の整備を行い、住環境整備による定住促進を図ります。				都市計画課
—	—	※新規の取組		
エ 高齢化にも対応した住環境づくりに向けて、関係機関とも連携しながらユニバーサルデザインに基づくまちづくりを推進します。				福祉企画課
—	—	※新規の取組		
オ 地域住民と行政の協働により、北条旧市街地の歴史的街並みなど景観の保全に努めます。				都市計画課 土木課
12	3	北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。	景観形成に関する条例届出年間受付件数 景観形成支援事業修景助成金年間交付件数	都市計画課
23	3	広告物の表示については、景観との調和に努めます。	屋外広告物手続き件数	都市計画課

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策 9 快適な都市空間の創出

施策 26 地球に優しい環境都市の創造

ア 地球温暖化問題への対応として、地球環境に配慮した循環型かつ脱炭素社会の構築を推進します。				環境課
24	1	公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。	市庁舎の電気使用量	環境課
24	3	住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。	加西市内の太陽光発電導入容量	環境課
26	1	レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマー を推奨する事業者の割合を増やします。	レジ袋削減協力事業者数	環境課
26	2	ごみの分別（現23分類）、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。	住民 1 人 1 日あたりのゴミ 排出量 ゴミのリサイクル率	環境課
26	3	剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。	廃食用油の回収量	環境課
26	4	美バースへの補助金を継続します。	資源物集団回収登録団体による年間回収量	環境課
27	4	環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。	I S O 14001、エコアクション21取得企業 団体数	環境課
イ 田園・ため池・森林など豊かな緑と調和した景観の保全に努め、地域と共に生物多様性に育まれた自然環境づくりを推進します。				環境課 都市計画課
22	3	市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。	兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及 啓発事業の参加人数	環境課
23	4	開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。	開発調整条例に基づく事前協議件数	都市計画課
23	5	花咲くまちづくりを推進します。	住民ボランティアによる植栽ポット数	都市計画課
ウ 加西の風土や文化を活かした環境学習を実施し、自然の大切さの理解を深めます。				学校教育課
05	4	加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。	小中学校での体験型環境教育の年間時間 数	学校教育課
27	1	親子で参加できる環境学習を推進します。	公民館におけるこども環境学習の受講者数	生涯学習課
27	2	環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。	公民館における環境学習リーダー養成講座の 受講者数	生涯学習課
27	3	様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。	環境学習実施学校数	学校教育課
27	5	教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。	教員を対象とした環境学習に関する研修の 年間開催数	学校教育課 総合教育センター

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備

施策②⑦ 道路・河川の整備・維持管理

ア 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備するとともに、通学路・ガードレール等の安全施設の整備を行います。			土木課	
15	3	国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。	基幹道路網の整備延長距離 集落道路の改良延長距離	土木課
15	4	歩行者道、自転車レーンやガードレール等の安全施設の整備を行います。	歩道設置総延長	土木課
15	5	道路橋の長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。	修繕工事を実施する橋梁数	土木課
15	7	道路施設の計画的な維持補修を行います。	修繕工事を実施する個所数	土木課
25	5	公道の透水性舗装を推進します。	透水性舗装の実施	土木課
イ 河川や橋梁の維持管理の強化及び未改修河川の整備を進めます。			土木課	
15	6	河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。	河川修繕工事及び河川浚渫の実施	土木課
ウ 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。			都市計画課	
15	1	都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。	都市公園利用者数	都市計画課

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備

施策⑳ 上下水道の整備・維持管理

ア 上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。			上下水道管理課	
25	2	下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。	水洗化率	上下水道管理課
25	4	企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。	給水原価	上下水道管理課
イ 上下水道施設の計画的な整備・改修と施設の統廃合を進め、安全な水の供給と安定的な下水処理に努めます。			上下水道課	
25	1	鴨谷配水池の供用による既存施設の統廃合を実施し、水道施設の整備、更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めます。	水道管路耐震化率	上下水道課
25	3	効率的な生活排水処理計画とし、計画的な施設の統廃合や改修を行います。	統合施設数	上下水道課

基本方針 3 快適に暮らせる安全な社会をつくる

政策10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備

施策⑳ 公共交通の充実

ア 地域の実情に応じた道路交通網の整備や公共交通の導入等を通じて、利便性の高い生活ネットワークを構築します。また、配慮を必要とする方への公共交通利用に関する支援や、わかりやすい情報提供にも取り組みます。

人口増政策課

14	1 2 6 9	都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 交通結節点（駅・バス停）の整備を進めます。 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数	人口増政策課
14	4	公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数	人口増政策課

イ 北条鉄道の利便性の高い利用環境の整備のため、経営支援と利用促進策を実施します。

人口増政策課

14	5	北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。	北条鉄道の年間利用者数	人口増政策課
----	---	------------------------	-------------	--------

ウ 各種バスの増便やバス停周辺の整備等を推進し、利用しやすい環境づくりに取り組みます。

人口増政策課

14	3	民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。	コミバス等の年間利用者数	人口増政策課
14	7 8	自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子どもの保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。	コミバス等の年間利用者数 北条鉄道の年間利用者数	人口増政策課

基本方針 4 とともに活躍しまちの魅力を高める

政策11 協創のまちづくりの推進

施策③⑩ 協創のまちづくり

ア 小学校区での地域課題解決に向けて多くの市民が主体的に取り組むことを目指し、ふるさと創造会議（まちづくり協議会）の活動支援に取り組みます。 ふるさと創造課

28	4	★ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。	ふるさと創造会議設置数	ふるさと創造課
----	---	--------------------------------------	-------------	---------

イ 市民参画によるまちづくりを進めるため、NPO法人・地域活動家の育成を図ります。 ふるさと創造課

28	1	★自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。	地域づくりコーディネーター数、地域おこし協力隊員数	ふるさと創造課
----	---	-----------------------------------	---------------------------	---------

28	2	社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。	NPO法人数	ふるさと創造課
----	---	----------------------------------	--------	---------

28	3	ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。	ボランティア活動希望登録者数	ふるさと創造課
----	---	--------------------------------	----------------	---------

28	6	★集落支援員の配置を進めます。	集落支援員数	ふるさと創造課
----	---	-----------------	--------	---------

ウ 都市部との交流と都市部人材の受入体制整備による関係人口の増加に取り組みます。 きてみて住んで課

—	—	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

基本方針４ ともに活躍しまちの魅力を高める

政策11 協創のまちづくりの推進

施策③ シティプロモーションの推進

ア 郷土の豊かな歴史を学び体験するなど、シビックプライドの醸成を図り、シティプロモーションを推進します。			きてみて住んで課	
－	－	※新規の取組		
イ 近隣自治体等との連携による情報発信体制の強化や、魅力的なふるさと納税返礼品の充実などにより、まちの魅力を積極的にＰＲしていきます。			きてみて住んで課	
13	9	★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のＰＲに努めます。	出張相談会年間参加数	きてみて住んで課
ウ 特産品のブランド化を進め、販売チャネルを増やすなどの販売促進に努めます。また、ＳＮＳに加えて、観光事業者への地域資源のＰＲ、まちの魅力の発掘などを通じ、本市への誘客につながるような魅力を情報発信します。			文化・観光・スポーツ課	
09	4	加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。	加西産品の販売店舗数、ＰＲブース年間開設数	文化・観光・スポーツ課
11	3	ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。	観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数、フェイスブック「いいね！」件数	文化・観光・スポーツ課

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める

政策11 協創のまちづくりの推進

施策③ 広報・広聴の充実

ア 親しみやすく読みやすい広報誌を全市民に配布し、各種施策やサービス・制度の周知を図るとともに、報道機関へのプレスリリースを積極的に進め、情報発信の充実に努めます。			秘書課
－	－	※新規の取組	
イ ホームページやＳＮＳなどの媒体を活用し、必要な情報をタイムリーに提供できる体制を強化します。			デジタル戦略課
－	－	※新規の取組	
ウ 様々な手段や機会を通じて市民のニーズを把握するとともに、市民から寄せられる提案や要望、意見に対する回答について、適切かつ迅速な対応を行います。			秘書課
28	5	住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。	H P 掲載件数 秘書課

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める

政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現

施策③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進

ア 家庭、学校、職場や地域等で様々な人権問題や多様な性のあり方に関する教育や啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。			人権推進課	
29	5	家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。	人権学習会参加者数	人権推進課
イ 家庭や学校、施設等における、子どもや高齢者等に対する虐待の防止、ＤＶ被害者への支援に取り組みます。			地域福祉課	
21	4	地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。	相談窓口啓発カードの配布枚数	地域福祉課
ウ 孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う取り組みを推進します。			地域福祉課 長寿介護課	
－	－	※新規の取組		

基本方針 4 とともに活躍しまちの魅力を高める

政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現

施策③4 男女共同参画の推進

ア 行政や自治会などまちづくりの分野において自分らしく活躍できるよう、学校や地域、各機関等に対する啓発や情報提供などを行い、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組みます。 ふるさと創造課

29	1	男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。	男女の労働力率の格差是正、女性の労働力率	ふるさと創造課
29	2	女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。	市の女性管理職登用率	ふるさと創造課

イ 女性の雇用促進のため、ハローワークとの連携による就労に関する情報の提供や各種講座を開催するとともに、企業への啓発に取り組みます。 産業振興課

10	4	ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。	就職支援助成年間件数	産業振興課
10	6	★働く女性の雇用を推進します。	市内事業所女性従業員正社員率	産業振興課

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める

政策12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現

施策③⑤ 多文化共生と平和のまちの実現

ア 在住外国人にとっても暮らしやすいまちとなるよう、学習支援や生活情報の多言語化を進めるとともに、N P O 法人への支援と連携による市民レベルでの交流活性化を図ります。			ふるさと創造課	
29	3	在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。	市内における日本語講座の実施教室数	ふるさと創造課
29	4	N P O 法人と連携し、市民交流の活性化をはかります。	ねひめカレッジの会員数	ふるさと創造課
イ 外国人との多文化共生を目指すための拠点施設の整備に取り組みます。			産業振興課	
—	—	※新規の取組		
ウ 鵜野飛行場跡などの地域資源を活用した平和ツーリズムを展開し、平和について学び、体験できる機会の提供を進めていきます。			鵜野未来課	
13	5	鵜野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。	鵜野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数	鵜野未来課

基本方針４ ともに活躍しまちの魅力を高める

政策13 効率的で持続可能な行財政の推進

施策③⑥ 行財政運営の効率化

ア 行政サービスの効率的な提供や質の向上を図るため、組織体制の整理や職員研修による資質向上に取り組みます。			総務課	
30	1	定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。	市役所の正規職員総数	総務課
30	2	職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。	職員研修成果発表回数	総務課
イ 効率的な行政運営や持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。			財政課	
30	5	行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。	基金残高、全会計市債残高、実質公債費比率、将来負担比率	財政課
ウ 自主財源確保のための市税及び使用料等の徴収体制強化を図ります。			税務課	
30	6	自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。	収納率	税務課
エ 公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。			管財課	
30	4	公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。	市の公有財産の把握と管理運営方針の策定	管財課
30	7	国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。	一般競争入札の割合	管財課
オ 時差出勤やテレワークなど、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した業務環境を構築します。			総務課	
—	—	※新規の取組		

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める

政策13 効率的で持続可能な行財政の推進

施策③7 ICTの利活用の推進

ア 行政事務の効率化を実現するため、A I や R P A など、最新の情報技術の導入や活用について検討のうえ整備を進めるとともに、リモートワークに適した環境整備に取り組みます。 デジタル戦略課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

イ 効率的な行政手続きを実現するため、マイナンバーカードの普及促進や行政手続きのオンライン化などに取り組むとともに、情報通信基盤の整備を進めます。 デジタル戦略課

－	－	※新規の取組		
---	---	--------	--	--

基本方針 4 ともに活躍しまちの魅力を高める

政策13 効率的で持続可能な行財政の推進

施策③⑧ 広域連携と公民連携の推進

ア 市単独では実施が難しい業務の運営や地域のより一層の活力向上を実現するため、一部事務組合の他、定住自立圏や連携中枢都市圏など、他自治体との連携を進めていきます。 人口増政策課

30	3 8	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。	定住自立圏構想の連携事業年間件数	人口増政策課
----	--------	--	------------------	--------

イ 大学や企業等との連携協定により一層まちづくりの活性化を図るとともに、民間活力を活用した行政サービスの向上に取り組みます。 人口増政策課
農政課

08	1	各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。	「かさい農業塾」の年間開催回数 大学等連携による農業分野での地域活動年間件数	農政課
----	---	--------------------------------	---	-----